つどい

2017

JCI™
Junior Chamber International KASHIWAZAKI
一般社団法人 柏崎青年会議所

CONTENTS

1. 柏崎青年会議所組織図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 柏崎青年会議所構成図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3. 理事長報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 理事長活動日誌 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
5. 1年を振り返って・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
6. 事務局　総務発信委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・25
7. 会員開発室　会員拡大コミュニケーション委員会 ・・・・31
8. 社会開発室　郷土愛育成 こどもの未来創造 ・・・・・・・39
9. 経営開発室　経営マネジメント環境エネルギー委員会 ・・47
10. 60周年記念式典室　60周年記念式典実行委員会 ・・・・・55
11. 60周年記念事業室　60周年記念事業実行委員会 ・・・・・63
12. 出向記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
13. 卒業記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・77
14. 監事対談 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
15. 今年の記録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115
16. あとがき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121

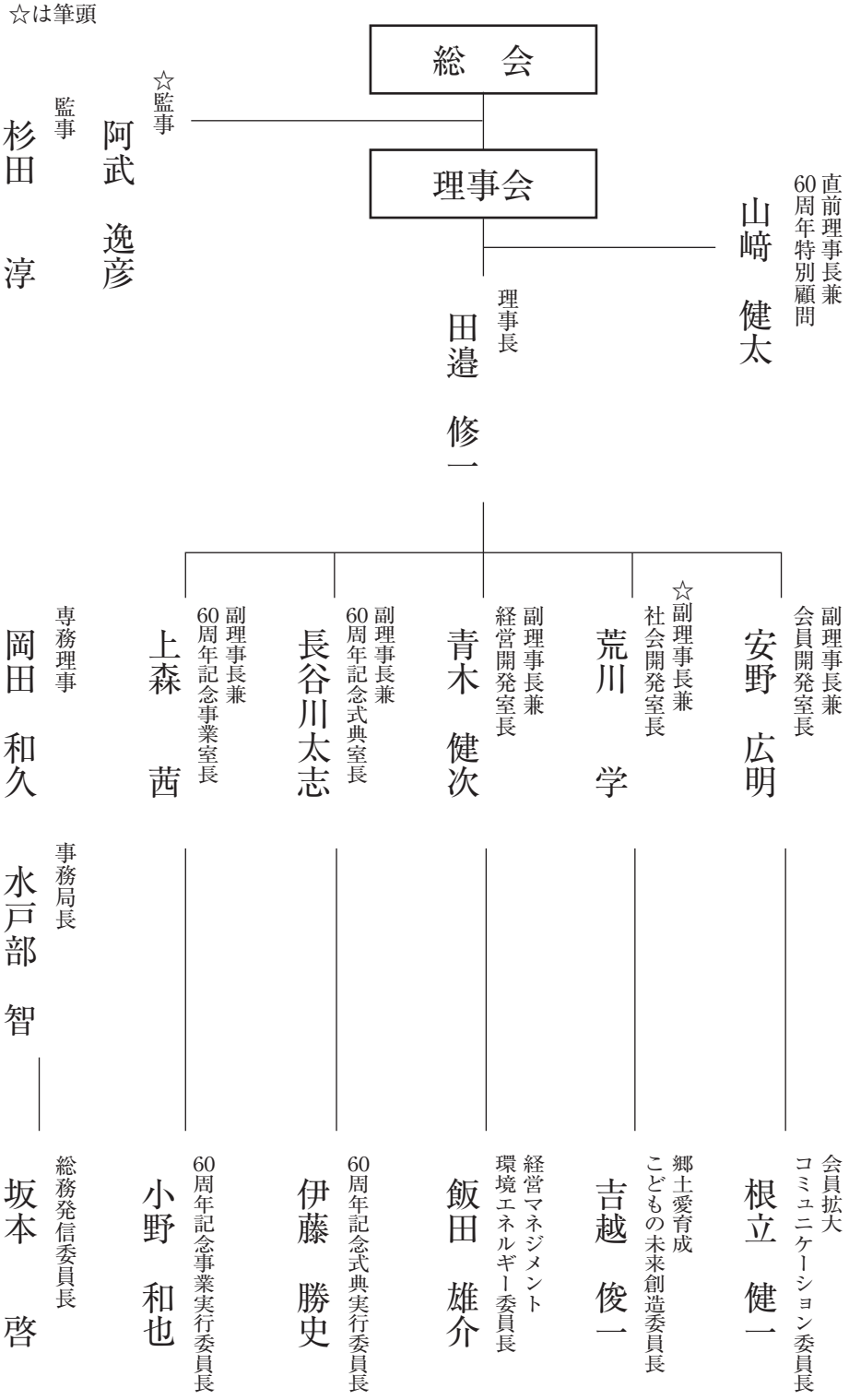
つぎい

60 新生柏崎

～継往開来～

60年の誇りを胸に、
未来に向かい妥協なき挑戦を！

一般社団法人柏崎青年会議所　2017年度　組織図



一般社団法人柏崎青年会議所　2017年度　構成図

☆は筆頭

理事長　田邉修一　　直前理事長兼60周年特別顧問　山﨑健太　　専務理事　岡田和久　　監事　☆阿武逸彦・杉田　淳

理事 室長	副理事長　兼 会員開発室長 安野広明	☆副理事長　兼 社会開発室長 荒川　学	副理事長　兼 経営開発室長 青木健次	副理事長　兼 60周年記念式典室長 長谷川太志	副理事長　兼 60周年記念事業室長 上森　茜	事務局長 水戸部　智
委員会	会員拡大 コミュニケーション	郷土愛育成 こどもの未来創造	経営マネジメント 環境エネルギー	60周年記念式典実行	60周年記念事業実行	総務発信
理事 委員長	根立　健一	吉越　俊一	飯田　雄介	伊藤　勝史	小野　和也	（事務局次長） 坂本　啓
副委員長	大塚　拓也	山口　敏宏	徳増　大樹	佐藤　雅宮 竹内　一公	伊平　泰将 川口　泰史	木村　正隆
幹事	阿部　隆宏	山﨑　徹	原田　玲奈	神林　仁	高橋　宏忠	中村　貴広
委員	猪狩　拓也	池田　桂	赤堀　博一	小谷　竜子	岸　剛史	品田　剛
	佐藤　拓真	植木　秀和	岩間　一博	村山　央	霜田真紀子	長沢　博
	能澤　尚寛	久我　篤史	杉田　直人	吉田　晃継	田中　有人	松野　颯太
	山田　健太	田邉　哲也	藤巻　慎哉	小林　拓也	丸田　洋介	
	品田　修吾	結城　誠之	宮崎　智之	小俣　拓巳	元井　貴男	
	入澤　勇太			髙橋　和宏	森　清和	
	瀬下　真人				前澤佳奈子	
	張　浩鵬				三谷　宗寛	
					海津　勇太	
					松田真之介	

※出向者会議　議長　岡田和久

（一社）柏崎青年会議所 2017年度 出向者紹介

公益社団法人日本青年会議所

●地域再興グループ地域再興会

委　員
上森　茜

公益社団法人日本青年会議所　北陸信越地区協議会

●北陸信越ビジョン確立会議

副議長
田中 有人

委　員
岡田 和久

公益社団法人日本青年会議所　北陸信越地区　新潟ブロック協議会

●夢を描けるひとづくり委員会

副委員長（新入会員）
猪狩 拓也

幹　事
品田　剛

委　員
荒川　学

委　員
岸　剛史

委　員（新入会員）
田邉 哲也

委　員
藤巻 慎哉

●夢を描ける新潟創造委員会

委　員
阿部 隆宏

委　員
岩間 一博

委　員
田中 有人

委　員
松野 颯太

委　員（新入会員）
村山　央

委　員
吉田 晃継

新入会員

前澤 佳奈子

宮嶋 早苗

山田 健太

尾﨑 直美

三谷 宗寛

小林 拓也

能澤 尚寛

品田 修吾

松田 真之介

小俣 拓巳

髙橋 和宏

海津 勇太

村山 健太

入澤 勇太

瀬下 真人

張 浩鵬

中山 将

遠藤 大樹

理事長報告

理事長　田　邉　修　一

「最高の同志と最高の１年」

この事実は、今から１０年前に、ある一人の男との約束から始まった。そしてその男は、約束を果たすために決意を固めそして立ち上がった。見てくれているか「矢島博生・やじさん」男と男の約束を果たす為に最高の仲間との一年を振り返り報告します。

２０１７年を振り返り一言で表すなら「感謝」しかありません。

１９９９年の入会以来多くの同志を向かい入れ、４０歳を卒業として同志を見送ってきました。新しい出会いと別れ。ＪＣ運動で一番大切なことはひと其々の考え信念はあると思うが私は「仲間を大切にする」ことだと考えます。私は入会以来、諸先輩方の魅力に心を奪われ、そして同志と汗をかき涙を流し、時には胸座をつかみ合い、お互いの意見をぶつけ友情を育んできました。その仲間はかけがえのない「一生のたから」となりました。あらためて、人は人によって磨かれるものであると強く確信しています。

そんな同志と切磋琢磨し成長させて頂いたおかげ、そして同志との約束、多くの諸先輩方に背中を押して頂き、決意を固め２０１７年度第６１代理事長を拝命させて頂きました。また、創立６０周年の記念すべき年に理事長を務めさせて頂いたことは光栄の何よりでもありません。

それでは、一年を振り返ってみることにしよう。

【1月　６０周年の幕開け】

６０周年の祝いの年ということで、気合を入れて新年祝賀会での挨拶。気合が入りすぎて挨拶が長すぎたことに反省。しかし、先輩諸兄への感謝の言葉、同志メンバーに対してのエール、自身のＪＣライフの振り返りと思いの丈をぶつけることが出来た。想いを人に伝える事の難しさを痛感した。歌の歌詞にもあるように「心は言葉をこえない」まさにその通りである。

【2月　不易流行　集え・学べ・立て】

今までの例会で最高に緊張した例会だった。我らが先輩である地域経済のトップ柏崎商工会議所会頭である西川先輩、地方行政のトップ刈羽村長である品田先輩、言わずと知れた現役メンバー全てが誇れる強烈な刺激のある大先輩である。両先輩がかかげた「今こそ若い力の結集のとき」「集え・学べ・そして立て！」このスローガンは今もなお焦る事のない我々現役メンバーに対してのエールであると心に刻んだ例会であった。

そしてこの２月から６０周年のキャラバンで県内各地へと向かうことになった。

【3月　電車でGO！同志との集い】

６０周年記念のキャラバンで正直うんざりしていた頃、第4エリアの合同例会フォーラム２１。長岡で開催ということもあり今年は異例の電車で現地へ。行きは青年らしく紳士に現地まで行けたと思う。帰りはどうだっただろうか。自信がない、記憶がない、こういう時が一番危ない。後輩メンバーよ公共交通機関を使う際は気を付けてくれ。3月はメンバー全員担当を決め県内各所にキャラバンで出かけた。本当にありがとう。寒い中乗り合わせで車内では色んな話ができたな。そこでは思いがけない収穫もあった。メンバー各人の人となりが、かいま見ることが出来た。みんないい奴らばかりだ。

【4月　収穫多き観桜かな】

この頃になると新入会員、仮入会と続々と仲間が増えてきた。ありがたい限りだ。テンションも

上がった。柏崎刈羽にはまだまだ人材が眠っている。まだまだ仲間がほしいな。

新潟ブロック野球大会でも大きな収穫があった。先ずはチーム一丸となり熱くプレイや応援ができた。笑った、そして涙した。また大型新人の加入により体育会系のメンバーが負けまいと、その日を境に更にストイックになっていった。また卒業生の、野球に対する直向きな姿勢に感動すら覚えた。そして前夜祭に参加した理事メンバーの結束が強まり、ここで次年度以降が安泰となる方向性が見えてきた。

【5月　手作り例会　懐かしさを満喫】

この頃になると理事会でも６０周年記念式典・祝賀会の案件が審議事項となってきた。正直、経験者として理事長として進捗状況には不安を感じた頃であったことは事実だ。こんな時は唯々「メンバーを信じる」これに尽きる。

例会では、久しぶり手作り例会だった。私が入会当時は、この様な例会が多かった。先ず委員会メンバーが学び、学んだものを伝える。インプット→アウトプットである。担当委員会のスキルがドンドン上昇していく。メンバー同士がそこで学ぶことによりメンバー間の繋がりがさらに強くなる。協力する、励まし合う、助け合う、達成感を味わう、旨い酒が飲める最高の循環だ。私はこういうのが大好きだ。ＪＣ運動の神髄だ。

【6月　柏崎の「たから」　純朴な笑顔】

柏崎には素晴らしい「たから」が多くある。自然や街並み文化財や祭り、どれも「たから」であるが私は柏崎で生まれ育った子ども達が何よりの「たから」であると思う。勿論、国の「たから」でもある。

６月例会で間近で打ち上げられる花火を純朴な笑顔で歓声を上げ見ている子ども達。こみあげてくるものがありましたね。この「たから」の未来のために「明るい豊かな社会の実現」夢を描ける社会を我々大人がつくり上げていかなければならない使命であると改めて考えさせられました。大きな夢や希望を持てるような社会の実現に向け、一人ひとりがアイディアを出し知恵にかえ実行し頑張りましょう。

【7月　ありがとうの日にありがとう】

１０年前の７月１６日、またしても私達の故郷柏崎に自然の猛威が牙をむきました。どこにもぶつけようのない悲しみと怒りと無力さ、中越沖地震あれから１０年・・・・・

７月例会そして６０周年記念事業「ありがとうの日」ここに至るまでの委員長並びに委員会メンバーの苦悩は計り知れないものがあった。これは断言できる。詳細は後ほどの委員会記で述べさせて頂こう。早朝の大雨、一時期はどうなることかと心配した。しかしながらそれ以降天気が回復。ロムメンバー一丸となり、汗で全身ずぶ濡れで作業を行った。あれだけのキャンドルだけでも大変、モザイクアートだけでも大変、しかしながらその両方をこなした。夕暮れが近づきキャンドルひとつひとつに、あかりが灯りはじめた。ひとつの目標の為にロムメンバーが一丸となり誰一人愚痴をこぼさず作業していた姿がこの灯りと共に思い出される。みんなの想いがこの灯りひとつひとつ。いかにもＪＣらしい事業。多くの市民の方にまぎれ多くのＪＣ先輩方も目に涙を浮かべながら「素晴らしい事業だ！よくやった！」と現役メンバーに向け誇らしくたたずんでいた。私も言葉にできない感動の連続をこの１日で体験した。

【８月　妥協なき新たなる挑戦者へ向けて】

６０周年記念式典・祝賀会。担当委員会は素より全メンバー記念すべきこの日に向けて本当によく頑張ってくれた。私は前例や慣習に囚われることは好きではない。何故なら囚われると新しいことが生み出せなくなるからだ。そう考えると記念式典並びに祝賀会は新たな取り組みが満載であったと感じる。

そして「柏崎らしさ」にこだわった。式典は粛々と、祝賀会は盛大に。柏崎の周年はお手本にされるケースが多い。それだけきちんとしている。且つ、演出などが毎回多岐にわたっている。これは代々受け継いでほしいものだ。ご来賓、関係各種団体、先輩諸兄、来訪ロム出席して頂いた全ての方に「柏崎らしさ」が伝わり笑顔でお帰り頂いた。全メンバーのお蔭である。本当にありがとう。

【９月　次年度へのエール】

総会ともなると、もう次年度モード。もう９割がた職務は終わった。緊張した面持ちで次年度理事の顔触れを見ると、期待できる。また、鍛えがいがあるし成長が楽しみだ。是非これからの柏崎JCを盛り上げて頂きたい。

また、新発田でのブロック会員大会と埼玉での全国大会。恐らく、これで最後であるとの思いでの参加。寂しい気持ちと晴れ晴れした気持ちで両大会を過ごすことが出来た。また、両大会で昼間に飲んだ酒は本当にうまかった。あの味は忘れないよ。

【１０月　事業系例会ラスト】

この１０月例会をもって事業系の例会が最後。これで理事長が終わるカウントダウンのスイッチが心の中で入った気がするな。最後のブロコン、最後の他ロムの周年式典、思い返すと考え深いものがある。いや、まだまだ２カ月ある。職務を全うしなければ。

【１１月　卒業生おめでとう　未来日記】

９名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。各人との其々の思いでは語りつくせないものがありますね。胸を張って堂々と卒業される皆さんはどこか誇らしげです。卒業されることは寂しいですが笑顔で卒業ですね。涙は似合いませんよ。

たくさんの思いでありがとう。

【１２月　最高の笑顔いっぱい　未来日記】

１２月８日「会員家族忘年クリスマスパーティー」inまちから　そこにいる全員が笑顔です。そして全員が幸せでいっぱいです。メンバーは家族に感謝、楽しいひと時を過ごしています。メンバー同士は労をねぎらい、卒業生は最後の例会を満喫しています。

私は心の中でメンバー全員に感謝しています。

【会員拡大コミュニケーション委員会】

根立委員長、委員会メンバー本当に良くやってくれた。特に会員拡大。６０人以下のロムで純増率１位、新潟ブロック内個人入会紹介者数１位本当におめでとう。そしてありがとう。正直、委員会の運営に関しては若干ヤキモキしたかな。でも、素晴らしい委員会メンバーに恵まれ何とか乗り切ったね。会員数１００名目指し一丸となって取り組んだことに価値があるんだよ。委員長はじめ委員会メンバーは胸を張ってやり切ったと自信を持ってもらいたいね。あと根立委員長、皆にあま

り心配かけるなよ。頼むぞ。
そして、安野副理事長。良くここまで、まとめ上げてもらいました。頑張りすぎなところは男気だね。そのストイックさが安野副理事長らしさでもあるのかな。たまには肩の力を抜いて楽になる、そうすることにより、もっと周りを見渡せるようになるんだよ。来年は期待してるぞ。
健一、安野ありがとな。必ずこの経験を次に生かせ！

【郷土愛育成こどもの未来創造委員会】
吉越委員長、君は本当に色んな意味で成長しましたね。君の素晴らしいところは「何でも受け入れる」ことじゃないかな。不器用なんだけど一生懸命。愚痴をこぼすこともなく、また誰かに対してネガティブな話も一切口にしたこともないんじゃないかな、聞いたことないな。そのひた向きな姿勢は、みんなちゃんと見ているよ。そして以外に体のわりにフットワークが良い。想像以上にJCを知っている。率先して受け入れ態勢を取ってくれる。強いて言うならば、もう少しまとめて話をしてもらいたいなということが度々あったけど一生懸命の表れだね。人の為に尽くしたことは必ず自分に返ってくるから自信をもってこれからのJC運動を楽しんでくださいね。
そして荒川副理事長お疲れさま。委員長と本当に良いコンビでしたね。副理事長を依頼した際、一番元気よく「喜んでやらせて頂きます！」本当に救われたよ。また、野球大会の帰りの車中で色々話したね。内に秘めている熱い情熱と男気を感じたわ。そして２０１８年理事長として意思を固め手を挙げたわけだけど、頑張ってね。応援しているよ。背伸びしたり、自信を大きく見せる必要はないよ。荒川らしさが一番大切だよ。誰にでも愛されキャラだから、みんなが守ってくれるよ。身体だけには気を付けるんだぞ。
俊一、荒ちゃん　本当にありがとう。

【経営マネジメント環境エネルギー委員会】
飯田委員長お疲れ様。どの委員会よりも、そつなく全てをこなしてきたイメージだけど、手作り例会のオンパレード、実は一番大変。それだけ委員会を開催しなければならない、また、メンバー全員がインプットしなければアウトプットできない。見えない所での努力は内容を見ればわかりますよ。委員会メンバーの結束も強かったね。面白いところでの委員会もやるしね。今年委員長をやったという実績が必ずこれからの人生において役に立つ日が来ると思うよ。理事会では誰かを叱る時みたいに更に大きな声で２０１８年副理事長として羽ばたいてくださいね。期待してますよ。
青木副理事長、さすが専務経験者のひとことだね。理事会では会の為に言いたくないこともズバズバ意見して頂けましたね。それだけ真剣、一生懸命。もちろん議案書を誰よりも読み込んできている。各委員長を想っているから出る発言。JCマンだね。
雄ちゃん、健ちゃん本当にありがとう。ゴルフをまた始めるきっかけもつくっていただけましたね。また行こうぜ。

【６０周年記念事業実行委員会】
小野委員長、大変お疲れ様でした。この１年数カ月いかがでしたか。本当に難儀掛けました。今思えば君とはもっと早く出会いたかった。そしてもっと多くの事を語り合いたかった。
７月例会、議案可決する日の理事会の事を覚えていますか。強引に議案を通した部分もありましたが、各委員長が「小野委員長の為に協力するよ、やることあれば手伝うよ」と意思表示をして頂いたことを。私はその時、本当の意味で柏崎青年会議所が一つになったと確信しました。涙が出るほどうれしかったことを記憶しています。しかし、それからが本当の苦労が始まりましたね。キャ

ンドルビンの洗浄、モザイクアートの写真・メッセージ集めその他多くの作業と、それと同時に８月の６０周年祝賀会の立案、本当に難儀でしたね。でも両副委員長をはじめ委員会メンバーが素晴らしかった。いつのころからか「小野委員長の為に！」この言葉が合言葉のようになりましたね。

そして７月例会、朝から雨。天候も心配しましたが回復し熱く蒸す中での作業。メンバー其々が持ち場を把握し誰一人音を上げることなく頑張りました。中越沖地震から１０年「あの日を風化させない忘れない」という意味合いも込めての事業でしたが、我々メンバーは「今日という日を忘れない」最高の１日でした。

８月、６０周年記念祝賀会、ここに至るまで紆余曲折ありましたね。今思い返せば、よしこれでやろうと決まってからは早かった。ドンドン進んでいきましたね。それまでに委員長の涙も幾度となく見ました。同じ涙でも祝賀会終了後の涙は最高の涙だったね。

そして、上森副理事長お疲れ様でした。理事会などでは大分きついことも言ったりしましたが、それを乗り越えて良くサポートして頂きました。様々な草鞋を履くあなたは大変なことも多いことでしょう。大人の十代ともいわれるこの３０代、今しか出来ない事が、このJC運動によって得られるものが沢山あります。更に同志と汗をかき涙を流し大人の十代を実り多き時期にしてくださいね。

和也、茜、本当にありがとう。涙もろくなった俺を、あまり泣かせるなよ。何よりもお疲れ様でした。

【６０周年記念式典実行委員会】

伊藤委員長、お疲れ様でした。委員長という職務はいかがでしたか。

２月３月のキャラバンで県内各地へ、これだけでも大変な事です。加えて２月例会から６０周年記念式典そして記念誌発行まで盛りだくさん。正直、あまり心配していなかった委員会の一つだったかな。若干の詰めの甘さもあったけど、それはどの委員会でもあったこと。

６０周年記念式典では「柏崎らしさ」の式典が粛々と執り行われました。式典を経験した事のないメンバーが多くなった現在、それこそ一から周知させていく事は難儀であったことでしょう。各周年に参加し研究し、つくり上げていく姿勢は見えない努力ですが、成功へとつながる第一歩です。そこをきちんとしていた事が説得力を生むわけですね。

委員長として様々なことを得ることが出来た一年であったと思います。自分の気持ちを伝える難しさ、人を動かす難しさ、そのメンバーが思うように動いてもらった事のありがたさ、そして事業が成功し同志と分かち合う喜び、委員長をやった人間にしかわかりません。さすがの伊藤委員長も、しんどいな、くたびれているなという場面も目にしました。でもそれも人間味あふれて私は好きでしたよ。

そして、長谷川副理事長御疲れ様でした。伊藤委員長や委員会メンバーの悩みを懐の深さで支えて頂きましたね。優しい副理事長のイメージが強いです。しかしながら人は優しさだけではダメです。「強さ」も必要です。私の所信の最後に目を通してください。その強さがあるから優しかったんですね。本当にありがとう。縁の下の力持ち。

勝っちゃん、太志　年初から最後の最後まで大変お疲れ様でした。

【総務発信委員会】

坂本委員長、さらに成長したな。委員会の事業は決まったことが多い中、前倒しで事をよく進めてもらいましたね。ドラフトの際は、エグイ程の人選であったことを記憶しています。何といっても全国大会時の設えは大変だったね。参加人数も３０名弱と多く埼玉・上野の地へと集まったな。

楽しいひと時を過ごすことが出来たよ。ちなみに俺は鳥食わないんだよ。

君の成長は昨年に引き続き目を見張るものがあるね。まだまだ成長する許容範囲がある。その姿を見ているだけでも楽しいものなんだよ。この年に委員長をしたという事は、これからのJCライフそして人生にとっても必ず大きな財産となるよ。約束するよ。でも慢心したり自己の成長に歯止めをかけてはダメだよ。自己に投資をしていく姿勢を忘れてはダメ。これからの更なる成長に期待するよ。

啓、５年後１０年後の成長した姿を見せてくれよ。お疲れさま。

【直前理事長・６０周年特別顧問】

山﨑直前理事長、相当私に気を使ってくれた一年だったのではないかなと思う。昨年の流れからで６０周年特別顧問という特別職をつけさせて頂き、「周年に関わる委員会全てみよ」という事でお願いし、その職務を全うし尽力いただいた事に感謝。くたびれただろう。でも、完全燃焼できたのも事実ではないかい。各委員会には言いたいことを十分言っただろう。しかしながら私には言いたいことが山ほどあったことも理解している。「理事長の気持ち」を理解しているからこそ我慢してくれていたこともわかるよ。

健太、助かったぜ。本当にありがとう。そしてお疲れ様でした。

【監事】

阿武監事、杉田監事、かわいい弟分よ。

阿武監事、「実は僕も理事長やりたかったんです」阿武監事の言葉と想い。人生において諸事情によりどうしても出来なくなる場合がある。「その想いの分も俺がやるよ！」会話の中での何気ない一言。予定者段階から、こういう事業はどうだろう、今求められているのはこの様な事ではないだろうかなど、お互いに意見を交わしましたね。流石、理事長をやりたいといっていただけあってプラン満載、アイディア満載、ギラギラしているぞ。恐らくこの１年４カ月土日も関係なく、ほぼ毎日電話のやり取りしていたね。家のワイフもあきれるほどの頻度だったね。それだけ真剣で一生懸命であることには間違いない。実にありがたい存在だった。心強い同志であった。よき友であった。またかわいい弟分であった。

杉田監事、「俺さ、この様にやりたいんだけど、どう思う？」という私の問いかけにいつも「理事長の思うようにやってください。賛成です。サポートします！」といつも賛同してくれた。監事をお願いした際も「修一さんのいう事ならよろこんで！」との２つ返事。１０年前の５０周年の事を知っている数少ない同志。遠くから客観的に見守ってもらい、時には鋭い監事講評で理事メンバーを引締めてもらいました。しかしその一言一言には温かさがこもってました。

あんちゃん、杉ちゃん　ありがとう。色々な面で助けてもらったよ。今度ゆっくり、１年を振り返り酒でものもうさ。

【岡田専務、水戸部事務局長】

このふたり無くして２０１７年記念すべき年の運営は出来なかったであろう。ふたりへの「感謝」の思いはつどい１冊でも足りないくらいだ。

名実ともに最強布陣で臨んだ２０１７年。私は周りにはこう話していた。二人を将棋で例えるなら最強駒「飛車」「角」を参謀にした。最強ですと。ご存じの通り金や銀より強い。四方八方に動くことが出来る。私は王将より強いと思いっている。そんなふたりが力を貸してくれた。私は「歩」だな。

岡田専務、とにかく仕事が正確且つ早い。何においても冷静に判断できる。あと何といってもJCの定款がほぼ頭の中にインプットされている。だからアウトプットも出来る。ミスターJC定款だな。また、熱いものも表にはあまりあらわさないがかなり熱い。そして使命感が強い。まぁ、これだけ完璧で非の打ち所がない彼も、おっちょこちょいの所もある。酒を大量に浴びた日には必ず忘れ物をする。実に人間味あふれ愛らしい。やはり完璧な人間などいないんだ。そんな、お茶目な岡田専務が好きだというメンバーも多い。更にお茶目だと、もっとファンが増えるね。

水戸部事務局長、岡田専務の最強要素も潜在的に持ち合わせている。こちらも自分に厳しく、他人にも厳しい。そして常に勉強し学んでいる。他県出身だが柏崎の事を誰よりも愛してくれている。真剣だ。また、客観的に柏崎を、またJCを内から外から観察しどの様にしなければいけないか、またしていかなければならないか問題意識を持ち、常に当事者意識を持っている。それは志か野心か、高すぎる。時に手厳しい暴言を吐く。これも一生懸命の表れ。そのくらいが丁度いい。俺は好きだ。取扱説明書が必要だ。

またここに素晴らしい柏崎のリーダーが成長し続けている。柏崎JCもこのふたりがいる限り安泰だ。

岡ちゃん、智　２０１７年君たちのお蔭で乗り越えることが出来たよ。本当にありがとう。そして本当にお疲れさま。

【事務局員】

矢沢さん、ありがとう。現役の中で一番付き合いが長くなりましたね。約２０年という年月長いようだけどあっという間でしたね。本当にお世話になりました。

俺、１０年前の矢島さんとの約束、果たすことが出来たかな。矢島さん俺のこと見ててくれたかな。良くやったと褒めてくれるかな。それとも１０年前と同じように、「まだまだだな」「お前の大丈夫は信用できん」って苦笑いしてるかな。

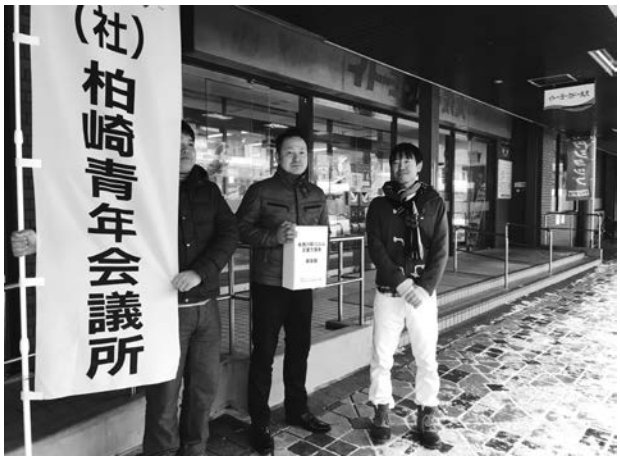
でもね、矢島さんに胸を張って言えることがあるんだ。「この１年最高の仲間と最高のJC運動が出来た」良い仲間との一期一会を報告します。

【最後に】

伝えたい事はまだ沢山あるけど、とてもつどいだけでは足りないので、来年１年かけて全メンバーに少しずつ伝える事にすることにします。ひとつだけ大事なことは「仲間の為に尽くして汗をかけ！」そして一期一会を大事にしてもらいたい。かりゆし５８の「オワリはじまり」の歌い出しの歌詞がまさに君たちに贈る言葉だ。

♪もうすぐ今日が終わる　やり残したことはないかい　親友と語り合ったかい　燃えるような恋をしたかい　一生忘れないような出来事に出会えたかい　かけがいのない時間を胸に刻み込んだかい♪

みんな本当にありがとう！感謝！

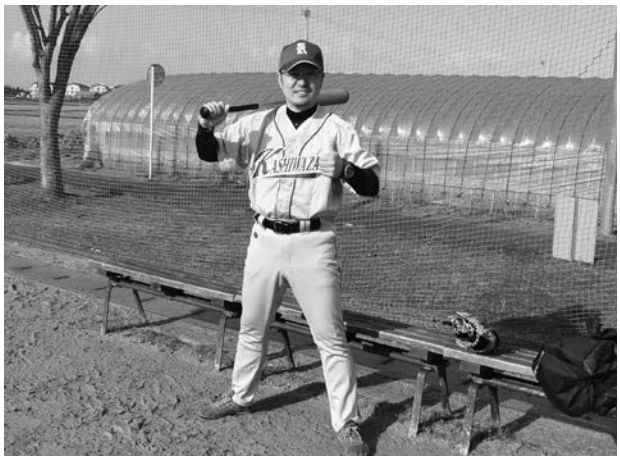

(社)柏崎青年会議所

柏崎青年会議所 2017年度新年祝賀会

JCI 一般社団法人 柏崎青年会議所 2017年度 新年総会
JCI

公益社団法人 日本青年会議所 北陸信越地区 新潟ブロック協議会
2017年度 第1回 新潟ブロックコンファレンス意見交換会 和
JCI 一般社団法人 柏崎青
2017年 8月19日(土)
創立60周年 式典・祝賀会 前へ!
tsubamesanjo 4.29 iwafune 6.24
kashiwazaki 8.19 itoigawa 9.18 tokamachi 10.29

議所
JCI 一般社団法人 柏崎青年
JCI 一般社団法人 柏崎青
JCI 一般社団法人 柏崎青年
創立60周年
tsubamesanjo 4.29 iwafune


KASHIWAZA

一般社団法人 柏崎青年会議所 創立60周年記念祝賀会
前へ！～受け継がれてきた熱き想いを胸に～
柏崎JC大還謝祭

2017年　理事長活動日誌

1月　4日	新年賀詞交換会	柏崎市市民プラザ・海のホール
1月　4日	柏崎商工会議所会頭表敬訪問	柏崎商工会議所
1月 10日	周年６LOM理事長の会	割烹 いなほ
1月 12日	第１回理事会	柏崎商工会議所
1月 13日	刈羽村長表敬訪問	刈羽村役場
1月 13日	東京電力ＨＤ(株)柏崎刈羽原子力発電所表敬補問	東京電力ＨＤ(株)柏崎刈羽原子力発電所
1月 13日	柏崎市長表敬訪問	柏崎市役所
1月 14日	日本海太鼓 40周年記念公演全体会議	ワークプラザ柏崎
1月 14日	がんばろう糸魚川プロジェクト街頭募金in柏崎	フォンジェ柏崎ショッピングモール
1月 15日	糸魚川大火支援金街頭募金	イトーヨーカドー丸大柏崎店
1月 16日	新年総会・新年祝賀会リハーサル	岬ひとひら
1月 17日	新年総会	岬ひとひら
1月 17日	新年祝賀会	岬ひとひら
1月 20日	京都会議	国立京都国際会館
1月 20日	北陸信越地区協議会第１回会員会議所会議	国立京都国際会館
1月 21日	京都会議	国立京都国際会館
1月 22日	京都会議	国立京都国際会館
1月 24日	未来の柏崎を担う子どもたちを育てる会　第２回総会	柏崎市立柏崎小学校
1月 25日	第２回理事会	柏崎商工会議所
1月 26日	Ｆｏｒｕｍ２１引継会	かも川別館
1月 28日	災害時における救援相互運営規程調印式	ホテルイタリア軒
1月 28日	新潟ブロック協議会第１回会員会議所会議	ホテルイタリア軒
1月 28日	第１回新潟ブロックコンファレンス	ホテルイタリア軒
1月 29日	柏崎民謡保存会新年会	岬ひとひら
2月　1日	柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会　情報共有会議	柏崎市市民プラザ・波のホール
2月　3日	平成２８年度第４回柏崎シティーセールス推進協議会　事前打合せ	事務局
2月　3日	職業講話	柏崎市立第二中学校
2月　6日	平成２８年度第４回柏崎シティーセールス推進協議会	柏崎市役所
2月　6日	２月例会	柏崎商工会議所
2月　8日	創立６０周年ＰＲキャラバン　第1エリア	いわふね　汐美荘

2月　9日	柏新時報社取材	事務局
2月　9日	第１回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
2月 12日	日本海太鼓 ４０周年記念公演 『枹の響演』	柏崎市文化会館アルフォーレ
2月 14日	経営マネジメント環境エネルギー拡大委員会「エネルギー問題・放射線に関する勉強会」	柏崎エネルギーホール
2月 16日	柏崎日報社取材	事務局
2月 20日	シニアクラブ新年会	割烹みずち
2月 21日	職業講話	柏崎市立第三中学校
2月 23日	第３回理事会	柏崎エネルギーホール
2月 25日	平成28年度高レベル放射性廃棄物に関する理解促進・支援事業地域リーダー交流会	TKP品川カンファレンスセンター
2月 27日	創立６０周年ＰＲキャラバン　第6エリア	上越　やすね
2月 28日	周年６LOM理事長の会	糸魚川　割烹 倉また
3月　9日	第２回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
3月 15日	創立６０周年ＰＲキャラバン　第3エリア	加茂　ホテル小柳
3月 16日	創立６０周年ＰＲキャラバン　第4エリア	浦佐　浦佐ホテルオカベ
3月 17日	新潟ブロック協議会第３回会員会議所会議	ホテルひさご荘
3月 23日	Ｆｏｒｕｍ２１　３月合同例会	ホテルニューオータニ長岡
3月 24日	第４回理事会	柏崎エネルギーホール
3月 30日	創立６０周年ＰＲキャラバン　第2エリア	五泉　ガーデンホテルマリエール
3月 31日	NBC会員交流野球・ソフトボール大会練習	長岡ドームバッティングスタジアム
4月　2日	NBC会員交流野球・ソフトボール大会	豊栄南運動公園野球場他
4月　6日	記念祝賀会実行委員会とのミーティング	事務局
4月 12日	柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会	柏崎原子力広報センター
4月 13日	第３回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
4月 14日	柏崎ライフセービングクラブ来所	事務局
4月 18日	松雲山荘ライトアップ実行委員会	柏崎市役所
4月 21日	柏崎青年工業クラブ総会懇親会	メトロポリタン松島
4月 22日	４月例会	柏崎エネルギーホール
4月 22日	柏崎東ロータリークラブ50周年記念式典	柏崎市産業文化会館
4月 23日	全国一斉！国民討議会新潟大会	三条東公民館
4月 25日	経済産業省　資源エネルギー庁柏崎刈羽地域担当官事務所所長面談	事務局
4月 25日	ぎおん柏崎まつり協賛会　会計監査	事務局
4月 27日	第５回理事会	柏崎エネルギーホール

4月 29日	一般社団法人燕三条青年会議所創立２０周年記念式典・祝賀会	燕市役所　まちづくり広場
5月　1日	ぎおん柏崎まつり協賛会総会	柏崎商工会議所
5月　2日	新潟ブロック協議会第４回会員会議所会議	村上市民ふれあいセンター
5月 11日	第４回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
5月 16日	創立６０周年事業拡大委員会	柏崎市産業文化会館
5月 19日	５月例会	柏崎商工会議所
5月 21日	ＮＢＣブロック会員ゴルフ大会	アパリゾート上越妙高の森
5月 25日	第６回理事会	柏崎エネルギーホール
5月 27日	新潟ブロック協議会第５回会員会議所会議	苗場プリンスホテル
5月 27日	会員拡大支援セミナー	苗場プリンスホテル
5月 29日	創立６０周年記念事業実行委員会	事務局
6月　2日	一般財団法人電源地域振興センター来所	株式会社タナベ
6月　4日	ＮＢＣ会員交流サッカー大会	柿崎総合運動公園
6月　4日	桜井まさひろ後援会総会	柏崎市市民プラザ
6月　8日	第５回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
6月 10日	６月例会	柏崎市武道館
6月 13日	新潟ブロック協議会第６回役員会議	メトロポリタン松島
6月 15日	柏崎日報社取材	柏崎日報社
6月 22日	第７回理事会	柏崎エネルギーホール
6月 23日	新潟ブロック協議会第１回臨時会員会議所会議	燕三条地場産業振興センター
6月 29日	創立６０周年記念式典実行拡大委員会	かしわざき市民活動センターまちから
7月　1日	新潟ブロック協議会第６回会員会議所会議	サルナート
7月　2日	ＮＢＣ会員交流バスケットボール大会	アオーレ長岡
7月　4日	防災フォーラム～糸魚川大火に学ぶ未来への災害時連携のありかた～	ハイブ長岡
7月　7日	北陸信越地区協議会第２回会員会議所会議	加賀屋姉妹館あえの風
7月 10日	創立６０周年記念式典リハーサル	柏崎市文化会館アルフォーレ
7月 12日	夕方ワイド新潟一番『フキダシコクチ』収録	ＴｅＮＹテレビ新潟
7月 12日	祇園祭祭典例大祭	御嶽山神社
7月 13日	第６回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
7月 14日	柏崎中小企業同友会設立式	かしわざき市民活動センターまちから
7月 15日	一般社団法人新津青年会議所創立６０周年記念講演・式典・祝賀会	新潟市秋葉区文化会館・総合体育館
7月 16日	７月例会	柏崎市文化会館アルフォーレ劇場広場

7月 19日	たる仁和賀　第１回神輿練習会	株式会社東亜工機駐車場
7月 21日	公益社団法人日本青年会議所第７回理事会オブザーブ	パシフィコ横浜
7月 22日	たる仁和賀　第２回神輿練習会	株式会社東亜工機駐車場
7月 22日	たる仁和賀　神輿決起集会	鯨波海水浴場海の家 土田屋
7月 25日	ぎおん柏崎まつり　たる仁和賀	柏崎市内
7月 26日	祇園祭祭典毎夜祭	御嶽山神社
7月 27日	第８回理事会	柏崎エネルギーホール
7月 31日	一般社団法人長岡青年会議所長岡まつり事業～長岡JC神輿渡御～御祝	株式会社大石組（長岡ＪＣ理事長勤務先）
8月　3日	８月例会	かしわざき市民活動センターまちから
8月　3日	式典祝賀会決起大会	船栄柏崎店
8月　8日	創立６０周年記念祝賀会リハーサル	柏崎市市民プラザ　波のホール
8月　9日	創立６０周年記念式典リハーサル	柏崎市文化会館アルフォーレ
8月 10日	第７回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
8月 18日	創立６０周年記念祝賀会リハーサル	柏崎市市民プラザ　波のホール
8月 18日	創立６０周年記念式典リハーサル	柏崎市文化会館アルフォーレ
8月 19日	創立６０周年記念祝賀会	柏崎市市民プラザ　波のホール
8月 19日	創立６０周年記念式典	柏崎市文化会館アルフォーレ
8月 23日	障がい者の就労を拓く会シンポジウム	柏崎市市民プラザ　海のホール
8月 23日	第９回理事会	柏崎エネルギーホール
8月 30日	柏崎エネルギーフォーラム創立45周年記念講演会	柏崎市市民プラザ　波のホール
8月 31日	通常総会リハーサル	柏崎エネルギーホール
9月　1日	通常総会	柏崎エネルギーホール
9月　7日	第８回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
9月　9日	第４７回ブロック大会新発田大会	新発田市市民文化会館
9月 11日	一般社団法人糸魚川青年会議所創立５０周年記念　陣中見舞い	ホテル國富アネックス
9月 13日	「新潟工科大・新潟産業大学」新入生歓迎会、検討会	柏崎商工会議所
9月 18日	一般社団法人糸魚川青年会議所創立５０周年記念式典・講演・祝賀会	ビーチホールまがたま･ホテル國富アネックス
9月 21日	第１０回理事会	柏崎エネルギーホール
9月 22日	新潟ブロック協議会第９回会員会議所会議	ラポート十日町
9月 30日	公益社団法人日本青年会議所第６６回全国大会埼玉中央大会　大会式典	さいたまスーパーアリーナ
10月 11日	６０周年記念誌　西川会頭との対談	柏崎商工会議所
10月 12日	第９回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール

10月 13日	６０周年記念誌　品田村長との対談	刈羽村役場
10月 14日	１０月例会	東京電力ＨＤ(株)柏崎刈羽原子力発電所
10月 14日	日本海ライオンズクラブ結成２５周年式典	柏崎エネルギーホール
10月 26日	第１１回理事会	柏崎エネルギーホール
10月 28日	新潟ブロック協議会第１０回会員会議所会議	燕市吉田産業会館
10月 29日	公益社団法人十日町青年会議所創立６０周年記念式典・祝賀会	道の駅クロステン大ホール
11月　9日	第１０回正副理事長会議	柏崎エネルギーホール
11月 10日	１１月事業	東京電力ＨＤ(株)福島第一原子力発電所
11月 10日	柏崎青年工業クラブ創立45周年記念講演会・祝賀会	メトロポリタン松島
11月 14日	シニアクラブ交流会	割烹三井田
11月 17日	１１月例会	かしわざき市民活動センターまちから
11月 22日	第１２回理事会	柏崎エネルギーホール
11月 25日	新潟ブロック協議会第１１回会員会議所会議	（長岡ＪＣ主管）
12月　8日	１２月例会	かしわざき市民活動センターまちから
12月 14日	第１３回理事会	未定
12月 22日	新潟ブロック協議会第１２回会員会議所会議	（雪国ＪＣ主管）

一年間を振り返って

直前理事長　山　﨑　健　太

専務理事　岡　田　和　久

直前理事長

「俯瞰」から「見上げ」へ

直前理事長　山　﨑　健　太

「イイネ！イイネ！」言い続けた目の回るような理事長イヤーが終わり、ゆっくりする暇も無く田邉理事長から受けた勅命、『６０周年特別顧問』。皆様も将来、顧問職につく方が多いと思うので（笑）この役から見た１年をこのつどいの場で記しておこうと思う。

１「俯瞰」して示す

メインミッションに据えたのは、膨大な両委員会の事業を「俯瞰」して観るという事だ。記念事業の日、式典祝賀会の日は決まっている、両委員長に本番から逆算して、今何をするべきなのかという事を日々伝えた。こればかりは経験が無いと中々出来ないので、自分の仕事と思って精一杯やった。予定者段階では、委員会アジェンダの内容まで指示してした。当時、毎日の電話攻勢に両委員長は嫌気が差したと思うが許して欲しい。それが無いと伸し掛かってくる完成までの総仕事量に押しつぶされて動けなくなるのではと思っていたからである。

２　活動の意義とは

「周年をどのような思いでやるのか」これが次に課せられたミッション、スローガンにつながるところでもある。ただ思いもなくイベントを企画し、こなす。周年の様な膨大な仕事量を要する事業において、ついついなりがちだが、それは避けたかった。意義、目的が薄いイベントを幾度となく見てきた、それは絶対避けたい。なぜ、何のためにやるのか、それを幾度となく委員会、特に委員長に問うた。

記念事業では「震災１０周年の感謝」を掲げ、これまでの感謝を全国に発信し、更に子どもたちに伝え未来につなげる、これがテーマになった。これは市民の皆様からメッセージを募り、更に学校をまわり子どもたちにも震災時の実情を話し意義を伝えた上でメッセージを貰うことで示した。記念式典祝賀会では青年会議所のこれまで行ってきた先輩方の軌跡に感謝し、これからの未来につなげる。ムービーで先輩方の軌跡をしっかり流し、ステージ上で実際にマーチング、日本海太鼓、どんがらぴっから柏崎の地域に根ざした活動を示すことになった。

１本筋道が通った上での「前へ～受け継がれてきた熱き思いを胸に～」が完成した時に少し息をついた事を覚えている。これでイケる！と思ったのもこの時だったと思う。周年通じて１本筋が通った企画を作り上げた皆様に本当に敬意と感謝しか無い。

３　任せる。成長を観る

年が明け期日が日々迫ってくると委員長の顔色が変わってきた、小野委員長はどんどん黒く、伊藤委員長はどんどん白くなっていった（笑）代わりに両委員会の副委員長が血色良く、ぐいぐい前に出てきた。委員会やラインで毎日飛ぶ指示や問題解決の為の話し合いを見て、自分が口を出すと逆にこのペースが乱れると思ったので、出来るだけ口を出さずに見ることにした。皆さんの熱量の篭ったアイディアには本当に感激した。自分の想像を遥かに超える素晴らしい動きに「俯瞰」していたつもりが、いつの間にか皆さんを「見上げて」いた。皆さんの目には使えない委員会メンバーその１に見えたと思うが、そう見えたのは皆様自身が成長したということなので勘弁してほしい(笑)

４　超える

今年１年感じたのは、人の力、青年会議所メンバーの力って凄いということ。自分自身１３年もこの会にいると、考えが固くなってきていると思う。これからのメンバーに敵わない所も多い。どんどん超えてほしい。来年は監事という大役を仰せつかったが、メンバーの活動をみて自分自身成長したいと思っている。新たなチャレンジです。よろしくお願いします。

専務理事

繋がる決意と努力と協力と感謝

専務理事　岡　田　和　久

昨年来、専務理事の職を田邉理事長より指名いただいた後、この「つどい」を書く今日まで、なんとか辿り着けました。何事にも前向きに取り組む６名の委員長の努力、そして副理事長、事務局長、監事と直前には理事会、正副理事長会議に臨むに当たっての地ならしから日々の運営の相談まで、そしてメンバーの皆さま、矢沢さんにも、本当に強力な協力をいただけたことに心から感謝申しあげます。

委員長、事務局長、副理事長を経験し、４つ目の理事職として専務理事に望みました。年々、各団体と繋がること、行政の審議会委員の委嘱など、この役職でなければ知り得ないことが多くあり、メンバーに周知しなければならないこと、お願いしなければならないことがありました。６０周年を迎え、例会、事業の規模も大きくなるなかで、なんとか負担を軽減しながらも、周囲からの青年会議所に対する期待に応えられるよう努めました。

今年度は、６０周年記念事業となった７月公開例会、記念式典、記念祝賀会がやはり最高の想い出になります。例会、事業当日は、メンバー一人ひとりが自分の役割を果たしつつも、足らない部分、その時その時に必要なことを自身で考え、動き、そのみんなが活き活きと躍動する様は実に有機的で、これぞまさに青年会議所での活動の醍醐味だと感じさせていただきました。

しかし、当日各自がこのように動けたのは伊藤委員長、小野委員長をはじめ委員会メンバーみんなで計画していただいたベースがあったからこそであることは忘れてはいけません。

私たち理事会メンバーは、理事会に出席したことのないメンバーからは恐らく想像できないほど、細かな部分まで事業計画について議論しています。常に「新しいこと」に挑むのは青年会議所に科せられた使命でありながら、だからこそ成長の機会を得られるのです。根立委員長による毎月入会での新入会員候補者へのアプローチ、吉越委員長による郷土の宝、花火との関わり、飯田委員長による福島第一原子力発電所への視察と立地ＬＯＭとの意見交換、坂本委員長による柏崎日報の全面広告による柏崎・刈羽への発信など、さあ、どうやって始めようというところから、知恵を出し合い、こなすだけでなく、より良いものへ昇華される努力は素晴らしいものでした。

新潟ブロック協議会へは、猪狩副委員長を輩出し、その彼を支えるため声をかけさせていただいたメンバーから惜しみない協力をいただけたことも大変ありがたいことでした。

知恵を出し合い、議論し、協力する。何にも代えがたい経験を、自己のプライドを持ちながらも泥だらけにもなりながらやり遂げる。この経験を多くの新入会員の皆さんを巻き込みながら得られたことに感謝します。

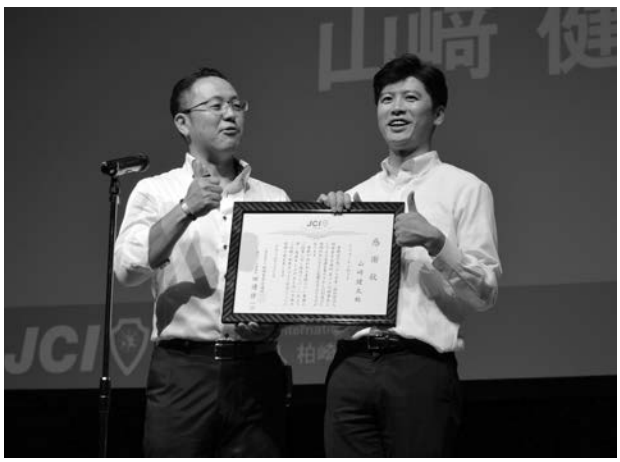
結びになりますが、たかがＪＣ、されどＪＣ。これを実感するには、理事になって、リーダーの役割を果たしてこそ感じられるのだと思っています。未だ来ぬ人、来たれ！

JCI 一般社団法人 柏崎青年会議所 2017年度新年祝

JCI 一般社団法人 柏崎青年会議所 2017年度 新年総会
JCI

2017年度
第1回 新潟ブロックコンファレン
未来に希望溢れ 和の心ある 誰もが夢を
社団法人
柏崎青年会
60周年
anjo 4.29

一般社団法人
柏崎青年会議所


JCI

JCI
(社)柏崎青年会議所

JCI

清酒

事　務　局

事務局長　水戸部　智

総務発信委員会

委員長	坂本　啓
副委員長	木村正隆
幹事	中村貴広
委員	品田剛
	長沢博
	松野颯太

事 務 局

６０年という重みを感じた２０１７年

事務局長　水戸部　　智

今年度は、一般社団法人柏崎青年会議所の設立６０周年となる記念イヤーでした。こんな大事な１年に、私のような人間が事務局長をしてしまって良かったのだろうかと未だに思っております。田邉理事長から、昨年お声がけいただいてから、事務局長らしい仕事をしっかりやれてきたのか、自分で振り返ってみると、特に何もしてない。と感じています。今年は、敏腕専務岡田和久君が専務理事兼事務局長をやっていたようなカタチです。私は、おまけで隣にいたような…。ということは、事務局長は誰にでもできるということです。私でも一応クビにならずに終えられたわけですから、誰でもできます。なので、これから柏崎青年会議所の役職に誘われるであろうみなさんには、出来る限りお引き受けいただきたいと切に願っています。自分自身、まがいなりにも１年ちょっと事務局長をさせていただいたことで、前の自分より若干成長した気がします。人に感謝すること、お願いすること、お返しすること。正直これまで対して重要だと思っていなかったことが、とても大切なことなのだと気づきました。すごく勉強になることばかりで、物事を見る視点なんかも、以前の自分にはなかった部分の裾の尾が広がったように思います。これはやらないとわからないことだし、やった人には訪れる『成長のチャンス』なんだと思います。チャンスを活かすも殺すもアナタ次第！ということです。

今年度の、総務発信委員会は坂本委員長、木村副委員長を核に、総務畑で腕を奮ってきた精鋭が集まりました。総務というのは、そんなにやることがなく、通年を通して事務仕事を淡々とやっていくイメージがあると思います。しかし、現場はそんなに穏やかではありません。議事録を大量生産しながら総会の設え、資料準備をして、全国大会のアテンドもしながら記念誌のフォロー…と一年中何かしらに追われているせわしない委員会です。精鋭が集ったおかげでなんとかのりきった…というのが実情ではないでしょうか。ただ、事業系ではない分、やることはある程度決まっているし、他の委員会のサポートなんかもしやすいという点では、やりがいのある委員会でした。

６０周年のビッグイベントとして、記念事業、記念式典、記念祝賀会を開催しましたが、担当された各委員長の方々、委員会メンバーの方々は本当に大変だったと思います。今回は、前年度の準備例会というものがなかったため、短期間での準備・調整・交渉が求められました。６０周年記念式典実行委員会の伊藤委員長と、６０周年記念祝賀会実行委員会の小野委員長は、５５周年を経験してない中での事業構築にとても苦労されたと思います。周年経験者や委員会メンバーのバックアップもあり、当日はすばらしい会となったことで、その苦労が一気に報われたのではないでしょうか。私自身とても感動しましたし、理事メンバーの一人として本当に感謝、感謝です。本当にお疲れ様でした。

今年は、三役の一人として、初の京都会議、初の全国大会、初の会員会議所会議に出席する機会をいただきました。なにごとも経験して、自分なりに腹に落として、次なる成長につなげていきます。

総務発信委員会

苦行の日々、成長の日々

委員長　坂　本　　啓

予定者段階から、ハンドブック、ＪＣニュース、新年総会と３事業に追われ、毎月の議事録・・・１年３か月最初から最後まで何かしらやることがあったゼロから始める総務生活、これを読める頃にはきっと羽を広げて気軽になっていることでしょう。（１２月の理事会の決算報告を抜かして）これを書いている今は（１０月かな）１１月例会、つどい、全国大会の精算と、てんやわんやです！！こんなことで音を上げる様ではまだまだですねw

ですが、ここまで何とか出来たのも委員会メンバーのおかげです。この文章を入れると「またこのくだりか。」など思われそうですが、気にしません！実際委員長を経験して実感しました。メンバーに仕事を振るのが苦手で、自分で何とかしようとやっていましたが、結局パンクして溜まった後処理を委員会メンバーにお願いしてしまったり、議事録も委員会メンバー頼み、委員会や担当例会・事業も委員長が曖昧な記憶でメンバーを困らせ、本当に迷惑をかけたし、助けられた１年となりました。ありがとうございました。

ここで最近のつどいのあるあるを入れたいと思いますw

●**松野君**　体調を崩してまで議事録作ってくれてありがとう！！仕事でなかなか参加が難しかったと思いますが、これからもがんばって！結婚おめでとう！

●**長沢さん**　ベトナムのポーおいしかったです。中国で店舗を出すことになったら、ご協力お願いしますwあと、理事会中の議事録作成のパソコンが早すぎて理事会に集中できませんでしたw

●**品田さん**　前年度総務委員長にもかかわらず、２年連続にしてしまいすいませんでした。事務局長と副委員長と３人で決めました！

品田さんのアドバイスのおかげでスムーズに進められましたありがとうございました。

娘さんおめでとうございます。

●**中村さん**　今年で３年連続同じ委員会でしたね。そして来年も同じ委員会！４年連続ですねwもう飽きたかと思いますが、お付き合いください。中村さんにはたくさん助けられました。ですので、お礼として卒業生感謝状を僕が書きます！（僕に回ってきたらですよ）あと、理事会の議事録作成時、プレッシャーが半端なくて理事会に集中出来ませんでした。

●**木村副委員長**　実は木村さんとは初委員会。ですが、あまりそんな感じがしませんでした。刈羽の方でも一緒だからですかねw全国の秋葉原も行動を共にし、メイドカフェの前でもごもごして結局入れず・・良い思いです。頼りになるし、ホッとする兄貴的存在でした。これからもよろしくです！

●**水戸部事務局長**　今ＪＣでいろいろできるのも、委員長になれたのも水戸部君のおかげだと思っています。ここでは書ききれないので、重要なことだけ・・感謝はしていますし、誘ってくれて嬉しかったのに、ある時「そろそろ啓ちゃん離れしなきゃなぁ～」って誘っといて勝手に離れないでくださいw！！早くこっちの世界に戻ってきな！

以上文字稼ぎでしたw

感謝の言葉が愚痴にもなってしまいましたが、今年度委員長をしてたくさんのものも得たし、学びもありました。本当にありがとうございました。来年度はフロアメンバーですので、今年度溜めにためた、やるにやりきれなかったアニメとゲームを開放したいと思います。これが今年の苦行で

した。忙しかったリアルを変える時が来ました。「爆ぜろリアル！弾けろシナプス！Ｖａｎ！ｓｈｍｅｎｔ　Ｔｈ！ｓ　Ｗｏｒｌｄ！」

総務委員会

副委員長　**木　村　正　隆**

２０１７年度は総務委員会、副委員長としてＪＣ運動しました。

水戸部事務局長とは２０１５年に共に委員長をした者同士、坂本委員長とは刈羽村に企業をしている者同士でお互いに意見の言いやすい環境ではあるけれど、厳しく言うべきことは言わないといけない立場かなと予定者の時はそのように感じていました。しかし、活動を共にする中で２人の連携は大変すばらしく、特に大きく心配することはほとんどありませんでした。２人とも年下だけれども、逆に自分が学ぶ部分が多々あり、勉強になりました。１年間通していろいろな活動をしたけれど、特に全国大会の秋葉原はすごくいい思い出になりました。ありがとう！

次年度はエネルギー委員会委員長として、再度委員長を仰せつかりました。荒川理事長を男にするべく、柏崎ＪＣらしく素晴らしいといわれるような運動をしてくように努力します！

２０１７年

幹　事　**中　村　貴　広**

今年は８年ぶりの総務委員会。いわふねの５０周年で麻生太郎が出てきた時はとても驚きました。現役の大臣の話が聞けるなんて、びっくりして目が覚めたくらいです。それと同じくらい驚いたのが、長沢君が同じ年の長沢君だと思っていたら、弟さんだったこと。全国大会の行きの新幹線は隣が長沢君で色々話せて楽しかったです。自分が理事を経験した時にフロアメンバーだった彼らが事務局長、委員長と次のステージを経験していく中で、自分もあと１年、色々なことを挑戦してみようと思います。

５年目を振り返って

品　田　　剛

ＪＣに入会して５年が立ちます。

今年度は入会以来の委員として坂本委員長率いる総務発信委員会で1年間活動させてもらいました。昨年度、総務の委員長をやらせてもらいましたので、委員会としてやらなければいけない事はだいたい分かっておりました。もうカメラは持ちたくもありませんでしたが、やっぱり持ちました

し、理事会の音声も夜中に聞きました。そして、このつどいの原稿を書きながら、これからの事業である１１月例会卒業式、つどいの発行の準備を行っており、委員会の仕事はまだまだ残っているのが現状です。もう少し頑張りたいと思います。

さて、次年度は６年目、ひとやすみ、ひとやすみ。

再　出　発

長　澤　　博

私のJC活動は、入会直後に海外勤務が決まったため、JC活動が出来ない日々が続きとても不本意なものでした。しかし、今年の５月に、日本勤務に戻ることが決まり、ようやく活動に参加できるようになりました。今まで中途半端でしか活動が出来なかった私は、活動の知識が新入会員当時とほとんど変わらない状況でしたが、坂本委員長他、メンバーの方々に暖かくご指導いただき、様々な体験をしながら１年間過ごせたことをとても感謝しております。また、総務発信委員会の活動は、周年事業に向けて、理事、委員長の苦労する姿、喜ぶ姿を身近に見て知ることができ、JC活動のすばらしさを理解することができました。貴重な経験をありがとうございました。

改めて、今後も一般のメンバーとして、頑張っていこうと強く思います。よろしくお願い致します！

１年間お世話になりました

松　野　颯　太

１年間お世話になりました。

ハッピートラス
あいさ

田中有人君

UENO PLANET
ひろげよう！パンダの夢
SAVE the PANDA

会員開発室

室長　安野広明

会員拡大コミュニケーション委員会

委員長	根立健一	
副委員長	大塚拓也	
幹事	阿部隆宏	
委員	猪狩拓也	佐藤拓真
	能澤尚寛	山田健太
	品田修吾	入澤勇太
	瀬下真人	張浩鵬

１年間を振り返り

室　長　安　野　広　明

２０１７年度は創立６０周年の開催が決定している年であり、この事業を軸として１年間を考えなければならない年でした。多くの会員が周年を経験したことのない状況のなかで、どのような１年が待ち構えているのだろうと期待と不安が入り混じるスタートだったのではないでしょうか。私もそのひとりだったと認識しています。

さて、今年度は副理事長という役職を務めるにあたって、私のスタートは会員より少し早い２０１６年９月でした。初めて会話をするであろう、パートナーの委員長との出会いは市内の居酒屋だったことを鮮明に覚えています。豪快に酒を嗜む委員長と酒が苦手な私が初顔合わせで深夜の２時まで過ごし、帰りの車で１年間しっかりとシンクロできるのか考えたことがつい先日のようです。

私達の成すべき業務は、ひとりでも多くの会員を会に迎え入れることであり、実績を重ねることで２０１７年度の大きな目標である創立６０周年の成功に貢献できると信じ努めてまいりました。結果は、２０１７年９月現在で１８名の新入会員を迎え入れるという私の想像以上の結果を得られることになりました。ただただ、担当委員長の努力がこの結果を生み出したと頭が下がるばかりです。

私は会員拡大をするにあたり大きなことを学ばせていただきました。日ごろ、目的を達成する時には、自分自身ができること（ＣＡＮ）自分自身がしたいこと（ＷＡＮＴ　ＴＯ）自分自身がしなければならないこと（ＭＵＳＴ）のバランスを考え行動をしていました。当然、人間ですからＷＡＮＴ　ＴＯが１番最初に先行し、次にＭＵＳＴという壁に衝突し、最後にＣＡＮという現実を目の当たりにして多くの目的を失ってきました。そんな私の日常と考えを根底から覆してくれたのが、会員拡大担当の委員長でした。

知識や経験というものは重要ですが、時には足枷となり平坦な道を選んでしまうこともあります。委員長は知識や経験がありながらも、平坦な道を歩くどころか、道のないところに道を創っていく人間でした。ただ一つのひとりでも多くの会員を会に迎え入れるというシンプルな目標に余計な机上の空論は持ち込まず、ひたすら会員拡大に邁進し、結果を得ていく彼の行動力を隣で見られたことは私の財産です。

最後に、ちょうど１年前に初めて顔を合わせ、会話をした根立委員長。我々はパートナーとしてうまくシンクロできたでしょうか。道のないところに道を創り続けるあなたの隣で指南役としてうまくガイドができたでしょうか。後ろを振り返ったら驚きますよ。あなたを慕ってあなたが創った道を歩いてくる仲間が沢山いることに。

会員拡大コミュニケーション委員会

１年間お世話になりました

委員長　根　立　健　一

一年間、必死にやってきました
苦難がありすぎましたが、振り返ってみれば、委員長をしてよかったなと今は、思えてきてます。
一生得ることのないだろう宝を得ることができました。
JC、メンバー、そして新入会員の皆様に感謝しかありません。
皆様、一年間ありがとうございました。

男！根立委員長！！　～へー１年終わりますわー～

副委員長　大　塚　拓　也

今年度は会コミメンバーとして根立委員長の下楽しく過ごさせて頂きました。あの豪快な根立委員長が次々と新入会員を入れていく姿、一緒にやってて気持ちよかったな～。多くの新入会員全員と絡めたし、いっぺ～呑みましたね！ハイエースの中で呑む酒は格別にうまかったな！メンバーの為にハイエース買ったと言っても過言ではないでしょう！ワイルドだぜ～
さて、我々にはつどいの後にも最後の12月例会あります。委員会一丸となってがんばりましょう！会コミ委員会から他委員会に行ったメンバー最後集まれ～～

去年の健太理事長の時は親指、今年度修一理事長は人差し指、さぁ次年度荒川理事長は何指使うのか～～

１年間お世話になりました

幹　事　阿　部　隆　宏

１年間お世話になりました。

１年を振り返って

猪　狩　拓　也

今年度は会員コミュニケーション委員会で委員として１年を過ごしてきました。今年度は、根立委員長の拡大がすごかったですね。自分はブロックの出向もあり、あまり委員会に出席出来ていなかったと思います。ですが根立委員長は、そんな自分の位置も考えてくれる委員長で凄く居やすい委員会で有りました。今になり自分もこの委員会で力を発揮出来なかった事に後悔しております。皆様自分のようにならないで、柏崎青年会議所として本来の有るべき事に力を入れて下さい（笑）

根立委員長ありがとうございました。

１年間お世話になりました

佐　藤　拓　真

１年間お世話になりました。

１年を振り返って

能　澤　尚　寛

自分は根立委員長に声をかけて頂き、JCに入りましたが、とても楽しい一年でした。最初の頃は右も左も分からずに、とまどっていましたが、自分たちが住んでいる柏崎市を盛り上げようとするＪＣ活動にとても共感を受け、自分でも何か役に立てる事があるんじゃないかと考える様になりました。入って最初の委員会の時は、一番始め何だこの宗教はと思ってしまった事も良い思い出で、今では少し慣れてしまいました。

自己の都合で、なかなかＪＣ活動に参加できないのが心許ないですが、今年後少しではありますが、委員長を少しでも支えられる様に頑張ろうと思います。そして、委員会今期最後のクリスマスパーティーを無事成功させて、来年につながってくれたらな、と思っています。

柏崎青年会議所と音楽

山　田　健　太

本年度、１月例会から参加させていただきもう９ヶ月が経ちました。最初は右も左も分からず、青年会議所が何をしているのかも分かりませんでした。

最初の委員会で会員拡大コミュニケーションの配属になりました。先輩方は常に分かりやすいよう教えてくれました。

そんな中、当委員会が担当した９月通常総会後の懇親会では、自分の趣味である音楽を取り入れてくれました。内容は２０１８年度次年度理事長候補者　荒川学君に送る応援歌を作成し、披露することが出来ました。

委員会メンバーで歌詞を考え試行錯誤し作り上げました。スピーカーを持ち込み大きな音で聞いたときは鳥肌が立つほど感動しました。とても思い出に残る作業をさせていただきよかったです。

２０１８年度もより一層活躍できるようがんばりたいと思います。

柏崎青年会議所に入会の年

品　田　修　吾

２０１７年私は柏崎青年会議所へ入会させていただく機会を頂きました。
会の存在は知ってた。入会している知り合いはいる、けれどはたして何をしている会なのか？全く無知だけどやっていけるのか？

そのような状態からスタートした訳で、、、

右も左もわからない自分、何か分からない事はないか？と聞かれても、何が分からないかも分からない状態の私！

同じ委員会のメンバーや同期生に助けてもらい教えてもらいでようやくバッジも頂く事が出来ました。ありがとうございます。

さて活動期間もまだまだ短い中ですが印象に残る事といえば９月に行われた通常総会懇親会でしょうか。懇親会では司会を務めさせて頂くことになり大変不安と緊張を覚えましたが、しかしながらさすが先輩方！見事な設えで懇親会は大成功だったと思います。司会を務める事が出来た事はすごく良い経験と自信にもなりました。

まだまだ何も分からない私ですがこれからもご指導よろしくお願いします！

１年間お世話になりました

入　澤　勇　太

１年間お世話になりました。

チームで目標を達成することの大切さ

瀬　下　真　人

今年７月に加入した新入会員です。よろしくお願いします。加入後、所属する会員拡大コミュケーション委員会の方をはじめ、多くの異業種の会員の方とお話しすることができ、とても刺激的でした。

通常総会懇親会の準備では、本番へ向けての事前打合せ、前日リハーサルを通してチームで協力して一つのことを成し遂げることの楽しさや大切さを学びました。本番は大成功で喜びもひとしおでした。

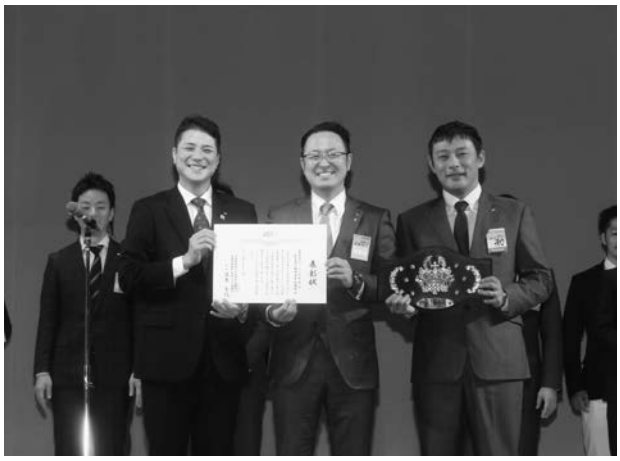
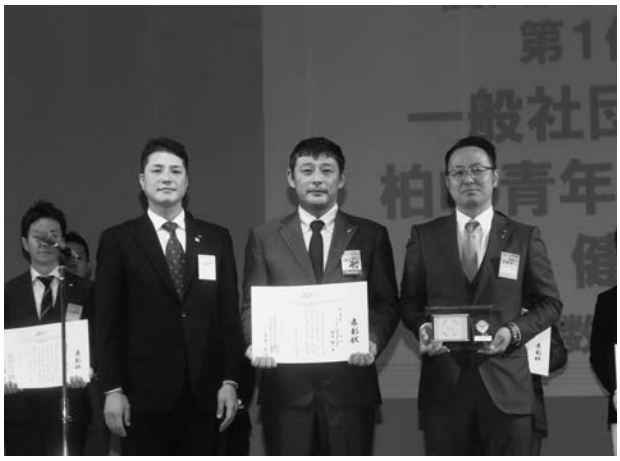
普段個人事務所において一人で仕事をしているので、青年会議所でのチームでの活動はとても新鮮です。組織内でのリーダーのあり方やコミュニケーションの取り方など参考になることがたくさんあります。

次年度以降も積極的にJC活動に参加して、先輩方の背中を見ながら多くのことを学んでいきたいと思いますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

１年間お世話になりました

張　　浩　鵬

１年間お世話になりました。

酒
清
吉
乃
川

社会開発室

室長　荒川　学

郷土愛育成こどもの未来創造委員会

委員長	吉越俊一		
副委員長	山口敏宏		
幹事	山崎徹		
委員	池田桂	植木秀和	
	久我篤史	田邉哲也	
	結城誠之		

社会開発室

こども委員会と過ごした１年

室　長　荒　川　　学

「自分、こどもいないからわかんないっすよ！」そういって頭を抱えながら基本方針作りを頑張っていた吉越委員長。

終わってみれば、委員会運営でも持ち前の明るさで委員会を盛り上げ委員会メンバーと力を合わせて、教育＝親学と郷土愛それぞれをテーマに誰に何を伝えたいかをしっかり捉えた参加者のハートに残る会心の事業を行えましたね。よっしー、お疲れ様でした。

「僕、テキトーなんで」

といいつつも頼んだ事柄にしっかり応えてくれる頼もしかった山口副委員長。

桂君ありきともいえるボケも良い思い出。

「僕なんて、僕なんて」と言っていたあなたも来年委員長ですね。

こんな時はどうしたらいいのか。

悩み事にぶつかった、そんな時は今年の吉越委員長と過ごしてきた１年を振り返ってみてください。グッサン、お疲れさまでした。

１回目の顔合わせで、まさかの幹事立候補という偉業を成し遂げた山﨑徹幹事。

名前だけですよ名前だけという言葉とは裏腹に、理事の経験を生かし委員長、副委員長をサポート、導いてくださってありがとう。

４月例会の講師選定ではホントに救われました。徹ちゃん、お疲れ様でした。

グッサンの暴投をどれもきれいに拾いきってくれた桂君。今年はお休みしたいかも・・・なんてお話しあったけれど、委員会の中心で楽しい雰囲気作りを最後まで行ってくれてありがとう。

穏やか、やさしい、紳士なイメージのお兄さんこと、久我さん。

どんがらピッカラの踊りを明るく楽しく踊られていたのがとっても印象に残ってます。
その後ろ姿を見て奮起していた委員会メンバーを見ることが出来ました。
本当にありがとうございました。

スタッフをマジすか！と驚かせるほど、２例会の広報や準備、に尽力してくださった結城さん。
４月例会後の懇親会の席、参加者からのお礼の話で男泣きしたのが良い思い出。
これからも良い報告が出来るよう頑張ってまいります！

入会して間もない中、ブロック出向に手を挙げてくれた田邉君（てっちゃん）。
例会を前に廃人となったいた室長と委員長に与えてくれた高価な栄養ドリンク忘れない。

秀和君、いつでも待ってるで～
今年も良い仲間と良い１年過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

郷土愛育成こどもの未来創造委員会

最高の一年を振り返るＦＢＣ吉越の「つどい」

委員長　**吉　越　俊　一**

田邉理事長から理事に誘われて、委員長をやらせてほしいと言って「郷土愛育成こどもの未来創造委員長」となった訳ですが、２０１６年度の理事予定者会議において、自分の書いた基本方針が全くダメでボコボコにされたところから私の委員長ライフは始まったと思います。「郷土愛育成」「こどもの未来創造」といったテーマに対して自分なりに向き合い、文章としてまとめるのにずいぶん苦労しました。他の委員長さんはサクサク出来上がっていったのに、１２月になっても自分が提出していたのは赤字と緑字のカラフルな議案でしたから。

基本方針が固まったと思ったらすぐに４月例会の議案が始まって。４月例会の議案が出来たと思ったら、次に６月例会の議案が始まって。４月例会の準備をしながら６月例会の内容を決めるのに悩んで。よし決まったと思ったら副理事長の皆様から、「いや、そんなごまかしの花火を上げるのは違う！！」とバッサリ。いい経験をさせていただいていましたが、全然楽は出来なかったなと。

でも、改めて「委員会」っていうシステムがすごいなと思いました。自分一人で悩んでいた議題を委員会に持ち込むと、さくっと決まるんですよね。そしてどんどん素晴らしいアイディアが出てきて、がっちりまとまっちゃう。事業構築の段階で６月例会の内容を決める時も、みんなから「委員長、お前のやりたいことは何だ！？」「花火をやってみたいです。」「よし、それをやろうじゃないか！」と言ってもらったこと、すごくうれしかったです。

当委員会は例会を２つ担当しましたが、それぞれを振り返ると、まず４月例会の思い出は２つあります。１つは横峯講師を山﨑幹事から紹介してもらって、１１月に岐阜まで講演を聞きに行ったことです。講師とお話しできるタイミングがあって「あなたを柏崎に連れてきたいから、今日講演を聞きに来ました。」と横峯さんに言っちゃいました。もう１つは例会当日のキッズスペースが事故なく終わったことです。あと、飯田さんの奥さん、めちゃくちゃ美人さんでビビリました。６月例会の思い出は、自分の頭上に花火があがったこと。その時に田邉理事長から、「終わったな、お疲れ。いいことも悪いこともあったけど、いい勉強になったな。」って言われて、目から汗をかいちゃいました。６月例会であがった花火が、自分の人生で一番の花火です。

この一年、理事長・専務と事務局長にはいろいろと目をつぶってもらい、理事の皆様からもたくさん応援してもらいました。荒川さん、ぐっさん、結城さん、久我さん、桂さん、徹さん、てっちゃん、秀和さん？？委員会のみんなの力があって頼りない吉越は少し成長できたと思います。最高の一年を本当にありがとうございました。

あれ、最後のミッションである「子づくり」がまだ出来てないぞ！！今後は夜の営みにも尽力したいと思います。ＦＢＣ吉越より。

副委員長を経験して

副委員長　山　口　敏　宏

昨年のぎおん柏崎祭後の懇親会の場において突然、吉越委員長予定者と荒川室長予定者から「副委員長をやってもらえないか」と打診を頂いた。まだ入会したばかりの自分に重役が務まるのか不安であったが、少なからず頼ってもらえたことに嬉しさを感じました。

その中で1番印象に残っているのは6月公開例会である。事業の方向性や内容がなかなか決まらなかった。

そこから、荒川室長、吉越委員長、メンバーで話合い例会の内容を決めた。当日は準備不足が否めない部分もあったが、(有)片貝煙火工業様のお力添え、メンバーの協力もあり大成功に終わった。本当に皆さんに感謝しています。

まだまだ大きなイベントが残っているが、皆と協力をして残りの「新生柏崎」イヤーを乗り切り、次年度に繋げたいと思います。

花　　火

幹　　事　山　﨑　　徹

まずは吉越委員長お疲れ様です。

今年度は、郷土愛育成子どもの未来創造委員会で活動させていただきました。非常に楽しく活動出来た１年間だったと思います。

しかも当委員会の荒川室長は次年度理事長予定者となっています。委員会内に次年度理事会メンバー予定者が５名もいる事はなかなか優秀な委員会だったといえるのではないでしょうか？山口副委員長は特に頑張ってください。

さて１年を通して自分が最も印象に残っていることは、やはり花火例会だったと思います。この例会はなかなかの挑戦だったのではないでしょうか。委員会内でも意見が二転三転して委員長は結構苦労されたと思います。花火の魅力を伝えるとしても何をすればいいのか？あまりに子供騙しのようなチープな感じになっても、最近の情報社会の中に育った子供たちに楽しんでもらえるのか？色々なアイデアを出し合いました。自画自賛ではないですが私はなかなか良いアイデアをいくつか出せたと思います。中でも実際の打ち上げ花火を打ち上げるアイデアは、この事業が大成功に至った１つだと思います。

今回例会に初めて自身の家族を呼びました。かなり楽しんでくれたみたいでJCの活動に理解を示してくれる一助になりました。

打ち上げ花火を真下から見るという普通では経験できない事を経験させてくれた今年度JC、そして委員会に感謝です。

一年間お疲れ様でした。

池　田　　桂

今年度は自分的に久しぶりの事業系委員会に配属され、とても充実した一年間を過ごさせてもらいました。４月・６月と前半濃密型で大変な事もありましたが、優しくて面白い荒川室長と真面目でわがままバディの吉越委員長、若いのに親父ソウルな山口副委員長達のすばらしい委員会運営でアッという間に一年過ぎちゃいました。委員会として飲んだ回数は少なかったけど不思議とまとまって面白い委員会でした。やっぱり委員会後の竜王、中美、ハルビンのラーメンざんまいがみんなの絆を深めたのでしょう。

「中華ざんまい委員会」本当に一年間お疲れ様でした！

１年間お世話になりました

植　木　秀　和

１年間お世話になりました。

ありがとう柏崎青年会議所

久　我　篤　史

卒業記をご覧ください。

JC２年目の１年間を振り返って

田　邉　哲　也

今回私はJC２年目ということになり、吉越委員長の郷土愛育成こどもの未来創造委員会に選ばれました。私は人付き合いが得意な方ではないので、メンバー半数が前年度のメンバーだったのでとても助かりました。活動では４月親学講師例会、６月花火制作体験を行い、１年目より流れがわかる分動けると思いましたが、実際には仕事や他団体との兼ね合いもあり６月花火体験に出席出来なかったのが心残りです。

今年度新潟出向もあり、JC１年の知識では力不足が多く、他の出向メンバーに多大な迷惑、負担をしてしまって心苦しいです。

柏崎６０周年では写真撮影があり、少しでも力になれたのではないかと思います。

来年度も仕事、JC、他団体とありますが上手くこなせるよう、成長の年にしたいです。

ありがとう柏崎青年会議所

結　城　誠　之

卒業記をご覧ください。

消火

(一社)柏崎青年会議所

第45回 NBC交流 野球・ソフトボール大会 in にいがた
桜満開「アラサー達の汗と涙」青春の詩

一般社団法人柏崎青年会議所 2017年度 4月公開例会
『親 学』～親が変われば子どもも変わる～
講師：橋本 吉文 氏（社会福祉法人純真福祉会 理事長）
JCI

一般社団法人柏崎青年会議所 2017年度 4月公開例会
『親 学』～親が変われば子どもも変わる～
講師：橋本 吉文 氏（社会福祉法人純真福祉会 理事長）

一般社団法人柏崎青年会議所 2017年度 4月公開例会
『親 学』～親が変われば子どもも変わる～
講師：橋本 吉文 氏（社会福祉法人純真福祉会 理事長）

6月公開例会
2時間目
花火の仕組みを知ろう

法人柏崎青年会議所 2017年度 4月公開例会
『親 学』～親が変われば子どもも変わる～
講師：橋本 吉文 氏（社会福祉法人純真福祉会 理事長）

JCI
Kashiwazaki

あおどう代行

柏崎青年会議所創立60周年記念祝賀会
柏崎JC大還謝祭

一般社団法人 柏崎青年会議所 創立60周年記念祝賀会
柏崎JC大還謝祭

経営開発室

室長　青　木　健　次

経営マネジメント環境エネルギー委員会

委員長	飯　田　雄　介	
副委員長	徳　増　大　樹	
幹　事	原　田　玲　奈	
委　員	赤　堀　博　一	岩　間　一　博
	杉　田　直　人	藤　巻　慎　哉
	宮　崎　智　之	

経営開発室

飯田雄介　経営マネジメント環境エネルギー委員会

室　長　青　木　健　次

まず始めに今年度、様々で皆さまから、ご尽力をいただいたこと御礼申し上げます。
飯田雄介、飯田委員長、大変お疲れ様でした。あの夜、あなたから誘われていなければ、背中を押されていなければ、この1年の経験ができなく、気付きも学びも少ないまま終わっていたかと思います。感謝しています、ありがとう。ケンさん俺、来年委員長を受けたよ。一緒にやらないか？その気概と覚悟で、すぐさま田邉理事長に電話をかけ、もしできるようであれば彼とやりたいとお願いしたこと本当に良かったと思っています。

そして田邉理事長、我がままをお聞きいただきありがとうございました。1年、理事とし、どれだけお役にたてたかはわかりませんが思うこと感じたことは伝えるようがんばらせていただいたと思っています。田邉理事長、それを見守っていただき、ありがとうございました。

飯田委員長が率いる経営マネジメント環境エネルギー委員会を受け持ち、委員会は当該年度の前年の準備段階から幾つも事業構築を作りました。周年ということもあり事業規模を変更できるよう会全体を考えての行動でした。この時から既にリーダーシップを発揮し行動した飯田委員長に、そして委員会に、これから1年、私は何を伝えられるかと思いました。結果、教わったのはやはり自分でした。そして委員会は精鋭揃いで様々に持ち味を発揮し5月の例会を素晴らしい物に作り上げてくれました。リーダーシップと自己分析の内容で講師役の赤堀くん、藤巻くん、そして委員会メンバー全員が素晴らしかったです。なんだけど、、、室長総括、とちってごめんね～。恥ずかしい。。。そうそう、お揃いのネクタイでの例会でしたね。それと、この時の委員会、まねくさんで同じ釜の飯を食べたんだよね。嬉しかったな～。そして神輿事業においても素晴らしかったと思います。飯田委員長、大変だったね。最後まで声出たじゃん。YDKやで！かっこよかったよ。ケツ出さなくてよかったよ。そして10月例会では徳増副委員長を主体に設えました。今に合ったかたちに例会を設え、その後の意見交換会も、これまでにないかたちに設えをしました。卒業生の岩間さんの想いで全てのセレモニーをされたことも記憶に残ります。大変素晴らしい例会でした。

さて、あっという間の1年、大変楽しく過ごさせていただきました。室長として何ができたのか、理事として何ができたのかわかりませんが、とにかく楽しかったです。それも委員会メンバーの皆さんのおかげ、メンバー皆さんのおかげです。そして、やはり飯田委員長のおかげです。皆さん本当にありがとうございました。大変お疲れ様でした。

５年目にして

委員長　飯　田　雄　介

まえがき

ん？修一さんから電話だ・・・

「あぁ！雄ちゃん？」

「来年さぁ委員長やってくんない？」

こうして僕の理事バージンは修一さんに奪われました。といいますか、『つどい』を書くこの時期に例会と事業が１つずつ残っているというのは如何なものでしょうか・・・（泣）絶対貧乏くじ引いた・・・（笑）

ゴホンッ！えぇ～、２０１７年度経営マネジメント環境エネルギー委員会委員長を仰せつかりました飯田です。

「大変だけど『大』きく『変』わるチャンスだぞ！」と修一さんからお声がけいただきその気になって受けてしまいました（笑）

5月担当例会

『経営系・リーダーシップセミナー』と題し講師例会でなんとかすり抜けようと思いましたが、ＲＥＮＡに一蹴され断念。ＫＥＮとＴＯＫＵの三人で毎晩悩み、涙する夜が続きました。結果、委員会メンバー全員で作り上げた手作り例会は大成功！『駅裏漁港けんじろう』での懇親会♪盛り上がったなぁ（泣）皆様に感謝申し上げます！

7月担当事業

神輿だ！歴代木頭の顔ぶれを見ると、自分なんかがやっていいのか？できるのか？と不安でいっぱいでした。思い返せば7月17日から当日まで毎日、朝から神輿のそばにいました。何をするわけでもなく（笑）そして今年は、御嶽山神社前からのスタート！当日は生憎の雨でしたが、ウチの神輿が一番輝いていました。担ぎ手全員がひとつになり威勢よく神輿を担ぎあげ、柏崎刈羽地域を盛上げることができたのではと思います。多大なるご支援、並びにご協力いただきました地域の皆様、並びにご指導いただきました諸先輩方、現役メンバーの皆様に感謝申し上げます！

委員会メンバーへ

☆ＫＥＮちゃんいつもギリギリの議案書提出と文字の色間違い、一緒に怒られてくれてありがとう！（ＯＫＤ専務ごめんね（泣））

☆ＢＯＲＩちゃんいつも言いにくいことでもアドバイスくれてありがとう♪次年度委員長頑張ってね！

☆ＫＡＺＵさん卒業おめでとうございます。今年は親子関係逆転しましたね（笑）ほぼフル出場ありがとうございました♪

☆ＮＡＯちゃんいつも真っ黒でちょっと強面だけど笑顔が素敵でしたよ(笑)宴番長ありがとう♪

☆ＴＯＫＵちゃんあなたが副委員長でよかった！ほんとにありがとう♪生涯、僕の副委員長でいてください（笑）

☆ＲＥＮＡちゃんいつも適切なアドバイスありがとう！助かりました♪もう、上からモノを言うのはやめてね（笑）

☆ＳＩＮちゃんいつも仕事終わりに委員会に駆けつけてくれてありがとう！あなたのように器用で

繊細な人がいてくれて助かりました♪
☆ＭＩＹＡさん卒業おめでとうございます。仕事と子育てで忙しいのに5月例会＆神輿ありがとうございました！最高でした♪
この一年、多くの諸先輩方や仲間たちと貴重な時間を過ごさせていただきました。先輩と言い合いにもなりました。メンバー同士ケンかもしました。しかし、そこに成功した時の喜びや、失敗した時の悔しさを分かち合える青年会議所の仲間がいること。その素晴らしさをこのあと続く皆様に、少しでも伝えていくことができたらいいなぁ・・・と思いつつ残り２年間を過ごしたいと思います。未だ理事経験のない方、一度は経験してみるべきです。『大変』だけど『大』きく『変』わるチャンスです！（修一さんごめんなさい、パクっちゃった（-_-;））
皆様、今年一年大変ありがとうございました。謝謝♪

経営マネジメント環境エネルギー委員会

副委員長　**徳　増　大　樹**

今年は経営マネジメント環境エネルギー委員会で、リーダーシップ論、神輿、エネルギーと幅広い活動に携わりました。

リーダーシップ論では、単に講師を招くだけの例会にはせず、委員会メンバーが講師役として行いました。また神輿では、これまで参加するだけの立場でしたが、裏方に回ってみるとこんなたくさんの苦労があることを改めて感じました。
そして、最も頭を悩ませたのがエネルギー例会でした。
東電社員の立場でどのように関与すべきか、自分がいることで、他のメンバーが気を遣うのではないかと悩みはありましたが、メンバーが積極的にエネルギーについて真剣に考え、たくさん良いアイデアが出ました。結果、例会に参加した方々からは「また参加したい」と好評をいただき、素晴らしい例会になったと思います。慎哉、製氷機あったわ、ごめんねぇ～ごめんねぇ～。
飯田委員長、青木室長、メンバーのみんな、本当に楽しくて濃い１年でした。ありがとう。

最高のメンバーにありがとう

幹　事　**原　田　玲　奈**

まずは委員会メンバーの皆さん、1年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。最高のチームワークだったと思います。
私は口だけ出して、何もやらないわがままなメンバーで申し訳なかったなぁと思ってます。
それでも1年通してとても楽しく活動できました。途中色々なことがあってJCを辞めようか本気で悩んだ時期も、委員会メンバーからもらえる友情に支えられました。
飯田委員長のバイタリティと行動力、いつも尊敬しています。

青木室長の的確なアドバイスのお陰でよりよい委員会になりました。
メンバーの皆さんのお陰でJCが楽しめました。
ありがとうございました。

けいえいまねじめんとかんきょうえねるぎーいいんかい

赤　堀　博　一

長い委員会名だけどあっという間の１年間だった。
写真を眺めながら振り返ってみると、
第１回予定者委員会懇親会後にみんなでコロナビールで乾杯。飯田委員長の誕生会は、わさび入りケーキでサプライズ。自分も誕生会してもらいました。レナちゃんとマッキーの誕生日は、片足だけの長靴とサドル。原田屋の牛丼、美味しかった！５月例会は、ビシッとした「今日のイワマトメ」とグダグダな「室長総括」。神輿は、朝４時起きでみんなで運搬。飯田委員長のカチ、カッコ良かったです！１０月例会は、やっぱり岩間パイセンのオールセレモニー！！ビシッと締まりました！！
とにかく楽しく厳しく過ごした１年間だった。飯田委員長の懐の深さ、青木室長のグダグダ感、徳増副委員長の顔芸・・・などなど素晴らしいメンバーと共に過ごせてよかった。
また秘密基地で委員会メンバーで飲みましょう！その時は、ネクタイを忘れずに！！

ありがとう柏崎青年会議所

岩　間　一　博

卒業記をご覧ください。

１年間お世話になりました

杉　田　直　人

１年間お世話になりました。

１年間お世話になりました

藤　巻　慎　哉

１年間お世話になりました。

ありがとう柏崎青年会議所

宮　崎　智　之

卒業記をご覧ください。

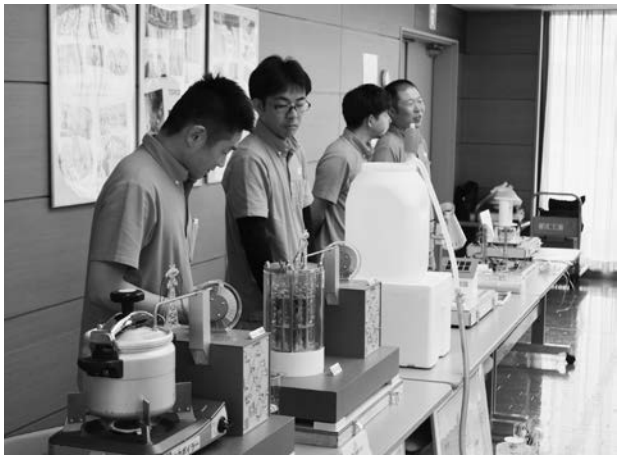
UNDER
ARMOUR

KASHIWAZAKI

JCI Mission
To provide development
opportunities
that empower young people
to create positive change
JCI

市民プラザ
JCI

開会宣言
岩間　一博君



2017
小野
2017年

公益社団法人日本青年会議所 北陸信越地区 新潟ブロック協議会
ブロック会員ゴルフ大会2017 表彰式
めざせ!! オールイン
主管:(一社)妙高青年会議所
日時:平成29年5月21日(日)
30,000

60周年記念式典室

室　長　長谷川　太　志

60周年記念式典実行委員会

委員長	伊藤勝史	
副委員長	佐藤雅宮	竹内一公
幹　事	神林　仁	
委　員	小谷竜子	村山　央
	吉田晃継	小林拓也
	小俣拓巳	髙橋和宏

60周年記念式典室

ありがとう柏崎青年会議所

室　長　長谷川　太　志

卒業記をご覧ください。

60周年記念式典実行委員会

６０年に一度の委員会

委員長　伊　藤　勝　史

初の委員長はなんと６０周年委員長という昨年に引き続き無謀なチャレンジをした伊藤でございます。みんな大丈夫だ！こんな俺でも周年委員長だ。これから委員長になるメンバーのみんな、恐れなんていらない！出来ない事があって当たり前、学びながらどんどん「前へ」出ていこう！

２月例会の準備なんかは、年末年始のゴタゴタの中、ふわっと入ってしまったのがまず反省。作業を振るのが下手で、どうしても抱え込んでしまう。そんな中、まさかの例会１週間前にインフルダウン！委員会メンバーにはすご〜く迷惑をかけたけど、自分が不在の中、それぞれが役割を果たそうと動いてくれた。みんなの力を感じた時だった。あの気づきと感動は、自宅のベッドで咳き込み、鼻水出しながら強く感じたのを今でも鮮明に覚えているよ。

そして、６０周年記念式典では、振り方が下手くそながらも、委員会メンバーに役割をお願いして、それにみんなが応えてくれた。プレッシャーに押し潰れそうになる事もあったけど、委員会メンバーの存在と力が支えになってくれた。特に拡大委員会以降、直前期にみんなから感じるパワーは凄かった。多くの時間を削り、協力してくれて感謝の一言に尽きるよ。お願いした作業をこなし、日中事務局に張り付き、そして夜は飲み（笑）、車中で録音もしたね。本当に色々あった。やべ、書いていてまた泣く（笑）

当日は、「今年の周年」らしい記念式典を準備し、間違いもあったものの、何とか終えることができた。最後に涙したのは、様々な苦労を思い出したのもあるけど、柏崎JCのメンバーの力が集まると、これだけの事が出来るという事に感動したから。組織力！これは柏崎JCの強みだ。その後の飲み会では公約どおり、記憶はありません。酒に飲まれるのはこれで最後ね（笑）

６０周年委員長として、今年は柏崎JCの歴史に触れる機会が多かった。各年代の周年記念誌、つどいなど、様々な資料が事務局には残っていて、それらは宝の山と言っていい。式典映像で朗読した我々の想いを伝えてくれた言葉は、５０年前に先輩方が作ってくれた言葉だった。先人は素晴らしい活動をされていて、資料をちょっと眺めただけでも熱き想いが伝わってくる。未来を見ること

も大事だけど、「受け継がれてきた熱き想い」をたまにはこっそり覗き見してみるのもいいんじゃないのかな。

この委員会が担当の事業に協力してくれた柏崎JCメンバーのみんな、本当にありがとう。委員会メンバーのみんな、一人一人お礼が言いたいけど、書ききれないよ。今年のＪＣでの時間を共有出来て、委員長幸せ♡嬉しい事、悔しい事、悲しい事、様々経験できた。もうお腹いっぱい！こんな経験を泥棒してサクッと卒業するんじゃ申し訳ないので、あと一年、しっかり努めてから卒業します。

一年間を振り返って

副委員長　**佐　藤　雅　宮**

本年も大変勉強させて頂きました。伊藤60周年記念式典実行委員長より、同委員会副委員長の拝命受けさせて頂きましたものの、JC歴も浅く、何をすればいいか想像することも出来ない、ひどく心許ない気持ちで新年を迎えたことを覚えております。

振り返ってみますれば、長谷川室長、伊藤委員長、竹内副委員長、フロアにおります諸先輩方の力を借りるばかりの補助輪付きの副委員長でありました。大変恥ずかしい話でございます。

それでも式典終了後に委員会メンバーと皆様方と、頭のネジが外れたみたいに酒を酌み交わしたことがとても良い想い出としてあります。

あれから随分と時間が経ったような気が致します。まだ委員会で毎週のように酒を飲んでいます。終わる気がしておりません。

室長ご無沙汰しております、卒業旅行の折は竜子さんご馳走様でした、委員長リベンジ中美ご馳走様でした、竹内副委員長ご迷惑おかけしております。

書ききれませんでした。

三度目の式典

副委員長　**竹　内　一　公**

３回連続実行委員会！！！と伊藤委員長から連絡を受けながら白目をむき心の中で叫んだ。実を言うと周年事業に良い思い出は無かったのだが、どうせ最後の周年事業。何故か気合が入った。

「俺たちなりのオリジナリティは必要！」と無難なシナリオに反対し、メンバーからのチャレンジングなアイディアは積極的に委員長に意見具申する。面倒なことは一生懸命若手に投げる！委員長をはじめ、他のメンバーにとっても面倒な副委員長だったと思いますが、これ以上ないほど検討し、共に汗をかき、素晴らしい式典を皆で称え合って最高の思い出に残る式典を実行することが出来ました。

メンバーの意見を最大限実行できるように自由にさせてくれた伊藤委員長、全てを「差し出した」委員会メンバーのみんな、チョー楽しかったね！本当にありがとうございました。久々に熱く

なれた委員会に大感謝。

ＪＣと周年と経営と

幹　事　神　林　　仁

月日が経つのは早いもので、５５周年からもう５年が経ち、６０周年もなんとか終了しました。当時未熟者だった自分があのような大事業を全う出来たのは本当に当時の仲間達の協力があってのことと今も感謝しています。

今年は理事は受けなかったけれど周年委員長の経験者として出来る限りの事をしようと臨んだ年でした。伊藤委員長とは覚えていないくらい飲みを重ねましたね。お疲れ様でした、想いのこもった最高の式典だったと思います。小野委員長もお疲れ様でした、祭設え、とっても良かったです。そして初全国大会は竜子さんには本当にお世話になりました。卒業おめでとうございます、有難うございました。

ここからは全体に対して、少し反省っぽく。毎回のことですが本当に周年はもめますね色んな意味で。当時の経験者全員からの引継はどの程度活かされたか？理事全員が５年前の資料に目を通したのだろうか？全てが上手く行ったとは言えないでしょう。フロアからの不満の声も耳にしました。周年は規模が大きく大変ですが、経営と同じくＰＤＣＡが必須です。今回の周年での反省点はしっかりと次回に繋げなければいけません。周年は５年間が空きますし、反省が大事なのでこんな文を書かせていただきました。

あと今年は色々考えさせられる年でした。予感していたわけではありませんが、昨年経営開発室長をし、それぞれ自社の経営がしっかりしてこそのＪＣ活動だと思っていた矢先、色々ありましたよね。自分に出来ることは何かを考えながら、ＪＣも残り５年、頑張っていこうと思います。

ありがとう柏崎青年会議所

小　谷　竜　子

卒業記をご覧ください。

ありがとう柏崎青年会議所

村　山　　央

卒業記をご覧ください。

１年間を振り返って

吉　田　晃　継

柏崎青年会議所に入って初めて周年祭を行い、式典準備など慌てて動いてきたつもりがあっという間に終わったように感じました。委員会での式典準備・打ち合わせも数多く行い、何より司会という大役を頂いての絶対に失敗してはならないと感じながらの日々は非常に胃がキリキリする思いでしたが、本番を迎えてしまえば、もう後はなるようになると思えたのか、良い意味で開き直っていたのか、がむしゃらになっていたら気づいたら終わっていました。ただ式典を終えるまでの活動は、毎年行う例会や委員会よりも確実にメンバーとより深く分かりあえた・仲良くなれたという気持ちになりました。ＪＣに所属するということは上下関係や礼儀、社会活動など謳っているようなことばかりを経験するものだと思っていました。しかし、一緒に過ごしてきた時間が作る絆や信頼関係の方が、自分の宝物になるんだということを、周年を経験して改めて感じました。

１年間お世話になりました

小　林　拓　也

１年間お世話になりました。

１年間お世話になりました

小　俣　拓　巳

２０１７年３月、私は青年会議所に入会しました。最初は皆さんがおっしゃる通り歌を歌ったり、英語を言ったりして間違った宗教団体かと思いました。ですが毎月、例会に出るたび花火の体験教室やリーダーシップセミナー、ありがとうの日２０１７、そして６０周年記念式典に携わらせて頂き理事長を始め各メンバーや同期と仲良くなり色々相談し、忘れる事の出来ない７月!!私は60周年記念式典の委員会に配属になり、たいした事はしていませんが大きな事業を達成しました。

こんなにも多くの事業者と共にすることは普段あまりないので凄く緊張し私の甘さも知り、これから１年１年成長出来る様に頑張りたいと思いました。

私事ですが花火体験では、片貝の煙火工業さんと知り合い手伝いに行きました。そしてそこからまた色々な方に出会う事が出来ました。柏崎青年会議所は私にとって仲間でもあり、いち会社のトップとしての教育場にもなって、尚且つ柏崎市民との触れ合いもあって最高だと思いました。

これからはもっとやることも増えてくると思いますが、少しでも皆さんの役に立てる様に頑張りたいと思います。

『前へ』出ます！

ＪＣに入ってみて

髙　橋　和　宏

意味もわからず、なりゆきでＪＣに入会し、早半年。周りの顔や名前も一致せず自分が飲食店を営んでいることから中々ＪＣの委員会や例会に出ることができず少し後ろめたく肩身が狭い気持ちで過ごしました。参加したくても参加できないというのは辛いものです。ですが新入会員同士の飲み会で楽しく過ごし同期というものができたこと。６０周年の祝賀会で料理係をし、忙しかったけど少しでもお客さんの為に貢献できたこと。微力ですが有意義な時間を過ごせました。なによりも同級生の岸が毎日(しつこいくらい)電話をくれ困っていることやわからないことを何でも聞いてくれたり教えてくれたり本当に彼には助けてもらいました。出れないなりに頑張って活動しますのでこれからも皆さんよろしくお願い致します！

委員長趣旨説明
一般社団法人 柏崎青年会議所
2017年度 60周年記念式典実行委員会 委員長
伊藤 勝史 君
JCI

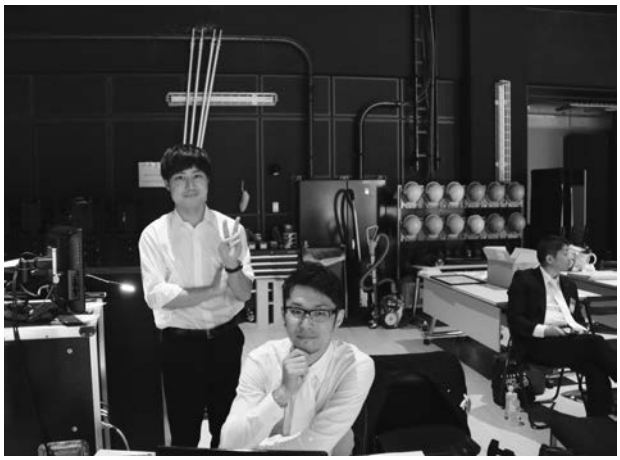
JCI

室長謝辞
一般社団法人 柏崎青年会議所
2017年度 60周年記念式典実行室長
長谷川 太志 君
JCI

JCI

er International Kashiwazaki
法人 柏崎青年会議所
JCI

一般社団法人 柏崎青年会議所 創立60周年記念祝賀
前へ！～受け継がれてきた熱き想いを胸に～
柏崎JC大還謝祭 前へ!



60周年記念事業室

室長　上森　茜

60周年記念事業実行委員会

委員長	小野和也	
副委員長	伊平泰将	川口泰史
幹事	高橋宏忠	
委員	岸　剛史	霜田真紀子
	田中有人	丸田洋介
	元井貴男	森　清和
	前澤佳奈子	三谷宗寛
	海津勇太	松田真之介

60周年記念事業室

感　謝

室　長　上　森　　茜

今年度の私のJC運動を一言で表すと「感謝」です。

担当した2つの事業、7月16日　ありがとうの日　記念事業では地元の中学生からメッセージ、写真に協力いただき当日の天候も心配されましたが大勢の家族連れがモザイクアートから自分の写真を探す姿、キャンドル全体の写真を撮っている姿は忘れられません。

記念祝賀会も柏崎らしさ設えに至るまで回り道をしましたが当日はOB、来訪LOMのみなさまから大変喜んでいただきました。

頼りない室長だったかと思います。何かと仕事と重なることが多かったり、娘を連れての参加であったりでみなさんが深夜まで委員会をやっている中、早く抜けることもありましたが何一つ不満も言わないでくれました。みなさんと6月以降ほぼ毎日のように作業をし、夢にまで出てくる位過ごした濃い日々は決して忘れません。

本当にありがとうございました。

田邉理事長、私に機会を与えてくださりありがとうございました。

60周年記念事業実行委員会

ありがとう柏崎青年会議所

委員長　小　野　和　也

卒業記をご覧ください。

１年間お世話になりました

副委員長　伊　平　泰　将

１年間お世話になりました。

１年間お世話になりました

副委員長　川　口　泰　史

１年間お世話になりました。

2017年を振り返って

幹　　事　高　橋　宏　忠

今年度は６０周年記念事業実行委員会の運営幹事として活動させて頂きました。非常にやることが多く大変な一年間ではありましたが、青年会議所活動の素晴らしさを改めて感じることの出来た年であったと思います。担当した60周年記念事業および記念祝賀会では、どちらも最終的な形が見えるまで手探りな状態でした。直前まで一体どうなるか分からないなか、完璧とまでは行かないまでも最後までやり切れたことは、非常に嬉しくかけがえのない経験となりました。一年間ともに活動出来た小野委員長を始めとしたメンバーの皆様には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

次年度は、総務広報委員長を勤めさせて頂くこととなりました。今年感じたこと。それは、青年会議所活動はかけがえのない貴重な経験であるということです。次年度は総務広報委員長として青年会議所活動がより有意義な活動になるように取り組んでいきたいと思います。

一年を振り返って

岸　　剛　史

今年は小野委員長のもと60周年記念事業実行委員会として大変素晴らしい経験を沢山いただきました。

キャンドルイベントでは、実際に松浜中学校に出向き、先生や生徒の真剣に取り組む姿や、当時の想いを七色の紙から感じることができたこと。ＪＣメンバー一丸となって当日大雨の中、奇跡的に雨も風もなく本当にギリギリのコンディションの中大成功に迎えられたこと。

６０周年記念祝賀会では、ステージイベントの担当として子ども委員会さんと竜子さんとで相沢まきさんとえちゴンとでどんがらピッカラ柏崎を披露することができました。一人ひとりが責任感を持って取り組み大成功ができた一日だったと思います。周年事業という壮大な事業はメンバーの成長に繋がりますし、周年を開催するという意味と意義を改めて感じました。両委員長の涙程カッコいいものはなかったです。

反省する点では、小野委員長へのサポートや委員会運営に余り携われなかったこと。とても後悔していると共に、卒業する小野委員長ともう少し時間を共有して、６０周年の準備段階からもう一踏ん張り関わっていれればな・・と思います。来年度も引き続き頑張って生きます！

１年間お世話になりました

霜　田　真紀子

１年間お世話になりました。

一年間お疲れ様でした。

田　中　有　人

今年は６０周年ということで、委員会内では年初から私の意見として、「これまで２０周年のマーチングや３０周年の三尺玉など、地域に残る事業を創ってきたので、今後の柏崎刈羽地域に残るような事業を創ることができたらうれしい。」とお伝えしましたが、何か形に残るものを作ることが出来ず、とても良い事業であったとは思いますが、もうひと押しあればさらに良いと感じました。

また、本年は地区出向、地域の会への出向もしていたため、周年事業のために寝る時間を割きながらの手伝いをさせていただいたりもしました。しかし、本年の地区フォーラムへの参加者、地域の会に来てくれるメンバー共に０名ということで、心にポッカリと穴が開いたように感じています。

最近先人の言葉で「組織とは、籠に乗る人、担ぐ人、そのまたわらじを作る人」という言葉を耳にしましたが、今年わらじを作る立場となって感じたことは、一番前線に立つ人間のやる気をいかに出させるかが大事であるとお伝えし、２０１７年の感想とさせていただきます。

次年度のみんな、地域の会来てくれてありがとう。来年はよろしくの。

１年間お世話になりました

丸　田　洋　介

１年間お世話になりました。

青年会議所を振り返って

元　井　貴　男

今年の活動で印象に残っているのは、７月例会です。
準備の段階で最初参加できず申し訳ない気持ちでいっぱいでした。でも途中から徐々に参加できるようになって準備していてひとつひとつ終わって行くうちに、これどうなるのかなって少しわくわくしながら作業をしていました。

5000個のキャンドルの瓶洗いモザイクアートの板造り等々沢山作業をし、本番を迎えてみて、キャンドルを見ていよいよ終わりに近づいてちょっと寂しい気持ちになりました。

素晴らしくいい例会になったと思います。

経　　験

森　　清　和

柏崎JC６０周年と言う節目に記念事業委員会として活動させて頂きました。序盤はあまり活動を活発にできなかったものの、キャンドルイベントとモザイクアート、６０周年記念祝賀会を担当し、今年学んだことは「人の気持ちを理解すること」です。

今年は職業講話もさせていただき、その中でも言ったことなのですが、人の気持ち理解することは相手の立場になって物事を考えないとできない事であり、それは経験を積んでいなければできない事だと思います。それができていないとどうなるか？自分勝手な決めつけで相手に不満を与えることになります。これは経営者と社員のよくある光景ですが、これを解消しないと社員の士気は上がりません。JC会員としてJCでしかできない経験をするだけでなくしっかり積み上げ、それを社内に持込み、会社を良くして地域に貢献する。JCの良い面を検めて考えさせられた一年になりました。今年も有難う御座いました。

皆さんに「ありがとう」

前　澤　佳奈子

JCの皆さんは、ボランティアで地域のため、メンバーのために、自分の時間を使って活動されていて、素敵だな～と思います。今まで、多くの事業や想いや、えちゴン♪も残してくれました。

そんな皆さんの仲間にぴょこっと入れていただきました。温かく迎えていただき、この１年で多くの経験をさせてもらえて、感謝しています。

皆さんは、分かりやすい資料を丁寧に作ったり、誰も気付かないところに気付いて見通しを立てたり、管や木材であっという間に設えを完成させたり、冗談を言って皆を笑顔にしたり、大勢の前でスラスラとあいさつをしたり、言いづらいことをしっかり伝えたり、リーダーシップを発揮して皆を引っ張ったり、さまざまな長所を持った、カッコいい＆かわいい方たちです。そんな皆さんの活動を理解し、支えてくれるご家族にも、感謝の意を表したいです。

７月16日、キャンドルの灯りに照らされて募金活動を行っている光景、とっても良かったな～。来年はどんな景色が見られるのか、とても楽しみです。

１年間お世話になりました

三　谷　宗　寛

１年間お世話になりました。

「地元」＝・・・

海　津　勇　太

「地元」という言葉に対する、イメージと想いが大きく変化した一年だった。高校入学とともに柏崎を出た私にとって、「地元」は単なる出身地でしかなかった。

今年、１５年ぶりに柏崎に戻ってくることになり、去年までは全く関わりのなかった柏崎青年会議所にお世話になることとなった。恥ずべきことだが、地元のことであるにもかかわらず、青年会議所の活躍を全く知らなかった私にとっては、未知の世界であった。最初は不安もあった。いや、不安しかなかった。しかし、諸先輩方と語らい、活動していくなかで不安すぐに消し飛んだ。そして、多くの刺激をいただいた。「地元」というのは、場所だけではないと感じた。「ひと」だ。この場所に住む「ひと」、この街を作る人「ひと」。

この柏崎の「ひと」のために、青年会議所で活動していきたい。未熟者ですが皆様宜しくお願いいたします。

柏崎青年会議所１年目

松　田　真之介

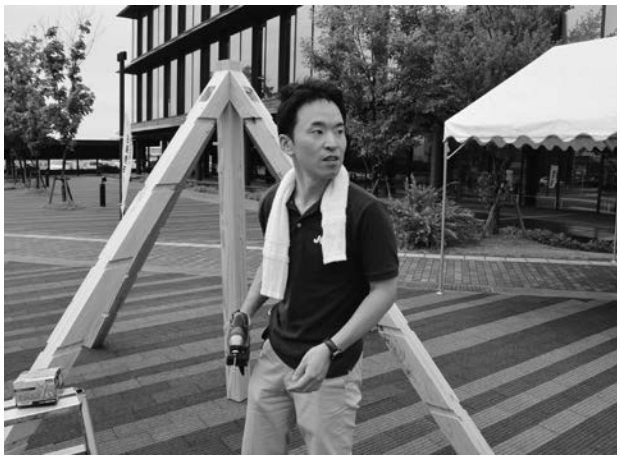
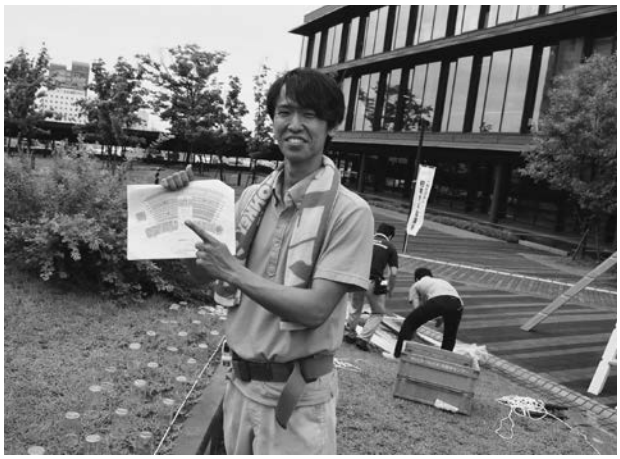
今年度から柏崎青年会議所に入会させて頂きました。初めは何も分からず委員会や例会にただ参加しているだけでしたが、大事業がある６０週年記念事業実行委員会に配属が決まりました。７月はキャンドルイベントありがとうの日２０１７、８月には６０週年記念祝賀会がありました。「この大事業を絶対成功させる!メンバー」の熱意を感じいつの間にか一生懸命に参加する自分がいました。

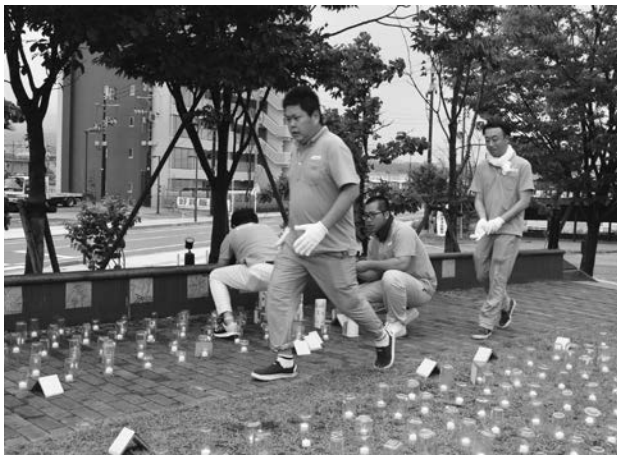
中越沖地震から１０年、柏崎青年会議所６０周年、この一年だからできる事業に力不足ながら協力できたことを委員会メンバーに感謝いたします。

最後に、たぶん１００回くらい聞いたし、聞かれました。

「このビンってあと何個洗うんですか？」

とても良い思い出になりました。



ありがとう

出　向　記

田　中　有　人

猪　狩　拓　也

品　田　　剛

荒　川　　学

岸　　剛　史

田　邉　哲　也

出 向 記

田　中　有　人

本年は北陸信越地区協議会に出向させていただき、素晴らしい出会いと経験をさせていただく事ができました。北陸信越地区という広い目線での事業を行うことになるので最初はいろいろと戸惑いがありましたが、理事長サミット、地区フォーラムともに大成功をさせることができて本当に良かったと思っておりますし、北陸信越地区内に多くの仲間ができたことも今後の財産になったと感じています。

理事長サミットにおいては、私どもが作成した地域総合戦略冊子を元に、インフラ整備の重要性を発信させていただく事と共に、各地域においての署名活動を始めるきっかけを作らせていただきました。また、地区フォーラムにおいては、これまでの中での最高の登録数を始め、事業内容、アンケート結果など、私がこれまで参加したことのある地区フォーラムの中でも一番の事業となったと思っています。

他地域を見るということは自地域との比較ができるということです。柏崎の良さを他地域に伝えるためには他地域を知らなければできる事ではありません。ぜひ、皆さんからも多くの出向をしていただき、他地域の素晴らしい事業以上の事業計画を計画していただきたいと願います。

一年間ありがとうございました。

初ブロック出向副委員長

猪　狩　拓　也

今年度ブロック出向副委員長と言う立場を任された猪狩拓也です。ブロック出向委員長という立場は凄く大変な立ち位置でしたが、委員として自分に力を貸してくれた皆様、本当にありがとうございます。自分一人では成し得なかったと思うくらい柏崎委員メンバーのおかげで有ります。

今年度はまた新たに場が広がりいい経験になり勉強になりました。柏崎委員のメンバーがこんな自分と一緒に取り組みを行ってくれたことを忘れず、次年度に活かして行きたいと思います。

最後に私事でございますが、声を大にして言わせて下さい。「柏崎青年会議所メンバーありがとうございました！」

出向して

品　田　　剛

今年度は初めて出向することになりました。「公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会夢を描けるひとづくり委員会」という委員会でした。

柏崎からは猪狩副委員長をはじめ、６名でその委員会に配属されました。私自身、初めての出向という事で出向というものがどういうものかよく分かっていませんでした。

出向に行った方から、出向は楽しいよと聞いていたのですが、聞き間違いだったようです。はなしが長くなりますので書くのは差し控えますが、とてもたいへんでしたし、疲れました。

初・委員会出向

荒　川　　学

出向って、どんな感じ、様子なんですか、お金はどのくらいかかりますか、楽しさってなんですか。近年、ブロック出向をお願いする立場になる中、こう問われてもうまく答えられない歯がゆさがありました。

じゃあ、行ってみよう、やってみようと今年は一念発起。一緒に行こうよと誘った田邉君が快く返事くれた時はうれしかったな～。

行って見てみた感想は。

お金、ブロック用の名刺、ジャケット作成、対象事業への登録、出向する委員会後の懇親会に参加することで、かかります。時間や作業等、ＬＯＭと同じように必要になります。これをＬＯＭの活動と同時に行うんですもの大変なのは間違いない。でも、より多くの学びとより多くの仲間が出来ることも間違いありません。これからは、良し悪しそれぞれお伝えしながら、お誘いできそうです。こうやって思えたのも一緒に過ごしてくれた柏崎メンバーのおかげです。ありがと。

出 向 記

岸　　剛 史

出向は事務局を含めると４回目になります。今年度は夢を描ける人づくり委員会に配属し、主に会員拡大事業に携わりました。

柏崎から上森さん以来のブロック副委員長を輩出ということで、副委員長の猪狩君には目まぐるしい毎日と耐え難い苦痛を何度も何度も経験したと思います。ですが、持ち前の明るさとガッツでがむしゃらに活動してくれた事に本当に感謝しています。「副委員長だから」の一点張りで頼ってばかりだったと反省しています。

大変なブロックでの活動でしたが私を含む柏崎組６人が意外と良いチームワークでした。特に学

さんと品田さんには多くを助けていただきました。会員拡大かわら版の発行には品田さんがいなければ絶対できなかった。チームワークを大事にし、幾度も背中を見せてくれた学さんには頭があがりません。いつも相談に乗ってもらい、一つ一つの言葉に助けられました。

４回の出向経験ですが、今後も役職には絶対につきたくないですしブロックに対してそこまでの覚悟はありませんが、来年も委員として出向を志願しました。他ＬＯＭのメンバーとの交流は自分自身のスキルアップに必ず繋がります。出向は絶対にお勧めです。

ＰＳ　拡大表彰の司会、絶対失敗できません。やり切る！

新潟ブロック出向の１年を振り返って

田　邉　哲　也

私は今年度新潟ブロック出向を始めて参加させて頂きました。

新潟２２ROM各メンバーが集まり、それぞれの異なった考え方、やり方、空気感などがあり、とてもいい刺激になりました。

同じ出向メンバーには助けられればかりでした。今後成長しなくてはと痛感した一年間でした。メンバーの皆さんありがとうございました。

卒　業　記

2017年度卒業生　岩　間　一　博
小　野　和　也
久　我　篤　史
小　谷　竜　子
杉　田　　淳
長谷川　太　志
宮　崎　智　之
村　山　　央
結　城　誠　之

そつぎょうします

岩 間 一 博

今は１０月某日。とうとう目前まで迫って来ました。僕は在籍5年での卒業です。２０１３年前期での入会でした。入会した年は吉原昭法理事長と植木盛久ブロック会長の2人が威張っていました。いや、柏崎青年会議所を牽引されていました（汗）

入会当初、先輩方の名前と顔を憶える事、そして憶えてもらう事これが僕の最初のミッションだった様に思います。例会・事業に出るにつれ、徐々に先輩方から面倒をみてもらえる様になり、例会・事業・懇親会に出るのが楽しくなってきたのを憶えています。

特に吉原理事長には3つの○○配りを見せて頂きました。当時を知る人はこれで解かるんじゃないでしょうか（笑）

先に卒業されていった諸先輩方からも大変かわいがって頂きました。本当に感謝しています。そして今後ともよろしくお願い致します。

入会1年目は新入会員でありながら半年後に青少年育成委員会へと移動になり、小山誠室長、山﨑雅之委員長のもとで子供たちとのキャンプ例会を行った事をいまだに鮮明に憶えています。子供たちのキラキラした目、キャンプファイヤーと樽美酒、先輩達と語り明かしたあの夜。忘れられません。次の日は２０時間以上ぶっ通しで寝てました（笑）

2年目の配属先は西川大委員長のエネルギー・モビリティ委員会および近藤貴也理事・近藤伸委員長のW近藤委員会、もとい、会員交流委員会の2委員会を掛け持ちするという非常にハードな年でした。

大変でしたが、最長でも5年しか在籍できない僕にとっては1年で2度おいしい年でした。『1年分儲かったねっか』と今思えば秋山博一理事長に感謝してます。

上越ＪＣの周年の引率の時には西川委員長らしく電車でＧＯ！でした。バスや車とはまた違った良さがありましたよね～！

そうそう、この年、会員交流の神も降臨しましたね～あのプレジデンシャルサングラスは今どこにあるのでしょう（笑）

3年目。自分と同い年でもある杉田淳君の会員交流委員会。とくになし。
というのは冗談で、やはり同い年の活躍というのは非常に刺激になりました。その背中を見て翌年、僕も委員長をする事になるのです。

2年連続の会員交流委員会ではありましたが、委員長が違うと考え方もやり方も結構違うんだなーと感じました。これが単年度制の面白いところなんですよね～。

ぎおん柏崎まつりのＪＣ神輿はどこにも引けを取らないぜ！！淳のカチかっこよかったぜ！（今回くらいは素直に言ってやるぜ）

そして・・・・・

4年目にして初理事、経営開発委員会の委員長をさせて頂きました。今まで支える立場から一転、

引っ張る立場へと。たしか昨年のつどいにも書いたと思いますが、ちょうど理事を引き受けた辺りから本業の方では人手不足に陥り、自分自身も忙しくなり、そりゃあもう死ぬかと（笑）そんな時支えになったのが委員会メンバーでした。メンバー構成が非常に良く、バランスの取れた委員会だったと思います。

3月・4月に行った、ＪＣメンバーの為の決算書勉強会。講師には春川さん、松崎さんに来ていただき、限られた時間の中、初歩から応用までわかり易くするにはどうしたらよいかの打ち合わせをして臨みました。この勉強会に続いて、5月例会ではキャッシュフローを学ぶ公開例会を行いました。経営コンサルタントの講師をお招きし、会社を守っていくにはどうしたらいいのかなどを学ぶ場としました。

8月には次年度６０周年までちょうど1年という事もあり、海岸清掃後に周年へ向けての決起集会および納涼例会を行いました。会場を海岸清掃場所近くの海の家にて行い、非常に盛り上がる例会になりました。ＭＣはなんと植木盛文先輩！いろいろ勉強させて頂きました（笑）

そして最後に１０月例会。柏崎青年会議所で原子力発電所の推進決議をしてから今にちまで、先輩方から脈々と受け継がれてきたエネルギーの例会を担当させて頂きました。

発電所の見学や委員会発表などで、現在の安全対策の進展状況、当会議所と発電所のつながりを学びました。また、安全性や再稼働へ向けての理解を少しでも深めてもらおうと、原子力発電所を持たない地域のＬＯＭの方にも来ていただきました。

少し真面目な文章になってしまいましたが、改めて振り返ってみると、これは何委員会なんだろう？というくらい色んな事をやった委員会だったなぁとしみじみ。

経営開発会員交流エネルギー委員会とでも言いましょうか（笑）何にせよ、委員長の機会を与えてもらい、最後までサポートもしてくれた山﨑健太理事長。本当にありがとう！

健太の年じゃなければ、俺には務まらなかったかも～感謝！感謝！

初理事で3回の例会に、2回の勉強会。

議案に協議に審議に決算に。押し寄せてくる波に、夢の中でもＪＣの事を考えていた1年でした。もちろん理事会もしましたよ、夢で（笑）

本当に大変だったけど、卒業間近になって、あの時理事を受けておいて心から良かったと思うし、まだ理事を経験した事のない人には、卒業までに１度はやってほしいと思います。

てゆーか、やれ（笑）

さて、いよいよ最終年度。意外にも入会してから初の周年事業でした。（５５周年の次の年入会なもんで・・）

今年度は僕の委員長時代に支えてくれたメンバーから、青木健次が室長、小野和也と飯田雄介の２人が委員長をやってます。小野委員長は６０周年の事業委員会、飯田委員長は経営・エネルギー系の委員会の先頭に立って奮闘中。

小野委員長は同い年でもあり、僕の副委員長を引き受けてくれた戦友でもあり。それが周年委員長の一人だなんて、、、僕を音速で抜き去っていきました（笑）キャンドルイベントはみんなが力を貸してくれて、大成功に終わった

よね。和也の人望の厚さを感じれたよ。
　周年祝賀会の設えも祭りの雰囲気がすごくよかった！委員長やるって聞かされたときは自分の事のように嬉しかったぜ！和也最高‼
　そして僕のＪＣ生活の最後は飯田委員長！
　経営マネジメントと環境エネルギーという去年と似たような委員会だなーと最初は思ったけど、ぜんっぜん中身が違うんで、さすが飯田委員長だと思ったね。委員会メンバーも良くまとまっていたり、いなかったり（笑）それもまた楽しかったぜ！
　そうだ！神輿も担当したね！僕は２度目の担当だったけど、今年の神輿はしびれたな。
連日の準備や練習で疲れがピークに来てるところに、小雨の降る中、延々と神輿を押して歩いた早朝５時。当日は天候も悪くて開催するかどうかもわからない。スタート場所に向かうまでかなりの雨だったよね。それでも、ほぼ降らずに最後まで担げたっけ。僕の日頃の行いが良かったからかな。雄介のカチもかっこ良かったぜ‼
　その他にも飯田委員会メンバーからは卒業生として格別の配慮をしてもらいました。〇〇〇セレモニーとかね♪
本当に感謝しています。卒業年度が飯田委員会で本当によかった！みんなありがとう！

　あと２か月程度でいよいよ卒業となるわけですが、正直に言えば、まだ卒業なんてしたくない！もっとみんなと一緒にいたい！活動したい！
しかしもう出来んのですよ。
　こんな風に思えるくらいＪＣを好きになったのは、自分で気づかないうちにそれだけ一生懸命にやってきた証なんだろうなぁ。
　新入会員、中堅会員の中にはまだくすぶっているメンバーを何人も知っています。卒業まであっという間だよ。１年でもいいからＪＣ真面目にそして本気で取り組んで！そこからしか見えない景色があるから！得られない経験があるから！

　最後になりますが、今後も柏崎青年会議所とメンバーが様々な場面で活躍するのを、陰ながら応援しています。
　みんな本当に本当に今までありがとう！！
　超楽しい５年間だったよ！！
　ＪＡＰＡＮさんより（爆）

泣いて笑った　ＪＣ生活

小　野　和　也

　私は２０１５年度、後期入会として柏崎青年会議所に入会しました。実質２年半の短く内容の濃い、ＪＣ生活を振り返りたいと思います。２０１５年度は会員拡大委員会に配属されＪＣという組織を学びました。この年の新入会員勉強会では、セレモニーで初めてＪＣＩＣｒｅｅｄの担当になり一生懸命練習した思い出があります。リハーサルの時、なかなか上手く言えない私に、当時室長の植木盛文先輩が「おい！小野！それじゃ駄目だ。上森と外で個人レッスンして来い！」と言われ

たことを懐かしく思います。また植木先輩は返事だけでも大きな声を出せと言い、声の大きさには自信があったので本番でかい声で返事をし、Ｃｒｅｅｄを終え、植木先輩を見ると、グッドと合図してくれたことを今でも忘れません。とにかくメンバーの皆さんに私のことを知ってもらい、柏崎ＪＣに馴染みたいと思いながら普通にＪＣ生活を過ごしていました。８月のある日、一本の電話が。同級生ということで仲良くなった岩間君からでした。「和也、来年俺の委員会の副委員長になってくれないかな」「うん！いいよ」本当にこんな感じで２０１６年度経営開発委員会の副委員長を引受けました。副委員長を引受けたはいいものの、まだ1年を通しての柏崎ＪＣの活動を知らないし、本当にやって行けるか不安でした。そこに更なる追い討ちが。当時専務理事でした青木君に「副委員長は大変なんだよ。やる事いっぱいあるからね」こんな事を言われ、更に不安が倍増しました。青木君からは、すぐフォローの電話があったけどね。そんな中、次年度委員会の活動が始まりました。当時の室長神林君の会社でスッタッフ会議を行った時です。経営開発委員会は、３回の例会と２回の勉強会を設えることになり色々と話をしていると、「２ヶ月前審議だから、この月まで議案書作らないと駄目だ。時間が無いわ」ん！審議って何だ？正直何を言っているのか、さっぱり分かりませんでした。最初の頃は、スタッフ会議、委員会と自分が何をしていいのか本当に分かりませんでした。年が明け３、４月の勉強会、５月の例会とたて続きに事業があり、大変でした。時には、委員長の会社で一緒に議案書を作成したのも、今では良い思いでとなっています。

８月の例会では、暑い中、海岸のゴミ拾いをし、その後次年度６０周年の決起を兼ねた、会員親睦例会を行いました。当日は不足品があったりしてバタバタだったけど本当に楽しかった！事前に植木先輩と玲奈ちゃんと会場の下見に行ったのも良い思いです。１０月例会では、東電の視察、柏崎ＪＣと東電との歩みを他ＬＯＭの方々もお招きし勉強を行いました。例会後の意見交換会では、司会を担当し、東電の正式名称をなかなか言えず、何回もやり直しました。（笑）この委員会では本当に色々な勉強をさせて頂きました。メンバー色は濃く、岩間委員長もまとめるのに大変だったと思います。岩間委員長、でも最高だったよね！委員会の打ち上げでは、まさかの岩間委員長からの手紙に大号泣でした。頑張ったんだな、俺。その日は気分もよく飲み過ぎまして、メンバーに介護されたことは言うまでもありません。そんな２０１６年度の委員会を行っているなか、田邉理事長候補者から電話がありました。「小野君。次年度の委員長をお願いしたいんだけど、どうだ」私は来年卒業するし、1回は委員長をやりたいと思っていたので、その場で承諾の返事をしました。ここから２０１７年度の長く大変な道のりの幕開けです。私が任された委員会は皆さんご承知の通り、６０周年記念事業実行委員会。柏崎青年会議所６０年の歴史のプレッシャーがドンと肩にのしかかってきました。予定者段階では、６０周年にふさわしい事業をやらなければいけないという思いが強く、事業の内容がなかなか決まらず、何度スタッフ会議を開いたことか。委員会、スタッフ会議を何度も開き、何とか事業の内容も決まりました。今だから笑い話になるのですが、当初７月例会はキャンドルイベントではなく、みなとまち海浜公園でイルミネーションを計画していました。なぜボツになったかというと、イルミネーションは塩害に弱く更に暑さにも弱いという事実を知り、急遽キャンドルに変更した次第であります。ハンドブックの７月例会会場がみなとまち海浜公園になっているのは、このような理由もあったからです。ここからは、私が委員長として行った事業を振り替えっていきましょう。まずは７月例会です。新潟県中越沖地震１０周年復興の一環として、５０００個のキャンドル１２００枚の写真で作るモザイクアートをメインに計画しました。この例会では本当に柏崎ＪＣ全メンバーから協力していただきました。（８月の祝賀会もそうですが）メッセージ用紙の配布、中学生・一般の方の写真撮影、瓶洗い、キャンドル雨防止の板金蓋の作成、モザイクアートの作成と、皆さん忙しい中協力していただき本当に感謝しております。瓶洗い、モザイクアート作成では、遠い大広田まで来てもらいありがとうございました。ほとんどの人

がこんな時ではないと大広田なんて来ないよね（笑）何とか準備も終わり当日です。しかし朝から雨。天候には勝てないなと思いつつやれることはしっかりやろうと思い例会に望みました。セレモニーは雨だったものの、キャンドルを設置する時には、雨もあがり一安心しましたが、そこで新たな問題が。風がでてきたのです。雨の対策ばかり考え、風の対策を考えていませんでした。伊平副委員長と川口副委員長とで本当に悩みました。悩んだすえ、発想の転換をし、蓋として使用する板金を土台として使用し事なきを得ました。本当に良かった。キャンドル点灯式が始まり回りを見ると大勢の来場者が来ていました。当日天候も心配でしたが、人が見に来てくれなかったらという心配もありましたが、不安も吹っ飛びました。キャンドル会場はキャンドルの灯りに照らされ幻想的な雰囲気でした。

その中で、柏崎市長、刈羽村長、柏崎商工会議所会頭の挨拶、中越沖地震の年に生まれたシンガーのＣｏｃｏさんの演奏など、とてもすばらしい事業を行えたと思います。何より市民・村民の皆様から書いていただいたメッセージは柏崎・刈羽全体の「ありがとう」を全国に発信できたと感じました。続いて祝賀会です。こちらは、７月例会の準備と平行に準備をしていかなければならず、本当に大変でした。７月例会から時間もないなか、毎日のように準備をしてくれた委員会メンバーに感謝いたします。祝賀会当日、縁日をコンセプトに設えた会場は、ご参加された皆様に驚きを感じて頂けたと思います。祝賀会の最中は、お酒が間に合わなくなったり、料理の配膳が上手く出来なかったりと、様々なトラブルもありましたが、大きな失敗もなく無事終えることが出来ました。これもメンバーの皆様が協力してくれたからこそだと思います。

メンバーの皆様には、細かい指示がいきわたらなく、スムーズな動きが取れない状況になったことをお詫びいたします。２つの事業を通しまして、私たち事業委員会は、本当にメンバー皆様の協力があり事業を行うことが出来ました。そして何より、私自身、皆様に励まされ、助けて頂いたことで１年最後までやり抜くことが出来ました。委員会メンバーには頼りない委員長だったかもしれません。最後まで一緒に頑張ってくれて本当にありがとう。みんなと頑張ったこの１年は一生忘れません。最後に卒業生として。この度の「つどい」には私自身の２年半の柏崎青年会議所での活動、思い出をずらずらと書かせて頂きました。原稿を書きながら色々な事が思い出され、この２年半、本当に良かったなと感じています。でも今年は本当に辛かった。何度投出してやろうと思ったことだろうか。しかし、いつも思うことがあります。仕事でもそうですが、人間は苦労した事の方が、自分の身になり今後の糧になると思っています。青年会議所での活動は楽しい事ばかりではありません。辛く、大変な事も多くあります。しかし、そんな思いをしたからこそ、事業が終わった時の喜び、達成感があるんだと思います。２年半の活動で悔し涙も嬉し涙も流しました。みんなで喜びも分ち合えました。本当に最高の思い出が出来ました。そして、田邉理事長、私を６０周年の委員長として任命して頂き、本当に感謝しております。この経験は一生の宝物です。

現役メンバーの皆さん、今後の柏崎青年会議所の、更なる活躍を卒業生として見守っていきたいと思います。期待しているよ。

つ ど い

久 我 篤 史

とうとう、柏崎青年会議所でこの「つどい」を書くことがないのだと思うとさみしい気持ちでいっぱいです。

在籍していた間、柏崎青年会議所で私自身は大したことはしていません。ただ思い返すとなんだかんだ楽しかったことしか心に残っていないです。

青年会議所に入会した翌年の2011年に父が他界しました。まさか父の葬儀に当時の委員会メンバー(関矢さん、渡辺さん、尾木さん)が来ていただけるとは夢にも思っていませんでした。メンバーの顔を見たとき、うれしくて涙が止まりませんでした。柏崎青年会議所とはそういう世界なのだなと思い知らされた瞬間でした。

今、40歳になって昨日のことも忘れがちになる近頃ですが、柏崎青年会議所での出来事は良かったことも悪かったことも忘れることができません。1年目の吉原委員長の時は右も左もわからず、チンプンカンプンな日々を過ごしていました。2年目の尾木委員長の時は例会で初司会をやらせていただいて、とても緊張したことを覚えています。3年目の秋山委員長のときは母親の病気の看病と自身の婚活でほとんど委員会に参加できず、大変ご迷惑をおかけしました。4年目の竹内委員長の時は原子力発電所見学ができて、とてもいい思い出になりました。5年目の中村委員長の時は子供お仕事体験教室でたくさんの子供たちと触れ合うことが出来ました。6・7年目の品田委員長・赤堀副委員長の時は2年連続で同じ委員長と副委員長だったので、最後の打ち上げの時、別れるのがさみしくてしょうがなかったです。8年目の吉越委員長のときは60周年祝賀会でどんがらピッカラを相沢まきさんのバックダンサーとして踊らせてもらって、いい記念になりました。

毎年毎年、委員長が違えば委員会も当然変わっていくので、8年間飽きることのない濃い時間を過ごさせていただいたと思います。8年間一緒になった委員会の皆様には本当にお世話になりました。ラストイヤーの2017年の時は自分の出来ることは何でもやって心から楽しんでやろうと思っている自分がいました。なんだか、気持ちの中で柏崎青年会議所に入会してからずいぶん変わった自分がいました。「井の中の蛙大海を知らず」とはいいますが、仕事でしか付き合いもなく、世間も狭かった自分には世間を知るチャンスをいただいた時間になりました。

私自身いろいろあった柏崎青年会議所活動ですが、なんでここに「少年」ではなく、「中年」でもなく、「青年」がついているのか、それは後で振り返るとこの活動自体が大いなる青春の時代、まだ青いやつらが真剣にこの町の未来を、この町に住む大好きな仲間たちを少しでも良くするために本気で議論し語らい悩んで、時には喧嘩をしてそれが本質なのだと思います。

柏崎青年会議所に入会する際に、入ろうか入るまいか非常に悩みました。でも、本当に入ってよかったと思っています。普段は触れ合うことのないたくさんの事柄、普通に暮らしていたら決して出会うことのなかった方達。正直、8年間はあっという間でした。病気さえしなければ、自宅が長岡市でなければもっともっといろいろな活動に出られたと思います。

正直、何も書くことが無いと書き始めるまでは思っていたのですが、筆を走らせてみると意

外といろいろありました。私たち柏崎青年会議所は唯一無二の独自性を持った団体です。これこらもより一層そういった求められる団体にならなければいけないと思います。どうかこれからも私たちにしかできない手法と愛情のカタチで、不特定多数の皆様のために明るい豊かな社会を築いてもえたらと思います。

最後に、8年間、ブロック野球大会でキャッチャーとしてフルイニング出場させていただいた歴代の監督に感謝申し上げます。年々視力が落ち、キャッチングもバッティングも下手くそになっている中、使っていただいて本当にありがとうございました。おまけに、2016年・2017年と2年連続で3位というお土産までいただきました。

今まで私を育てていただいた先輩諸兄の皆様及び後輩の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。まだ見ぬ後輩の皆様にも今後の活躍を期待しています。

今まで本当にありがとうございました。

長いようで短いような６年間

小　谷　竜　子

私は２０１２年に入会いたしました。当時は青年会議所がどのような団体なのかよく分からず、メンバーの大半が男性で、自分がどのように立ち回ったらよいのかも分からず、本当に困惑していました。メンバーの皆さんは私がそのような状態だったとは知らなかったと思います。

入会した２０１２年は赤堀大先輩を委員長とするメンバーシップアカデミー委員会に所属させていただきました。そんな困惑していた中で、少しずつ青年会議所としての活動にも慣れてきたころに、同じ委員会のメンバーと委員会活動を通じて親しくなることが出来ました。

２０１３年は横田典男先輩を委員長とする指導力開発委員会に所属させていただきました。

事業について議案を熟読し、委員会メンバーで議論することを初めて経験しました。より良いものにしようとメンバーで何度も内容を練り直す作業が当時は本当に大変だと思っていました。同じころ、家族の長期入院が重なり、仕事と青年会議所活動と看病を両立させることが肉体的にも精神的にも限界になり、退会を考えていました。なんとか時間を作って委員会に参加した時に、メンバーの皆さんからあたたかい励ましの言葉をかけてもらい、青年会議所活動を続けていこうという気持ちを保つことが出来ました。あの時のメンバーの皆さんがいなかったら間違いなく退会していたと思います。本当に感謝しております。

２０１４年は吉田一郎先輩を委員長とするふるさと柏崎委員会に所属させていただきました。この年度は生涯の思い出に残る委員会活動でした。柏崎の新しい民謡を作ろうという試みで活動していましたが、紆余曲折、無理難題、山あり谷ありという言葉がぴったりと当てはまるほどの本当に本当に大変な一年でした。室長である山田大介先輩の身を粉にして全力で取り組む姿を見て、委員会メンバーが取り組んで出来上がった「どんがらピッカラ柏崎」。歌詞も振り付けも素晴らしい出来となりました。今でも当時のことを思い出すと目頭が熱くなります。苦楽を共にした当時の委員会メンバーである高橋潤先輩、間島忠司先輩、室長であった山田大介先輩は私の大切な３人の兄です。苦しく辛かったですが、素晴らしい絆が出来たことが本当に良かったと思っています。

この年度は初めて新潟ブロックに出向し、ＡＣＴＩＯＮリーダー育成委員会に所属させていただ

きました。徳育の事業として絵本を作成し、ドラえもんを主人公としての寸劇を行い、しずかちゃんの役を演じました。こういったものだけはなく、真面目な事業もあり、ブロックの事業はＬＯＭの事業とはまた別のものなのだなあと新たな青年会議所活動の一面を見ることが出来ました。

２０１４年は中村洋史君を委員長とする総務広報委員会に所属させていただきました。理事会の議事録を作成するにあたり、理事会の内容を録音したものを聞き、どんな様子で理事会が開催されているかを初めて知ることが出来ました。時間をかけて議案を協議・審議している理事の皆様には恐縮するばかりでした。総会の運営等もあり、一年を通して青年会議所活動の新たな一面を知ることが出来ました。

この年度も引き続き、新潟ブロックに出向し、日本核心委員会に所属させていただきました。

この委員会は憲法に関する事業を行いました。

杉村太蔵氏と大学の教授、弁護士、国会議員、学生とメンバーで共演し、憲法について討論しました。当時は弁護士として現在の米山隆一知事が出演されました。実は学生の出演者が見つからなかったので、私の甥っ子が出演しました。私もメンバーとして出演していたので、甥っ子と共演をさせていただきました。これは一生の思い出に残る出来事でした。当時の郷寛委員長をはじめとする委員会メンバーには本当に感謝しております。

２０１６年は品田剛君を委員長とする総務発信委員会に所属させていただきました。２年連続の総務となり、前年度の経験をもとに活動をさせていただきました。

この年は新潟ブロックに出向し、未来の地域活性化委員会の幹事として活動していたので、なかなか思うようにＬＯＭの委員会活動が難しく、品田委員長にはご迷惑をおかけいたしました。品田委員長がブロックでの活動を快く容認していただけたことを本当に感謝しております。

ブロックの委員会では他ＬＯＭメンバーのレベルが非常に高く、それについていくことで精一杯でした。

本年の２０１７年は伊藤勝史君を委員長とする６０周年記念式典実行委員会に所属させていただきました。６０周年記念式典では栄えある司会をさせていただき身が引き締まる思いでした。大役を任せてくださった伊藤委員長には大変感謝しております。

こうして６年間を振り返ってみると、毎年心に残る出来事がありました。青年会議所に入会しなければ経験出来ないことばかりでした。女性の身での活動は体力的にも時間的にも思うようにならない部分が多々あり、もっと活動に力を入れることが出来たらと後悔することも多々ありましたが、そんな中でも何とか活動を続けることが出来たのは、メンバーの皆様のあたたかい心遣いと、そして何よりも家族の理解があったからこそだと思っております。本当に皆さまには心から感謝しております。

メンバーの皆様、青年会議所在籍中に一つでいいので一生の思い出に残るような活動をしてください。

卒業を迎えたいま、青年会議所に入会して良かったと思っております。

本当にありがとうございました。

皆様へ　～好き勝手に綴ります～〈淳不同〉

杉　田　　淳

田邊　修一　君
口の悪さは天下一品。先輩後輩関係なく、毒を吐いているイメージが強すぎます（笑）しかし、修一さんの背中は大きかった。多分これからも追い越せないと思う。出会いに感謝。

山﨑　健太　君
同業者として、理事長まで受けた健太は、その時点で私を超えています。凄い！！
けども、上には上がまだまだ居ます。一緒にもっともっと上を目指して行こう！！

岡田　和久　君
みんなは知らない。俺と岡ちゃんの家族ぐるみの仲の良い付き合いを（笑）厳しくもあり、可愛さもある岡ちゃん。広島カープ優勝おめでと～。ＢＢＱやろ～ぜ～！！

阿武　逸彦　君
小学二年生で離ればなれになった時に、またここで出会えるとは本当に思わなかったね。色々な思いがあるけど、ここで書くには少なすぎる。また語りましょ。

安野　広明　君
安野君の優しさはとても素晴らしい。純粋だよね。その優しさに磨きをかけると共に、厳しさも磨いてください。ありがとう。

荒川　学　君
次年度は、理事長を経験した人しかわからない様々な気づきがあると思います。思いっきり楽しんで下さい。あと、お顔を拝見する度に、俳優の吉岡秀隆に似てるって思ってた（笑）

青木　健次　君
お目目がクリクリしてて、まつ毛が長く、いつも眠そうに見える健ちゃんを遠くから見ているのが好きでした。俺の癒しでした。

長谷川　太　君
ふーちゃんは中学の時、やばかったんだもんね。その一匹狼がみんなを纏めて、ここまで立派になりました。めでたしめでたし（笑）

上森　茜　君
忙しい中、子どものアレルギーの件で一番に駆けつけて来てくれた。俺が精神的に本当に苦しかった時に動いてくれたあの行動は一生忘れません。ありがとね。

水戸部　智
さとる！！って呼んでるのは俺だけだな。俺はさとるの何を知ってる訳ではないんだけど、勝手に

親近感を抱いています。今後も色々とやらかしてください（笑）

根立　健一　君
今年度、理事を受けて、自分自身の中で様々な気づきがあったと思います。感謝の気持ちを忘れずに精進してください。女性には気をつけて（笑）

吉越　俊一　君
俊ちゃんの前向きな姿勢、行動はサプライズ的なものがあります。何事にも一生懸命な俊ちゃん。たまには一息ついて廻りを見渡して見てください。一度留まる事も大事。

飯田　雄介　君
奥様によろしくお伝え下さいませ。以上。

伊藤　勝史　君
伊藤ちゃんの仕事ぶりには感心した。伊藤ちゃんを敵にまわしたら、面倒臭い事になりそうだから、これからも仲良くしてね（笑）

小野　和也　君
かずやぁ～。本当に頑張ったな。自分のキャパを広げたね。そして大事なものを手に入れたね。それをこれからも大事にしろよ！！

坂本　啓　君
啓ちゃん（UMR）の「鼻ピク」が見れなくなるのが本当に寂しい。トイプーは３万円だよ。スプラも一緒にカンストしよーぜ！！０５２３同盟は永遠に不滅ｄｅａｔｈ。

大塚　拓也　君
明るく賑やかでチャラいイメージがあるけど、実はまじめで繊細なんだよね。何か昔の俺を見てる感じ（笑）けども間違いなく、俺より肝っ玉はでかい！！期待しています。

阿部　隆宏　君
おめさんも長いな～。てかさぁ～いつになったら委員長受けるんだや。はよせぇ～や（笑）一皮も二皮もズルむけになるぞ。

猪狩　拓也　君
新潟ブロックの副委員長お疲れさま。ブロックで経験した事を、今度はＬＯＭの委員長としてどの様に活かしていくのか？楽しみだね。無理はしないでね。

佐藤　拓真　君
お父様にはお世話になっています。あなたに返したかったけど、また今度ね。

能澤　尚寛　君
あなたは柏崎JCでリーダーになれる人だと思います。ＪＣを上手に利用してください。もっと前に

出て良いよ。期待しています。

山田　健太　君
ここで会うとは思わなかったね。卒業まで大変かもしれないけど、委員長を一回受けて欲しいな。受けてみればその意味はわかるから。同業者として応援しています。

品田　修吾　君
色々あったね。でも頑張ってるね。可愛いお尻だったね。修吾君とは、もうちょっと一緒にＪＣ活動をしたかった内の一人です。頑張ってね。

山口　敏宏　君
ぐっちゃん。自分に無理せず、本心を委員長として思いっきりぶつけてください。あなたの芯のあるところを私は知っています。

徳増　大樹　君
マッスンゴレライ！！俺は君の事が好きだ！！髪型変わらんな～！？今後の髪型が気になる！！ロン毛の徳ちゃんが見たい（笑）

佐藤　雅宮　君
あまり関わらなかったけど、その独特の口調を新潟全土に広めて欲しいな。

竹内　一公　君
そろそろ良いんじゃない！？本気出しちゃっても（笑）

伊平　秦将　君
ヤスは可愛いね～。いつ見ても可愛い。大好き。色々と抱えているモノがあるけども、一つ一つクリアして行こう。いつかテッペン取ってね。

川口　泰史　君
苦労してるよね。その苦労は必ずこの先実ります。これからもっと辛い事があると思いますが、あなたなら乗り越えられます。常に前を向いて行こう。

木村　正隆　君
キムちゃん。自分にリーダーシップが無いと言ってたけど、リーダーシップにも色々あるんだよ。まずは自分に自信が持てるように、突き進みなさい！！

山﨑　徹　君
わかってると思うけど、ＪＣを思う存分良い意味で利用してください。徹の夢は必ず実るよ。前を向いて、熱く語った頃の初心を忘れずに頑張ろうぜ。

池田　桂　君
かっちゃん、副委員長ありがとね。最初に出会った頃とは全く違う恰幅の良い体型になりました

が、次世代のリーダーはあなたです。楽しみにしています。

植木　秀和　君
一度も関わった事がないけども、ＪＣ出てる！？今だけだよ。もったいないよ。ＪＣに入会したからには、一つは何か気づきを得て欲しいです。

久我　篤史　君
久我ちゃんストイックだね～。４０歳であのスローイングは凄いよ。またどこかで会ったらよろしくね。

田邊　哲也　君
あまり関わらなかったけど外から見てて、あなたはＪＣ向きな気がする。自分の視野を思う存分広げてください。

結城　誠之　君
これからもずっと代行利用するから可愛がってね～（笑）３分間スピーチ、いわまんジャパンより良かったよ～（笑）

原田　玲奈　君
あの玲奈ちゃんが結婚して、子供が出来て、ママになって、あの頃からは想像も出来なかったな～。ママになって大変だと思うけど、落ち着いたらもう一度理事に挑戦して欲しいな。

赤堀　博一　君
同期入会のボリティー。理事を受けてくれて凄い嬉しいよ。必ず視野が広がるから、大変だと思うけど、思いっきり楽しんでね。ボリティーの今後が楽しみです。

岩間　一博　君
バカ！！アホ！！と普通に言い合えるＪＣ唯一の大バカ野郎だな。カズとはＪＣからの付き合いだけど、これからもよろしくな。このハゲ～～～～っ！！！

杉田　直人　君
あまり関わらなかったけど、同じ杉田としてこれからも柏崎を盛り上げていこう！！

藤巻　慎哉　君
仕事、家族、ビリヤードも良いけど、そろそろ理事を受けてもいいんじゃない！？あなたなら出来るはず。

宮崎　智之　君
外見からは想像出来ない程、あなたはストイックだよね。先見の目もあるし、行動力には頭が下がります。これからもお互い切磋琢磨していきましょう。女性には気をつけて（笑）

神林　仁　君
前に二人で少し話したけど、俺もそうだと思うし、それは考えなければいけない事だと思うよ。正直、田舎町の中小企業のレベルではないわ。

小谷　竜子　君
卒業おめでとう。上越の通いは大変だと思うけど、しっかり保険をかけて、万が一が起きた場合でも保証が出来るようにしておこう（笑）

村山　央　君
良く拝見はしたけども、あんまり関わりがなかったよね。なんでかね！？街で会ったら無視しないでね。

吉田　晃継　君
何事もやれば出来る。やらないといつまで経っても出来ないよ。アッキーは、やれば出来るんだから、まずは逃げないで挑戦してみよう。人生は経験したもん勝ちだよ。

小林　拓也　君
どこに行っても、通用してしまう小林君の器には感心してしまいます。もっともっと色んな事に興味を持って、前進してください。前向くのみ！！

小俣　拓巳　君
いいもん持ってるよね～。そのまま色んな事に興味を持って、自己啓発に役立ててください。期待してるよ。

高橋　宏忠　君
やっと理事だね。６０周年の両委員長の姿を見て引き受けたと言っていましたね。大変だけど、とても充実した１年になるよ。楽しんでね。全国PTAありがとね。

高橋　和宏　君
あんまり関わらなかったけど、柏崎刈羽の様々な業種の方達と様々な経験をするこの団体は、必ずあなたの為になるよ。上手に利用してね。

岸　剛史　君
とうとう副理事だね。仕事と家庭とＪＣのバランスをしっかり保ち、勢いだけではなく、地に足をしっかり付けて突き進んでください。色々とありがとね。

霜田　真紀子　君
結婚おめでとう。最近は全然会えてないけど、気の強く、芯のある真紀子ちゃんなら、また何かの形で柏崎を盛り上げてくれると信じています。期待しています。

田中　有人　君
私が初委員長のときの理事長。最初はふざけるなと思ったけど、色々な経験させてもらって良かっ

たよ。ありがとう。

丸田　洋介　君
理事は１回で良いのか～？洋介ならもっと上に行っても良いんだけどな～？まぁ無理しないで、残りのＪＣライフを楽しんで下さい。

元井　貴男　君
野球とサッカーでしか会ってない。そしていつも怪我してるとこしか見てないぞ～（笑）

森　清和　君
入会して長いのに、年に２回？くらいしか会ってないぞ～。三味線ばっかりしてないで、そろそろ理事受けなさ～い（笑）

前澤　佳奈子　君
今まで苦労した分、これからは自分の事も大切に、思いっきり人生を楽しんで下さい。人生は１度きりなんだからね。

三谷　宗寛　君
なかなか仕事柄、参加が難しいと思いますが、可能な限りで良いので出てみよう。必ず本業に繋がる気づきが得られると思います。

海津　勇太　君
目つきが良いね。ただの社員じゃないね。何か大きなこと成し遂げてしまいそうなオーラがあるよ。期待しています。

松田　真之介　君
良く入会してくれました。真ちゃんの熱い思いがあれば、必ず成功するよ。お互い頑張ろ～。とゆ～か、プライベートの真ちゃんはガラが悪い（笑）

中村　貴広　君
いつも冷めた雰囲気の中村君。いつも何か力が抜けているような中村君。でもいつも顔を合わせると「先輩」と声を掛けてくれる中村君。そんな中村君がめっちゃ好き。頑張れ！！

品田　剛　君
品ちゃんはさ～。めっちゃ腹黒いんだよね～（笑）また意味のないＬＩＮＥするから、既読スルーしないでね。

長澤　博　君
自宅がめっちゃ近いのに、公私共に全く会わない長澤君。これからもなかなか会えないんだろ～な。会った時は声掛けてね。

松野　颯太　君
そ〜ちゃん、結婚おめでとう。全然会ってないけど元気？ある人から聞いたんだけど、めっちゃ足早かったんだってね。そのある人に「手も早いよ」って言っといたよ。じゃ〜ね〜。

以上

一年間を振り返って

長谷川　太　志

今年一年間は、JC最後の年でした。

一時退会し、昨年再入会しそして今年一年。そんな最後の年に、副理事長兼室長に。

今まで入会当初から委員長経験もなく、初理事経験でしたが、そもそも副理事長の役目自体もよくわかっていない状態で、更には担当委員会も聞かずに受けてしまいました。そして後日、担当が伊藤勝史委員長率いる60周年記念式典実行委員会であることを知り、正直なところ俺で大丈夫かと後悔した事もありました。後悔というと少し語弊があるかもしれませんが、私の思う後悔とは受けてしまった事にではなく、これまでのJC活動をもっと積極的に活動していれば良かった。退会などせずに、委員長もやってみれば良かったという事にです。委員長をやってもいないければ委員長の気持ちを理解する事も、フォローする事もなかなか難しいと思っていたから。

で、結果やはり委員長をフォローする事すらできていなかったのが現状でした。伊藤委員長、そしてスタッフ、委員会メンバーの皆さん。室長として何も出来ていなかった事、本当申し訳ない。私自身の努力不足だった事をほんと後悔しています。そんな最後の1年になりました。しかし、担当していた60周年は、委員長初めメンバーの皆さんの力で素晴らしく盛大に終える事ができ、本当良かった。これを書いている時は、委員会では記念誌で大変な最中です。きっとこのつどいの完成時には、記念誌も素晴らしいものが出来上がっているはずです。委員会の皆さん本当お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

また、私を再度入会へお誘い頂いた山崎直前理事長、再入会を受け入れていただいた柏崎JCのメンバーの皆さん、そして最後の年に理事に選んで頂き、そして60周年という大切な式典実行委員会の室長を任せて頂いた田邉理事長！本当ありがとうございました。

ついでに卒業生としてもう一つ。

新入会員の皆さんへ

入会されて最初のうちは、いろいろと疑問に感じる事がたくさんあるかと思います。私も、入った時はそうでした。

疑問は、遠慮なく積極的にまわりのメンバーに質問して下さい。きっと疑問の解消になると思いますし、JCに対してポジティブになれると思います。私が後悔したのは、その点もありました。いろいろ疑問がありましたが、誰にも相談も質問もせずに自分で勝手に解釈していただけでした。しかし、ブロック出向の際ある先輩とJCについての話で朝まで飲んでいた時に、いろいろと自分の思っていた疑問がなんとなくで

すが晴れました。
　それからは、JCに対しての考え方が変わったと思います。なのでぜひどんどん聞いて、メンバーの皆の知識や感覚を共有して頂きたいと思います。そうすれば楽しくなると思いますよ。JCは大変勉強になることでいっぱいでしたし、素晴らしいメンバーが多くとても刺激になりました。きっといい経験を出来るはずです。
　最後に、私は柏崎青年会議所に入り、卒業した事を誇りに思います。これからも柏崎青年会議所は、地域にとって必要な団体であるとともに、メンバー自身が誇りをもって活動出来る団体であって頂きたいと思います。
　今後も柏崎青年会議所の活躍を期待しています。今までお世話になりました。
　ありがとう。

ありがとう柏崎青年会議所

宮　崎　智　之

　長い間お世話になりました。

卒業・感謝

村　山　　央

　まずは、柏崎ＪＣメンバーの皆さんに感謝！本当にありがとうございました。
　私が活動させて頂いたのは２年間という短い期間でした。その２年という間には、多くのメンバーの方に助けられ、楽しい時間を過ごし、成長させて頂いた貴重な期間であったと感じます。
　初めて参加させて頂いたのは２０１６年の新年度総会、緊張しながら会場へ着くと、当時３９歳で同期入会の中では遅い入会だった私に、１０歳近く違う同期の皆さんが、声を掛けてくれたことを思い出し、本当にうれしく思います。
　総会後の祝賀会でメンバーの先輩方から「あっという間に卒業だよ！」と言われ、今、入会した

ばかりなのに・・・。と思ったことが印象に残っています。

そして今を迎え、本当にその通りだな！と感じています。メンバーで入れるのは４０歳まで！！仕事に家庭そしてＪＣ活動。やりたいこと、やらなきゃいけないことが、いっぱいある時期なのです。

時が経つのは本当にあっという間！私が在籍出来たのは短い期間でしたが、ぎおん柏崎まつりで、えちゴンへＩＮするなど、ＪＣメンバーだから出来る貴重な体験をさせて頂きました。その時は、暑いよ～って悲鳴をあげていましたが、考えると実は貴重な体験だったのです。

そして、たった２年の在籍期間で、柏崎青年会議所創立６０周年を現役メンバーとして、また、６０周年記念式典実行委員会の一員として迎えられたことは、幸運だったと思います。式典が近づくにつれ、委員会が集まる日が、週に１日になり、２日になり・・・。忙しくなるにつれ楽しさ、一体感を感じました。

式典に向けて動き始めた当初は式典って？という感じで委員会に参加していました。委員長を始めとする委員会メンバーが式典成功の為、自分の意見を伝え討議している姿、これがＪＣ活動なんだ！と感じながら、自分も少しでも共感できるようになっていきたいとも思っていました。行動が伴っていたかは？ですが・・・。

でも、この式典事業を通し、「ぎおん柏崎まつりのマーチングパレード」とＪＣの歴史、「まちしるべ」がＪＣ事業であったことなど、ＪＣに入ったから知ることが出来き、柏崎ＪＣの歴史・思いを、考えを感じることが出来たと思っています。

入会するまで、「ＪＣ＝飲み会」という印象を持っていました。でも、実際に入会してみて感じたことは、みんな真剣！！例会で真剣にソングを歌い、真剣に活動し、ちょっとだけ？飲む。これが本当の柏崎ＪＣの姿だったのと確信しています。

短い活動期間であったのに、仕事優先との優しい言葉に甘え、あまりＪＣ活動に参加出来なかったのも事実。もっと多くのメンバーと活動し、話しがしたかったなと感じています。話しを出来なかったメンバーもたくさんいますし、寂しさ・悔しさが残ります。

最後になりますが、２年間という本当に短い期間ではありましたが、多くの方との出会い、貴重な期間を過ごさせて頂きました。本当にありがとうございました。

柏崎青年会議所の一員であったことを大変光栄に思い、柏崎青年会議所がこれからも多くの事業に挑戦し、ご活躍されることを願っております。

柏崎青年会議所～目指優秀会員～

結　城　誠　之

2014年後期に入会しもう卒業です。短い間でしたがお世話になりました。

入会当初は何をすればいいのか解らないことばかりで、何も出来なかったような気がします。今でもそうだけど。。。

今年度は卒業年度ってことで出来る限り参加しようと思い参加させていただきました。

入会当初から委員会にはほぼ参加出来ず皆さんに甘えて迷惑ばかりかけたかと思いますが、例会には参加できとても楽しかったです。

そして60周年記念式典・祝賀会。復興10周年ありがとうイベントなど大きな事業にも参加でき、みんなでやり遂げる事の楽しさや達成感なんかも感じる事ができ、えちゴンと相沢まきさんと踊った「どんがらピッカラ！」も貴重な体験でした。

初めはどんな集団かと思いましたが、みんなで力を合わせて何かを作り上げ、達成したり、勉強したり、泣いたり笑ったり、人それぞれの想いがあって、皆さん気持ちが熱い！本当に熱い！こっちまでもらい泣きしたよ(笑)

初めての全国大会も楽しませていただきました。普段1日中お酒を飲む事はありませんが、朝から飲んだ結果・・・1日にして二日酔い。。。これも貴重な体験でした。

きっと普通に仕事して普通に生活をしていれば、出来ないような体験ができる集団ですね。

入会して良かったです。誘ってくださった方々ありがとう！迎え入れてくれたみんなありがとう！

まだまだJC生活が残っている皆さん、参加した方がいいですよ。大変な事がたくさんあるかと思いますが、私みたいに卒業年度だけ参加しても後悔しちゃいます。参加しないで後悔するより参加して後悔した方が絶対に成果はあると思います。

短い間でしたが、メンバーの皆さん、吉越委員長をはじめとする委員会の皆さんありがとうございました。

卒業年度、吉越委員長の元で楽しかったよ！

KASHIWAZAKI KARIWA NUCLEAR POWER STATION
柏崎刈羽原子力発電所
サービスホール
ご来館記念
2015年 4月 25日
エコロー

2010年度(社)

一般社団法人柏崎青年会議所
2017年度 11月例会 卒業式
前へ!

社団法人柏崎青年会議
例会

一般社団法人 柏崎青年会議所創立60周年記念
前へ!～受け継がれてきた熱き想いを胸に～
柏崎JC大還謝祭
前へ!

JCI 一般社団法人 柏崎青年会議所 2017年度 新年総会

一般社団法人 柏崎青年会議所 創立60周年記念祝賀会
前へ！～受け継がれてきた熱き想いを胸に～
柏崎JC大還謝祭

JCI
青年会議所

イイネ!かしわざき

柏崎JC大還謝祭

JCI
KASHIWAZAKI

今、わたしたちにできること～みんなでスタート！環境活動！～
JCI
KASHIWAZAKI

58

監事対談

阿　武　逸　彦　　杉　田　　淳

監事対談

場　所：柏崎青年会議所事務局
日　時：２０１７年１０月１９日（木）
聞き手：水戸部　智事務局長
総務発信委員会　坂本　啓委員長（司会）　木村　正隆副委員長（記録係）

坂本（以下、司）：本日はお忙しい中、阿武監事、杉田監事には監事対談にお越しいただきましてありがとうございます。昨年同様写真をご覧になりながら今年１年を振り返っていただきます。今年で監事が終わってしまうので、時間の許すかぎりお話をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

■こどもの育成未来創造委員会

【４月例会「親学」～親が変われば子どももかわる～】

司：まずは４月例会「親学」～親が変われば子どももかわる～です。
阿武　逸彦監事（以下、阿）：すいません。私は会社の出勤日で例会には行けなかったので、杉田監事にお願いしました。
水戸部　智事務局長（以下、水）：どうでしたか？杉田監事。
杉田　淳監事（以下、杉）：想像していた内容とはちょっと違っていて、結果的に一般の方には良かったし、盛り上がっていましたね。
阿：結構人は入ったのは？
司：結構参加されていました。お子さんのことで悩んでいる方とか、質問も結構出ましたね。
杉：結構出てた、けど物で釣ってたね。
水：教材とかですよね。
杉：あとファンみたいな人も来てたね。言っている内容もドストレートで良かったよね。
阿：あっ！俺この日お客さんとゴルフコンペだ！
司：ゴルフコンペ！！
水：これ載っちゃいますけど大丈夫ですか（笑）？
阿：大丈夫！だってお客さんとだから、立派な仕事だもん！
司：横峯さんですしね（（笑）
杉：あと託児所みたいなのあったよね。すごいよかったねー。
水：飯田委員長の奥さんですよね。
杉：奥さん美人だね。
司：あと僕の保育園時代の先生もいましたよ。
水：へー
杉：もう一人の方ね。この例会の良かったのは、親御世代の方はこの託児所はすごい喜んでた。泣く子は全然いなかったし、理事会から準備段階からすごい資料が出来上がっていたから、予想よりはるかに良かったよね。荒川副理事長も吉越委員長も大変だったかもしれないけれど、今後お子さんのいる親御世代の例会をするなら、参考にしてもらいたいね。
それにしても、ゆうちゃんの奥さん可愛いねー。

司：僕の先生もいますよ。
杉：僕もどっちかと言ったら先生かな（笑）
水：僕は誰でもいけるよ！
杉：本当にいい例会でどちらにもいたかったよね。
阿：懇親会の盛来軒から参加したけど、吉越委員長や委員会メンバーの顔を見て、うまくいったんだな。って思ったよね。
司：盛来軒の２階で懇親会でしたね。あの時コーラのピッチャー２リットル飲みました。
水：俺なんだか忘れたけどすごい機嫌悪かった気がするんだよな。
阿：そんな感じした！
杉；ってかいつも機嫌悪いじゃん（笑）
水：あぁ、まぁそうかも（笑）もぅ忘れちゃった。でも４月例会は良かったですよね。
杉：大成功！！

【６月例会　柏崎の花火体験教室】

司：次は６月例会　柏崎の花火体験教室です。
水：企画は良かったよね。花火を上げる団体ってなかなか無いからね。褒められたよ。うちの社員だけど（笑）
阿：片貝花火の本田さん。当時僕がブロックに出向していた時の運営監事だった。ただこの例会は僕らメンバーがやることが無くて困ったね。メンバーは手伝いたいけど、ただいるだけになっていた。委員会メンバーだけで良かったんじゃないかってなってたね。
杉：水色ポロシャツでブルーシートにまぎれていたね。
司：直前はモンストしていましたしね（笑）
水：直前がモンストしているのはいつもだよ。
阿：写真撮影もちょっともたついちゃったのもあるし、段取りだよね。あと花火を上げるならもっとＰＲしておけばよかったと思った。打ち上げてから人が増えてきたから、ＪＣが花火上げますよ！って言えば青年会議所のＰＲにもなったしね。
司：いっぱい上げてくれましたよね。
阿：こんなに上がると思わなかったから周知しなかったのかもしれないけれど、もっと人は集まったかもね。
司：なかなかここまで近くで打ち上げ花火を見る機会はないですからね。
阿：お金というよりも、人のつながり。っということを今回本田先輩は教えてくれたね。
杉：いいことも悪いこともあったけど、７月２６日の花火大会の前に出来たことで、花火の仕組みが分かって、花火の見かたが変わって、子供たちにとってはとても良い事業になりました。
阿：この事業は来年、褒賞にノミネートしてほしい。
杉：サイコ―だよ！
司：子ども委員会については何かありますか。
水：良くも悪くも、室長、委員長がうまくマッチしていたんじゃないでしょうか。
司：この委員会の室長、委員長、副委員長は次年度皆理事ですね。
水：素晴らしいことだね。
阿：それもあって担当例会が早く終わったのかな。本当に大変だったとは思いますが、郷土愛として、吉越委員長の想いが出ていたんじゃないかと思います。
杉：サイコ―だよ！

■経営マネジメント環境エネルギー

【あなたは何型？リーダーシップセミナー】

司：続きまして５月例会　あなたは何型？リーダーシップセミナーです。

阿：長いよね。委員会名が。

司：今年長いのが多いですね。

水：久々の手作り例会。

阿：講師はいなかったんだよね。

司：そうですね。委員会メンバーが講師というか、進行をしながらでした。

阿：時間短かった。考える時間が短かったから書けなかった。深く狭くって感じだと思ったから、一気にやりすぎたかな。どうだった？

杉：うちら２０代～４０代世代にとっては、何型リーダーシップってとらえているところは良かったと思うし、委員会メンバーも楽しく設えしていて、笑いも入れて良かったし、とても良い例会だったんじゃないですかね。

司：例会終盤の部下への言い方みたいのもありましたよね。

杉：あれ難しかったよね。とらえているところは本当に良かったと思う。

阿：予算の無いなか、久々の手作り例会で、委員会メンバーは勉強したと思う。

水：例会としてはコストパフォーマンスが高かったと思います。経費をほとんど使っていないのですから。

杉：新入会員が多い年でもあったからこのような例会はいいよね。

阿：講師にばっかり頼るんじゃなくて、お金の無い中勉強をしていく、講演会ばっかりだったら商工会議所でいい、ＪＣなんだからね。懇親会の船栄もよかったと思います。

水：私この時期血尿でしたね。お酒飲めず（笑）

杉：そうだったね！

司：ドロッドロなやつ出たって言ってたね。

阿：ストレスだな。懇親会の内容すごいよかったよね。

司：実は懇親会の記憶があまりないです・・・（笑）

水：俺もないや（笑）

司：３分間スピーチで新入会員の前澤さんがすごくいいスピーチをしたのはすごく覚えてます。

阿：かなちゃんだったね。監事講評よりいいスピーチしたよね。

司：岩間さんのぐだぐだスピーチもこの時でしたっけ？

杉：ぐだぐだ野郎ね。

司：担当委員会だから違いますね！８月ですね。

水：その時の新入会員もすごくうまかったよね。

司：海津くんだ！

水：そのおかげで岩間さんのぐずぐず感が際立ったんだな。

杉：監事講評でそこをとらえちゃったんだね。サイコーでした！

司：青木室長の室長総括も面白かったですね。腰に手をあてるやつ（笑）

水：あれはダメでしょ（笑）

阿：テンパってたよね。
杉：青木くんは言葉と言葉の間に「へー」とか「えー」とか入るね。
水：青木さんは・・・今年全体ダメだったね。

【１０月例会　「親子で考えようエネルギーのこと」】

坂：次に１０月例会　「親子で考えようエネルギーのこと」です。
阿：これもまた仕事で出れなかったなぁ。
水：杉田監事いかがでしたか？
杉：大場　恭子先生のことはそこまで存じ上げてはいなかったのですが、すごく勉強なさっているなと感じて、今までのエネルギー関係の例会って原子力発電所の見学とかで終わる感じが多かったけど、今回のは見学ではなく子ども達に電気とはどの様に作られているのか、様々な器具や道具を使って子ども達は楽しかったと思う。３部構成で流れも良かった。
司：学校の時間割のような１時間目、２時間目、ホームルームですよね。
杉：そうそう！内容がすごく良くて。
水：俺出れなかったんだよな。ただ、参加していただいたお母さんから連絡が来て「急に校長先生がしゃべり始めましたよ。」って連絡が来て。
司：理事長ね。
水：そのあと、「校長先生が寝始めました！」って連絡きたよ（笑）
司：良くない報告じゃねーかよ（笑）！
杉：校長先生寝ちゃったんだ。
阿：ってか盛久さんも来てたんだね。
水：それは何参加？
杉：一般参加。
水：子どもセットじゃなくても良かったんだ。
杉：１時間目はセットで、２時間目はサービスホールを見学して、３時間は親と子どもわかれてホームルーム的な感じだった。
司：「教えてきょうこ先生」ってことでいろいろ質問をする時間だった。
杉：恭子先生と飯田委員長の服装がかぶったんだよね。
司：白いパンツに水色ポロシャツでしたね（笑）
水：奇跡のかぶりですね。
杉：でも、この例会で良かったのは今までだと違って、大場　恭子先生っていう専門の現役でがんばってもらっている方から、自分たちの質問に対してメディアがいたら話せないことも話してくれた。そんなリアルな話が聞けてすごいよかった。ただちょっと残念だったのが、一般参加者のお父さん、お母さんたちは物足りなかったんじゃないかなって気がする。

水：それは子ども向けレベルだったということですか？
杉：いや、レベルが高すぎた。特に３時間目はね。参加者を置き去りにしている感じがあったかな。

司：２月に拡大委員会がありましたよね。メンバーはそれに参加しているので話につながりがあったんですが、一般参加者は１０月例会からエネルギーの話を聞いたからですかね。
杉：最初の理事会で求めていたこととは実際違ってきちゃったのかね。子ども達はすごく喜んでいたけどね。
阿：それじゃあ、理事会で言ってください。決算のときにでも。
杉：あそこの委員会でしたら、たぶん引継ぎ事項に書いてきますよ。青木くんあたりは室長謝辞は下手くそだけどまとめるのは上手だから。
阿：その後はまた懇親会からの参加だけど、至福の時間で懇親会をしましたね。新しかった。今までと違った場所もいいよね。飲み放題メニューがいいんだ。
司：スタッフのお姉さんピアスすごかったですね。
阿：すごいパンクだったよね！
坂：どっかの貴族みたいな。
杉：さすが、至福の時間。
水：全然休まれないよ！とりあえず報告議案に期待しましょう。
杉：サイコ―でした！

【ぎおん柏崎まつりたる仁和賀】

司：次ぎおん柏崎まつりたる仁和賀っす。
阿：スタートが雨だったんだよね。でも御嶽山スタートでよかったって言ってたんだよね。場所も移動もよかったし、先輩が来年もいいって言ってくれたしね。今後毎年ここスタートですいいんじゃないですかね。移動して八坂神社いって、奉納してさ。
坂：お二人はカチをしているんですよね。経験者ですものね。
阿：５５周年の時にね。今まで八坂奉納ってのをみんな知らなかったから、５５周年の時に文さんと作り上げた。ちゃんと勉強会行ってね。
水：なんだかんだ祭りは良かったですよね。
阿：天気ももったしね。
杉：一般参加者も来てくれるから求めている人が多いんだよね。
水：ブルボンの方たちも来てましたね。後ろはいいけど、前はどんどん重くなってきたけど。
阿：どっかの国の人もいたよね。マレーシアだっけ？
水：マレーシアじゃなかった気がするな。
阿：とにかく怪我もなく、熱中症もなく。食べ物、飲み物は足りた？
司：結構余りましたね。
水：余る位発注しているんだろうね。
阿：卒業生も全員乗ったんだよね。
水：淳さん乗りましたよね？
杉：あっ、俺卒業生か！じゃあ乗ったな！
司：やっぱ淳さんはうまいですね！絵になります。
杉：でしょー！適当だから（笑）
阿：懇親会は毎年恒例のモアナだね。
水：モアナって毎年何ですか？
阿：毎年モアナだよ。５５周年の時はあそこに１００人入ったな。
杉：サイコ―でした！

杉：雄ちゃんの声が小さかったなー。でもすごい頑張ってた！声もガラガラだったしね。雄ちゃんの奥様によろしく。
司：エネ委員会はどうでした。
阿：５月７月１０月１１月連チャンで忙しかったと思いますよ。青木副理事長、飯田委員長、徳増副委員長と彼らだから出来たのだと思います。
杉：メンバーが良かったよね。みんなすごい盛り上がって出来ていたし、むしろ空くより連続で事業があった方がモチベーションを下げずに出来たんじゃないかと思います。バランスが良かった。何気に大変じゃない感じが出てましたね。このメンバーだからだと思います。ただ、雄ちゃんの奥さんによろしくお伝えください（笑）

■６０周年記念式典実行委員会

【２月例会　クローズアップ　ＫＡＳＩＷＡＺＡＫＩ　ＪＣ】

司：次は２月例会　クローズアップ　ＫＡＳＩＷＡＺＡＫＩ　ＪＣです。
阿：村長と会頭がきましたね。何でこれをエネホでやらなかったんだろうと思ったね。
杉：西川会頭もいましたしね。
阿：会場の位置も関係したのかね。ちょっとエネホだと遠くなるし。
司：ＯＢということで場所に懐かしさもあったかもしれないですしね。
阿：ＪＣの歴史を振り返ったんだよね？
杉：伊藤委員長が進行してセッションしてたよね。やっぱ村長は上手だね。みんなを巻き込むし、過去の栄光も話しながら現役メンバーにエールを送る、聞いてて面白かった。ミスターＪＣだね。この２人はね。インパクトがあった。例会で先輩を呼ぶっていうのはなかったから新鮮。
阿：懇親会でもお二人といろいろな話ができたしね。でも周年の話はしてなかったね。
杉：周年の話ではなかったね。
阿：そう考えると２月例会って何だった？
杉：６０周年記念をするために過去を学ぶ、その思いを継承していきましょうてこと。
水：周年の勉強をしたいってわけではないですよ。
阿：そうだったの！？
水：しっかり柏崎ＪＣのことを知らないといけない。じゃないとしっかり周年なんて迎えられませんからね。
阿：その段階だったってことね。
水：しっかり理にかなっているんじゃないでしょうか。
杉：こういうＬＯＭ例会を増やしてほしいと思うな。公開ばっかだもんね。
阿：一般社団法人なんだからね。公益性はいらないよ。ＬＯＭ例会やって団結力固めた方がいいと思う。
杉：公開例会が当たり前になってきているからね。
阿：あと８月例会は準備不足だった気がするかな。メンバーみんながちゃんと理解できていなかったし、だから質疑応答の時なかなか意見が出なかった。でも結果巻き返してくれたけどね。
杉：資料自体は莫大なものがあったけどね。よくあそこまで作ったよ。サイコ―でした！

■６０周年記念事業実行委員会

【７月例会　６０周年記念事業　ありがとうの日２０１７～描いた夢を未来へとつなげる灯り～】

司：続きまして７月例会　６０周年記念事業　ありがとうの日ですね。

阿：これは１０年目の節目ってことでいいんじゃないの！
水：よくがんばった！ですね。
阿：これは大変だったね。台風が来てたんだもんね。１日拘束されたけど、天気ももってくれたし。これがＴＨＥ　ＪＣだなって思った。みんなで汗を流して協力して力を合わせることはＪＣでしかできないこと！これは歴代の先輩方も言ってた。あとはＬＥＤではなくて、火で良かったね。
司：本当にきれいでしたね。一般的の方もたくさん来ていただきました。
杉：何かの講演会の帰りとかね。
阿：自衛隊のコンサートね。自分が入って新入会員の時もキャンドルイベントをしたんだけど、その次の２年目、３年目はＬＥＤだったんだ。場所は市民プラザね。４年目はしなくて、５年目はまかせっきりだっな。当時の巧理事長はご立腹でしたけど。
杉：準備段階からてんやわんやだよね。小野君は訳が分からなかったと思う。一人では出来ない、みんなで力を合わせてやるんだ！ってことを知ったよね。彼自身すごい勉強になっただろうし、彼だからみんなもついていったんだと思う。
阿：まさかの伊平板金の雨除けが、風よけになるっていう。
司：あれがあったから良かったですよね！
阿：そう！あれがあったから、結果良くなった。
杉：あと俺たちはわからなかったけど、片付けが大変だったんだってね。ロウが。
司：当日も大変でしたが、今もまだ、ビン洗いをしているんですよ。
杉：そうなの！？大変だったね。それにしてもこの事業は良かったですよ。俺も勉強になりました。
阿：風がすごくて消える消える。着火マン係りだったもん。
司：すぐ消えちゃいましたね。
阿：雨強かったらどうなってたんだろうね。
杉：こういったイベントには天気はつきものですね。
阿：夜になってだんだんみんなのテンションが上がってきたよね。
司：暗くなってわかる景色がいいですね。でもこの時ちょっと雨が降ってきましたね。
阿：そうだね。櫻井市長が話しているとき降ってきちゃったね
杉：これだけ写真撮っていれば電池無くなるわー。
阿：そうだ！電池なくなって撮れなかったやつは貰ったの？
司：全体写真貰ったんですが、すごいボケていまして・・・
水；使い物にならなかったやつね（笑）
阿：あー、やっちまったな！
司：全体写真撮る前に練習で撮ったやつが最後でしたね。その後から全く撮れなくなりました（笑）
阿：そうかー。これは褒賞にノミネートされるやつだからね。これは取れると思うよ。なんでかって、前回取っているから。
司：前回のと同じでノミネートした事があってもですか？
杉：けれど言い方が悪くなってしまうかもだけど、あれから１０年たっていろんなところで震災、水害起きているし、忘れてはいけないと思うけど、次を見るためこれをノミネートしないで、花火の方がいいと思う。全国に出すなら柏崎の花火！柏崎の未来のために。
でも柏崎中の方たちはすごい喜んでくれたからね。

水：本当に素晴らしい事業でした。
杉：サイコーでした！

【６０周年記念式典】

司：今年度メインイベントでした、６０周年記念式典・祝賀会のまずは、式典をお願いします。
阿：今年度監事でもありましたので、来賓の方の誘導ですとかは、しっかりやらせていただいたし、来賓の方もその通りにしていただけたので良かったです。映像もしっかり出来てたし、最後語りべがあったけど、あれは自己満足だな（笑）あれは文字でもよかった。あそこに時間かけるよりも、もっと資料や設営をしっかりしなきゃね。あえて言わせてもらうけれど、品田先輩が「君になっていたり。英介先輩がなかったり。やるべきことをちゃんとやらないといけないことを後輩たちに伝えたいな。だからＯＢからのクレームもあったよね。それ以外に関しては全部パーフェクト！
杉：式典はある程度やることが決まってはいるけど、資料の準備が大変なだけ。実は自分もＪＣ暦が長いようで周年をまともに経験させていただいたのも６０周年が初めてで、隅から隅まで全部見れた訳ではないけれど、ＬＯＭメンバーはやるべきことをしっかりこなしていたってのは感じたよね。当日映像も見れなかったメンバーもいたはずです。それでも文句を誰一人出ずに仲間の為に、一つになってやり遂げたことは大きいのかなって思いました。これかも５年おきに周年がありますが、引き継いでいただきたいと思います。
阿：これ今感じたんだけど、歴代理事長の紹介映像の背景が全部同じなんだね。ちょっと変えてほしかったな。
杉：今見てるからだよ。その場でそう思わなければそれでいいさ。成功だよ。やっぱ柏崎の海がバックじゃなきゃダメだよ。
阿：巧さん急にこれなくなったしね。急遽吉原さん代表挨拶大変だったよね。
水：いや、失礼な言い方かもですが、すごい上手でしたよ。前からお願いしていたかのようにお話しいただきましたよ。さすがでした。
司：祝賀会の写真撮影行ってて見れなかった。
杉：そうやって１人１人が動いてくれてたから成功したんだよ。まぁ荒川ちゃんはちょっとしくじったんだよね。
司：理事ＬＩＮＥが荒れてましたね（笑）
阿：「胸に」を忘れんなよ！来年もな！
杉：それで来年度胸に手を当ててるの？
水：そうです！あれは「胸に」を言い忘れたから、忘れるなよ！って意味でそうしたんだよ。
阿：そうなんだよ。ちゃんとストーリーがあるんだよ。
司：ただの失敗談じゃないですか！
杉：自分の失敗をみんなにさせているってことか。お前だぞ（笑）！サイコーでした！

【６０記念祝賀会】

水：祝賀会はいかがだったでしょうか。ただ本当に素晴らしかった！
阿：本当に素晴らしかったね！ただちょっと申し訳なかったのが、来賓以外は立っているのがね。
水：でもどこの周年もメンバーは立ってました。
阿：あとテーブルが長すぎて行き来するのが大変だったね。丸テーブルの方が良かったのかね。
水：間に通路があった方が良かったですかね。ただスペース的に入らなかったんでしょうね。

阿：コミュニケーションがなかなか取れなかったかもしれないね。目の前に挨拶とかしたい人がいたとしても、テーブル越しになっちゃうからね。でもいろいろあってのこの設営だったのかもしれないね。設えなんかは最高だったからね！えんま市みたいで、コンパニオンも浴衣で、先輩方も喜んでましたよ。

杉：本当に想像以上だったね！理事長のお面も人気だったしね（笑）

司：すぐに無くなっていましたよね。岡田専務のお子さんが付けてましたね（笑）

杉：ＬＩＮＥでね！踏み絵にしてないか心配だね（笑）

司：全然食べれませんでしたね（泣）

水：終わってから鯛茶づけ食べたりしたね。設営側だから仕方ないけどね。

阿：タイの寿司食べたかったんだよなぁ。

司：型抜きも人気でした。

杉：型抜きもあったんだ。本当に良い設えだね。

阿：相沢まきさんのもすごい盛り上がってましたね。

杉：俺全然覚えていない・・・

阿：最後小野君、泣いてたね。淳君は伊藤君にチューしてる（（笑）

杉：ホントだ。俺全然覚えてない・・・

司：お二人も監事講評で泣いてコントみたいなことしてましたね。

阿：全体写真もすごいいいね～。良かったな～。

杉：サイコーでした！

阿：５５周年の外バージョンもあるけど、内バージョンが出来たから６５周年は砂浜じゃないか？

杉：空じゃない？

司：今のメンバーで６５周年まで残っているメンバーは少ないですよね。

阿：そうなったらまちからでいいよ！そんで拡大しよう！

水：では、式典委員会さんについてどうでしたか？

阿：大変だったとは思うけど、俺ら監事からすると、もう少し相談しても良かったんじゃないかな。自分で抱えすぎてたから、もっと人に振って共有した方が良かったかなって。委員会でやりすぎ感があったな。小野君の方は逆にみんなを抱え込んでやっている感があったんで、だからみんな彼には賛同した。人間カッコつけると生意気だなって思うし、逆にいじめたくなっちゃうんだよね。逆に出来ません、分かりませんってお願いされた方が人は動くからね。会社も同じ。上になればなるほど頭下げれば下はみんなやってくれる。ということを、伝えたかった。

杉：伊藤君は昨年度事務局長しているだけあって資料の完成度はすごいなと思った。ただ一人でやっている感が理事会でも思った。けれど準備例会などから自分がパンクしているのが分かって、竹内君や雅宮や長谷川副理事長も含め皆でカバーし合ったそうですね。式典が終わったあと、伊藤委員長は涙を流しましたけれど、「委員会メンバーには感謝しかない」とあの冷酷非道のクールな伊藤君が涙を流しながら言うというのは彼自身成長につながったのかなと思いました。たぶん今まで一人で出来ていたんでしょうね。ですが今回で仲間に頼るということを

知ったでしょうね。
実行委員会の小野君はＪＣ３年目。初理事で、今年度委員長がしたいって気持ちで受けたんだと思います。そしたら周年委員長になった。周年自体の重みを分かっていなければ。祝賀会も新年祝賀会レベルでしか考えていなかったと思う。全然わからない中、周りがしっかりサポートして、最終的にはうまくまとまりました。小野君は委員長の中でも１番成長したんじゃないかな。今まで経験したことのないことをしたからね。彼の仕事柄じゃない事をやって、この青年会議所で学べたので良かったと思います。上森副理事長もいろいろありましたが最後しっかりやり切って、二人の副委員長も楽しいメンバーですしね。結果が全てという言葉がありますが、まさに結果が全てだった気がします。小野委員長は今年で卒業ですが、この二人の副委員長、副理事長が引き継いで６５周年に何かしら残していただけたらと思います。サイコ―でした！

■会員拡大コミュニケーション委員会

【新年祝賀会】

阿：最後の岬ひとひら！
水：価値がありますね！もう出来ませんからね。
司：来年度からどこで行うんですかね。
阿：シャンカーラとかかね？まちからや市民プラザでもいいけど料理とか頼まなきゃいけなくなるからね。
水：式典風の設えが出来るかどうかですね。
司：でももう決めていないとすぐに時期がきますからね。
水：ある程度決めていると思うよ。
阿：シャンカーラで検討中って言ってたよ。最近は先輩たちと話す機会が多いし、おもてなしの時間が多くなっているからね。そっちの方がいいのかもね。
杉：サイコ―でした！

【通常総会懇親会】

阿：いしとだね。山田君が良かったね。スピーカーやらいろいろ持って来ていて、クラブみたいだった。
水：雰囲気はすごかったですね。
杉：レゲエだよね。
司：曲は全部作ってもらったんですかね？
杉：荒川ちゃんの歌かっこよかったね！
水：プロだから。すごく面白かったね。
司：ＣＤもありましたね。
杉：山田くんがそうゆうイベントとかやっているんだろうね。あれはよかったね。うらやましかった。サイコーでした！
司：会コミさんに一言。
阿：こんなにたくさん人を入れてくれて、安野副理事長、根立委員長、大変頑張ったと思いました。退会者もいたり大変残念でした

が、彼らも頑張りました！

杉：年始と年末を担当することで１年中方荷が下りないと思いますが、スタートと締めをしっかりしないと締まらないからね。これから１２月例会もありますけど、頑張ってほしいと思います。またいろいろあった年ではありましたが、乗り越えてきてますので、しっかりサポートしてもらって。最後まで突き進んでいただきたいと思います。サイコ―でした！

■総務発信委員会

【新年総会】

司：続きまして我ら総務発信委員会でございます。よろしくお願いします。

杉：俺覚えてないや・・・

司：監事監査？でしたっけ、それを淳さんがしましたよ。

杉：あれ？俺だっけ？

阿：じゃぁ来年は誰だ？

司：阿武さんですね。

杉：よかったね。

阿：いやー面倒くさい（笑）

杉：ちょちょちょーって言うだけだよ。

阿：新年総会は時間が早いんで、集まりが悪いよね。途中で来るのも仕方ないけど、やっぱ時間だよね。

司：今年は雪もすごかったんで。交通も良くなかったですね。

阿：誤字脱字で指摘あったっけ。

水：いやー、ないと思います。

杉：啓ちゃんのデビュー戦でね。サイコ―の新年総会だったよ。足とか震えないでしょ。

司：ガクガク震えてましたよ！あと小野委員長も震えてましたよ（笑）可愛かったです（笑）

杉：和也も緊張しいだからね。それにしても智も啓ちゃんもいいコンビだからね。仲いい二人がコンビ組んでいるから委員会もしっかりまとまっていてさ。これから年末つどいとかいろいろあって大変だろうけどがんばってください！サイコーでした！

【通常総会】

阿：淡々と、何事もなく。

水：淡々と行うのが我々の仕事だからね。

杉：前回もステージ上はこんな感じだった？

司：前年度と同じです。

杉：なんか会場のせいなのか少なく見えるね。

水：もっと狭い会場でやればいいんですかね。

杉：そのうち事務局で例会する時が来るかもね（笑）

阿：なんか下手こいたよね？

司：たぶん承認事項の時に立って一礼をしなかったことですかね。

水：あれは、ミスじゃなくてその場でやらないことになったんだよ。いちいち立つのは無意味だから次からはやめましょうって、だからミスじゃない。

司：じゃぁ引継事項に書かなきゃね。

阿：あれちょっと変えた方がいいよ。おかしいもんね。「承認しました。」でいきなり立ち上がる

とかさ、拍手で承認されてんだから。
司：じゃぁ良かったんだね。
水：一番最後に一礼するんだから。
杉：それがかっこいいよね。
水：だから良い修正をしたんだよ。
司：俺一人でテンパってたよ（笑）
杉：新生柏崎だね。サイコーでした！

【全国大会】
水：では全国大会いきますか。
阿：あえて言わせてくれ！ＬＯＭナイトの場所はダメだわ。刺身もたぶん冷凍だし、それに理事長食べれないじゃん。７，０００円も高いってみんな言ってた。
水：事前に味を調べろってのも無理ですけどね。
杉：現地で調べるのも大変だしね。
阿：まぁやむを得ないんだけどね。なんで埼玉なのに上野になったの？
司：交通のことを考えて、新幹線が通っている駅で東京って考えたら、上野になりました。
阿：帰りやすさってことか。
司：そうですね。
杉：新橋でもいいと思ったけどね。
阿：でも帰りなんかどうだってなるから、いかに埼玉から終わって行くか、早く飲みたいじゃん。埼玉から何線で行ったの？
司：宇都宮線？
阿：たとえば山手だったら池袋とか新宿とか、そっちの方にしてたらもっと早く始められたのかなってさ。店もいろんなのがチョイスができたのかと思うし。それで帰りなんかどうにかなるし、来年はそういうこと考えなきゃね。
杉：来年どこだっけ？
阿：宮崎！再来年が富山で、次札幌。その次って決まったんだっけ？
水：わからないです。
阿：今回決まったのが札幌か。
杉：じゃぁ今年の反省をいかして来年宮崎は事前に調査してもらって、現地行ってさ。
水：やば（笑）！
司：宮崎まで視察ですか（笑）
阿：店よりも柏崎でないものをそこで食べる。いっちゃ今回のは船栄レベルじゃん。
杉：阿武君、来年卒業だからなおさら言ってるね（笑）
司：でも来年全国大会三役担当らしいですよ。
水：そうだよ。
阿：だから俺高橋君に言ったら、三役でやることになりました。って。でも俺言ったの、今のうちにホテルを１年前から抑えていいし、食べ物も宮崎県って言ったら宮崎牛って。
杉：ホテルって１年前から予約取れるの？
阿：取れるよ。花火大会だって１年前から雷音取られてんじゃん。ただ、新幹線や飛行機は３か月前だね。
杉：いやでも、全国大会よかったよ。頑張ったよ。

司：卒業生待たせてしまってすいません。
杉：それもありでしょ。なかなかうまくいかないよ。県外行ってんだから。
阿：でも日帰りも楽しかったよ。
杉：そっか。日帰りか。
阿：かなちゃんと安野には運転させて。
杉：総務もまたいいメンバー揃っているね。
水：では総務のまとめを。
阿：周年の年でいろいろ大変だったと思いますが、元々二人は委員長、副委員長コンビなんで、すんなりと出来たんじゃないでしょうか。お疲れ様でした。
杉：総務メンバーを改めて見たけど、上に智がいて、啓ちゃんが初委員長で、副委員長がキムで、次世代のメンバーだなって思った。今更だけどすごくいいメンバーが揃っていて、啓ちゃんもしっかりしてて、智とも仲いいし、二人は７０周年までいるんだよね。キムは６５周年卒業だね。これからの次世代を二人が引っ張って行って下さい。最高の委員会でした！お疲れ様でした。

■矢沢さんへ

阿：体調が優れないときもあり大変でしたけど。たまに事務局行って、滞納していたお金を払ったりですとか、エームニシヤマのシブスト買ってたまに来ていました。来年は役職なくなるのでなかなか来る機会が無くなりますが、たまに遊びにきたいと思います。あとどこかのタイミングで清掃活動をしなきゃだけど、次年度になるかね。矢沢さん、来年も適当でいいからがんばってね！
杉：矢沢さんには本当に理事になった時からお世話になって、１５年前の矢沢さんも知っているから、年を取ることに綺麗になったなーって、柏崎で№１じゃないかと思います。っと言わないと後でいろいろありますから（笑）サイコ―でした！
司：２人とも去年と同じこと言ってますよ（笑）

■水戸部事務局長へ

阿：敵を作るな！毒を吐くのは愛情をもって毒を吐きなさい！信用している人はいいけど、あんま仲良くない人に毒吐くと嫌われるから。そこだけちゃんとすれば大丈夫だから。
杉：事務局長としてではなく、人生のね（笑）
阿：事務局長としても頑張ったと思いますよ！大変だったと思いますが、お金の件とか、調整ばかりで。周年だしね。でもすごい勉強になったと思います。お疲れ様でした。
杉：歴代で一番若い事務局長なんじゃないかな。３０歳で事務局長ってありえないよ、早い。でも智だから出来るんだろうけど、頑張ってもらったなと思います。まだこれから決算っていう大事な事が残っているけど智なら何とかやってくれるんじゃないかって思う。言うことも言うし、抑えているところも抑えているし、自分の初理事の時に一緒に委員長やっていたから、そのころと比べて、毒吐くイメージが強いけど昔よりは周りを見て判断しているってすごく感じています。けれどそれが智の色だからこのまま突き進んでほしいなって私は思う！　大変お疲れ様でした！

■岡田専務理事へ

阿：岡田君は隙がないね。逆に隙があって緩くなった方が解けこみやすいと思う。理事長をするのであれば特にそうした方がいい。怖がられて気を遣わせるより、通常総会の懇親会の時のようなにべろべろになった感じの方が楽しいし人がついてきやすい。青年会議所は会社のようなことをやっているけど、少し遊び心も必要。でも真面目な部分は真面目に、「この人面白いじゃん！」って方がいいかな。文さんに教わったんだけど「馬鹿になれ！馬鹿にならないと人はついてこないぞ！」ってそれが岡田君へかな。

杉：つどいにも書いたけど岡田専務とは家族ぐるみで仲が良い飲み友達なの、知らなかったでしょ。みんなの前ではそんな風に見せなかった。彼の青年会議所の顔とプライベートの顔を知っているけど、彼の性格的にだけど準備をしっかりする！皆に説明するときも、自分でも知らなかったこととか事前に調べてしっかり理解したうえで皆に伝えている。だからまとめる管理能力はすばらしいものがある。

阿：最強専務だね。

杉：社長の右腕としては最高すぎるよね。だけど彼か彼なりに砕けたところもあって、それを今回は「専務」って立場で見せなかったんだと思う。また次年度は副理事長をするけど、これからはいろいろな彼を見れると思う、今年は田邉理事長と水戸部事務局長の間に入って先行に動いてくれた。私は理事経験が豊富ではないけど最高の専務だったと思います。だって去年の準備段階からすごかったでしょ。ここまでする専務いないよ。次年度専務の安野君には継承してほしいよね。でも柏崎青年会議所は少しやりすぎな所もあるから、中小企業のレベルまで落としてもいいとも思うけどね。それでも彼はこなしてしまった。そもそもの応力だよね。でもストレスもたくさんあったと思う。それでも最後は三役肩くんで終わりたいね。サイコーでした！

■田邉理事長へ

阿：修一さんとは今年一番飲んだし、一番電話したね。彼女の次にね。修一さんは２０年のＪＣ暦を持っている。何で今回修一さんといろいろやったかというと、ご家族に不幸があったり仕事に専念とかで、スリープ状態になっちゃって、最初は５５周年の理事長をやる予定だったんだけど、いろいろあってできなかった。修一さんはもうやらないと思ったけど、どこかで火がついたんだろうね、矢島さんと約束していたし。６０周年の理事長をしてようやく恩返しができたってこの間言ってました。本当に良かったと思います。ただ修一さんは毒を吐く！酔っぱらっていると特に！ハラハラするもん（笑）でも今年は大変だったと思います。次年度は直前の乾杯の挨拶だけでいいんじゃない？ゆっくり休んでください。お疲れ様でした。

杉：修一さんとは年が近いのもあって。修一さんの最初のイメージは２７歳の時に目上の人に毒を吐いていた。しかもブロックの委員長もしていて。この人なんなんだろうって思っていたら、そのうちいなくなって。理由はあったんだろうけどね。だからただの毒吐き野郎というイメージで（笑）自分も出戻りで戻ってきた時は修一さんは室長だったんだけど、なかなか出てこれない。でも最後にはこうやって６０周年の理事長をやっていて、やっぱこの人出来る人なんだなって思った。毒吐き野郎だっけど！今時点ではこの人の背中は追い越せないのかなって思うくらいオーラを感じる人ですね。なんだかんだ任せれば出来る人なんだよ。すごいと思いました。だから来年は家族と過ごして、だいぶ太ったから痩せて健康的な身体で卒業してください！大変お疲れ様でした。サイコ―でした！

■阿武監事から杉田監事へ

阿：淳君とは２年間やってきて、話がうまくなったか分からないけど、筆頭は淳君のがいいんじゃないかってなったけど、「あんちゃんがやりな。」って言ってくれて、２年間筆頭させてもらいました。俺の方は結構苦言を言うような真面目な話で、逆に淳君は崩すような笑いを取る話で、僕はすごいく助かりました。同級生で同じ年代だし。先に卒業していなくなるのは寂しいな。何でＪＣって１月からなのかなってさ。

水：多分元々ＪＣは海外でできたから、日本スタイルじゃないんでしょうね。すべて統一するためにですかね。

杉：じゃぁしょうがないさ。あんちゃん。

阿：そっかー。４月からでいいのになー。でも淳君で良かったよ！じゃないと俺の相方の監事は務まらないからね。本当にお疲れ様でした。

■杉田監事から阿武監事へ

杉：阿武監事に筆頭をさせたのは、やっぱ５５周年を経験しているし、今年は６０周年だし、あんたじゃなきゃダメだ！ってなったの。自分も出戻りで、２年目で委員長になって、その次に監事やっているので、５５周年も知らない、５年もＪＣにいない、今のＪＣのやり方に戸惑っている部分があって自分に自信がなかった。だから阿武監事に全てを任したんです。阿武監事が言っていないことを言おうって思ってんだけど、言えなかった。阿武監事がしゃべり終わるまで何も考えてないし、考えないまま監事講評したからね。だから自分は受けの方に回ってしまったのもあるんですが、ＪＣを知っていないと監事は務まらないなって２年間やって思いました。阿武監事もさっき言ってましたが、自分は阿武監事がいたから自分を惹きだせた。本当にこの２年間助けていただいてありがとうございました。私は最後の１年を理事会メンバーとして過ごさせていただきましたが、阿武監事は来年卒業生としてフロアメンバーで過ごされます。少し寂しさもあると思いますが、私にはそれがわかりません。あと今年苦言ばかり言っているから誰も構ってくれないと思うんですね。だからここにいる３人だけでもいいんで構ってやってください。うちの阿武をよろしくお願いします！本当にお疲れ様でした！サイコーでした！

お二人ともありがとうございました。以上で監事対談を終了します。お疲れ様でした。

今年の記録

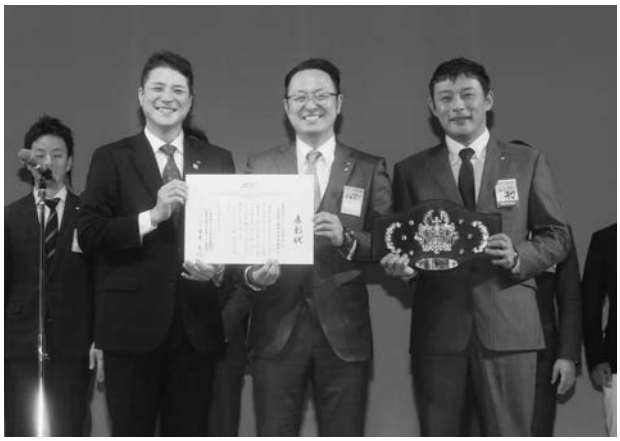
2017年度　年間事業報告

1月17日	新年総会・新年祝賀会	岬ひとひら
1月19日 ～22日	（公社）日本青年会議所　京都会議	京都府京都市
1月28日	第１回新潟ブロックコンファレンス	新潟市
2月 3日	職業講話	柏崎第二中学校
2月 6日	２月例会	柏崎商工会議所
2月21日	職業講話	柏崎第三中学校
3月 8日	職業講話	西山中学校
3月23日	Ｆｏｒｕｍ２１　３月合同例会	長岡市
4月 1日	新潟ブロック協議会　野球・ソフトボール大会	新潟市
4月22日	４月例会	柏崎エネルギーホール
4月29日	燕三条ＪＣ　２０周年記念式典・祝賀会	燕市
5月19日	５月例会	柏崎商工会議所
5月21日	新潟ブロック協議会　ゴルフ大会	妙高市
5月25日	職業講話	柏崎東中学校
6月 4日	新潟ブロック協議会　サッカー大会	上越市
6月10日	６月例会	柏崎市武道館・中央海岸
6月24日	いわふねＪＣ　５０周年記念式典・祝賀会	村上市
7月 2日	新潟ブロック協議会　バスケットボール大会	長岡市
7月 7日	職業講話	西山中学校
7月 8日	北陸信越地区　地区フォーラム	石川県七尾市
7月13日	職業講話	柏崎第五中学校
7月15日	新津ＪＣ ６０周年記念式典・祝賀会	新潟市
7月16日	７月例会	柏崎市文化会館アルフォーレ
7月22日 ～23日	（公社）日本青年会議所　サマーコンファレンス	東京都
7月25日	ぎおん柏崎まつり　たる仁和賀パレード	本町通り　他
8月 3日	８月例会	柏崎市民活動センターまちから
8月19日	柏崎青年会議所６０周年記念式典・祝賀会	柏崎市文化会館アルフォーレ ・市民プラザ
9月 1日	通常総会・懇親会	柏崎エネルギーホール・いしと

９月10日	ブロック大会	新発田市
９月18日	糸魚川ＪＣ　５０周年記念式典・祝賀会	糸魚川市
９月28日 ～10月１日	（公社）日本青年会議所　全国大会	埼玉県大宮
10月14日	１０月例会	東京電力ホールディングス㈱ 柏崎刈羽原子力発電所 サービスホール・ビジターハウス
10月28日	第２回新潟ブロックコンファレンス	燕市
10月29日	十日町ＪＣ　６０周年記念式典・祝賀会	十日町市
11月10日	１１事業　福島第一原子力発電所視察	福島県富岡町
11月14日	シニアクラブ交流会	割烹三井田
11月17日	１１月例会　卒業式	柏崎市民活動センターまちから
11月21日	職業講話	柏崎総合高等学校
12月 ８日	１２月例会　忘年クリスマスパーティー	柏崎市民活動センターまちから

公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会　会員拡大褒賞受賞

● ３１名以上６０名以下の部 ●



JCI Japan

表彰状

純増率部門三一～六〇名の部　第一位
一般社団法人柏崎青年会議所　殿

貴青年会議所は会員拡大において多くの同士を迎えました　これは未来に希望溢れ　和の心ある誰もが夢を描ける新潟の実現に向けて取り組まれてきた努力の賜であり　その熱意と行動は大いに称賛に値します
よってここにその功績を称え表彰致します

二〇一七年十月二十八日

公益社団法人日本青年会議所
北陸信越地区　新潟ブロック協議会
会長　石黒　良行

● 個人拡大部門　会員拡大コミュニケーション委員長　根立健一君 ●

JCI Japan

表彰状

個人拡大部門　第一位
一般社団法人柏崎青年会議所
根立　健一君

貴方は会員拡大に尽力され十六名の同士を迎える実績を収められました
積極的に会員拡大に取り組まれた貴方の熱意と行動は大いに称賛に値します
よってここにその功績を称え表彰致します

二〇一七年十月二十八日

公益社団法人日本青年会議所
北陸信越地区　新潟ブロック協議会
会長　石黒　良行

公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区新潟ブロック協議会　優秀会員表彰

● 夢を描けるひとづくり委員会出向　岸　剛史君 ●

JCI Japan

表彰状

公益社団法人日本青年会議所
北陸信越地区　新潟ブロック協議会
夢を描けるひとづくり委員会
一般社団法人　柏崎青年会議所
岸　剛史　殿

あなたは二〇一七年度新潟ブロック協議会夢を描けるひとづくり委員会において　日頃のJC運動で培った英知と勇気と情熱　そして和の心をもって率先して行動し　誰もが夢を描ける新潟の実現に向けた　委員会の運営に多大なる貢献をされました
ここにその功績を称え　優良会員として表彰いたします

二〇一七年十月二十八日

公益社団法人日本青年会議所
北陸信越地区　新潟ブロック協議会
夢を描けるひとづくり委員会
委員長　青柳　勝人

第2回新潟ブロックコンファレンス（2017年10月28日 燕市産業文化会館）にて

2017年度　会員名簿

	氏　名	事　業　所	住　所	電話番号	生年月日			入会年
1	青木　健次	㈲大日商会	新潟県柏崎市曽地新田245-3	0257-28-2840	1979	12	18	2010
2	赤堀　博一	柏崎信用金庫　半田支店	新潟県柏崎市半田2-6-17	0257-24-8211	1980	2	28	2014
3	阿部　隆宏	㈲アルファ技研	新潟県柏崎市茨目3-3-24	0257-24-1361	1982	7	28	2008
4	荒川　学	㈲荒川製材所	新潟県柏崎市西山町新保1289-1	0257-48-2639	1979	8	6	2010
5	阿武　逸彦	三穂エンジニアリング㈱	新潟県柏崎市松波3-3-15	0257-21-0500	1978	1	5	2008
6	飯田　雄介	山田工業㈱	新潟県柏崎市藤元町24-30	0257-23-0102	1979	11	13	2012
7	猪狩　拓也	㈱リクサス	新潟県柏崎市荒浜4-4-4	0257-41-5496	1987	5	5	2016
8	池田　桂	㈱池忠造園	新潟県柏崎市宝町3-16	0257-22-6532	1980	11	6	2005
9	伊藤　勝史	伊藤司法書士事務所	新潟県柏崎市鏡町8-4	0257-22-2063	1978	4	8	2014
10	伊平　泰将	㈱伊平板金工業所	新潟県柏崎市北条4041-1	0257-25-3120	1984	9	26	2015
11	岩間　一博	ウーノ運送㈱	新潟県柏崎市花田1336-3	0257-20-5115	1977	12	15	2013
12	植木　秀和	ウエキハウス㈱	新潟県柏崎市安田田尻工業団地7560-2	0257-21-4521	1982	7	4	2009
13	上森　茜	㈱宮崎プラント建設	新潟県柏崎市荒浜3-13-95	0257-24-1556	1983	6	10	2010
14	大塚　拓也	㈱泰拓工業	新潟県柏崎市三和町1-29	0257-23-4691	1983	8	8	2013
15	岡田　和久	藤林コンクリート工業㈱	新潟県柏崎市安田2078	0257-24-3371	1980	4	4	2010
16	小野　和也	㈲荒川木材建設	新潟県柏崎市大広田201-2	0257-25-3231	1977	12	1	2015
17	川口　泰史	㈲川口ポンプ	新潟県柏崎市田中16-27	0257-22-3007	1984	12	8	2013
18	神林　仁	㈱鋼進	新潟県柏崎市藤井1488	0257-22-5564	1983	2	15	2015
19	岸　剛史	㈲日管工業	新潟県柏崎市下田尻1320-1	0257-23-3511	1986	7	25	2011
20	木村　正隆	北刈自動車工業㈱	新潟県刈羽郡刈羽村刈羽681-1	0257-45-2191	1983	5	4	2011
21	久我　篤史	㈲関川建材	新潟県柏崎市原町5-2	0257-23-6465	1977	5	30	2010
22	小谷　竜子	アクサ生命保険㈱新潟支社柏崎営業所	新潟県柏崎市東本町1-2-16 モーリエ2	0257-21-0644	1977	5	7	2012
23	坂本　啓	ハッピートーラス	新潟県刈羽郡刈羽村正明寺806-2	0257-45-2088	1987	5	23	2013
24	佐藤　拓真	株式会社サトウSS	新潟県柏崎市東本町1丁目12-35	0257-23-8019	1992	9	22	2016
25	佐藤　雅宮	御嶽山神社	新潟県柏崎市大久保1-13-10	0257-22-2752	1990	4	20	2015
26	品田　剛	品田通信電設㈱	新潟県柏崎市西本町1-11-25	0257-22-0011	1979	12	22	2013
27	霜田真紀子	シモダ産業㈱	新潟県柏崎市松波2-6-43	0257-23-5240	1980	8	6	2011
28	杉田　淳	㈱長谷川自動車	新潟県柏崎市北半田1-10-20	0257-22-5267	1977	5	23	2014
29	杉田　直人	杉田建築板金	新潟県柏崎市安田3536-10	0257-32-1606	1979	6	20	2014
30	高橋　宏忠	㈱高忠商店	新潟県柏崎市田中27-31	0257-24-3256	1980	3	12	2010
31	竹内　一公	㈱竹内電設	新潟県柏崎市茨目1-1-16	0257-22-4137	1979	8	3	2004
32	田中　有人	㈲インテリアサロンタナカ	新潟県柏崎市茨目3-11-51-1	0257-24-4144	1981	8	4	2007
33	田邉　修一	㈱タナベ	新潟県柏崎市半田1-3-1	0257-24-4670	1977	1	21	1999
34	田邉　哲也	㈲タナベスタジオ	新潟県柏崎市両田尻456	0257-22-5747	1985	9	21	2016
35	徳増　大樹	東京電力HD㈱柏崎刈羽原子力発電所	新潟県柏崎市青山町16-46	0257-20-2327	1980	7	11	2015
36	長沢　博	㈱テック長沢	新潟県柏崎市藤井1358-4	0257-24-1125	1980	5	27	2014
37	中村　貴広	㈱第一建築業	新潟県柏崎市善根2210-1	0257-27-2157	1978	7	3	2008
38	根立　健一	㈱フォラール＆1	新潟県柏崎市松波2-5-3	0257-21-5759	1978	9	7	2010

	氏　名	事　業　所	住　所	電話番号	生年月日			入会年
39	長谷川太志	㈱セイワ不動産	新潟県柏崎市宝町3-36	0257-21-2425	1977	11	8	2016
40	原田　玲奈	㈲招楽	新潟県柏崎市新花町10-10	0257-24-0228	1982	4	16	2004
41	藤巻　慎哉	㈱インテリアメーク	新潟県柏崎市四谷1-11-1	0257-22-2526	1981	4	25	2015
42	松野　颯太	㈲松野組	新潟県刈羽郡刈羽村滝谷498	0257-45-5096	1990	4	8	2015
43	丸田　洋介	㈲高橋節雄商店	新潟県柏崎市柳橋町6-30	0257-22-2869	1980	3	9	2006
44	水戸部　智	NPO法人　柏崎まちづくりネットあいさ	新潟県柏崎市東本町2-7-36	0257-21-5910	1987	2	28	2013
45	宮崎　智之	GEM-hair	新潟県柏崎市安田1993	0257-47-7775	1977	8	2	2010
46	村山　　央	税理士法人ツチダ会計	新潟県柏崎市北半田2-16-15	0257-22-5977	1977	11	8	2016
47	元井　貴男	㈲ひかり建設	新潟県柏崎市大字曽地8	0257-25-3267	1981	8	25	2013
48	森　　清和	㈱朝日木材	新潟県柏崎市安政町1-56	0257-23-5235	1979	1	8	2004
49	安野　広明	㈲ファーミング・スタッフ	新潟県柏崎市西山町内方326	0257-48-2281	1980	10	1	2013
50	山口　敏宏	㈱フジ商事	新潟県柏崎市松波2-7-25	0257-22-6776	1986	7	24	2016
51	山崎　健太	山崎工業㈱自動車事業部	新潟県柏崎市上田尻3569-1	0257-23-2226	1979	6	25	2004
52	山崎　徹	ビースカイ㈱	新潟県柏崎市上田尻1834-3	0257-21-0774	1980	10	28	2011
53	結城　誠之	㈱あおぞら代行	新潟県柏崎市剣964-3	0257-24-3225	1977	3	20	2014
54	吉越　俊一	㈱米峰	新潟県柏崎市田塚3-11-59	0257-24-6140	1982	8	30	2010
55	吉田　晃継	㈱柏新商会	新潟県柏崎市松美2-5-68	0257-23-2714	1988	6	30	2013
56	小林　拓也	㈱柏崎クオリティーサービス	新潟県柏崎市平井3172-2	0257-41-5688	1982	12	3	2017
57	品田　修吾	marron-hair	新潟県柏崎市両田尻456	0257-41-6612	1979	12	7	2017
58	能澤　尚寛	㈱能澤技建	新潟県柏崎市半田1-18-49	0257-41-6621	1987	12	15	2017
59	前澤佳奈子	柏崎市教育委員会	新潟県柏崎市中央町5-50		1978	3	3	2017
60	三谷　宗寛	駅裏漁港けんじろう	新潟県柏崎市柳橋町10-43	0257-47-7844	1981	9	7	2017
61	山田　健太	㈲オートモービル	新潟県柏崎市両田尻502	0257-35-4645	1979	10	15	2017
62	海津　勇太	㈱スワロー	新潟県柏崎市上田尻948-1	0257-21-0817	1986	7	25	2017
63	小俣　拓巳	㈱クリーンライフ	新潟県柏崎市茨目1250-1	0257-41-6421	1985	8	18	2017
64	高橋　和宏	宵処よって来や	新潟県柏崎市東本町1-14-25　本間ビル1Ｆ	0257-23-0833	1986	7	11	2017
65	松田真之介	㈲新潟自動車ガラス柏崎	新潟県柏崎市下田尻899-5	0257-24-4121	1979	6	19	2017
66	入澤　勇太	ＰＶＫ㈱	新潟県刈羽郡刈羽村大字刈羽100	0257-20-3100	1984	6	24	2017
67	村山　健太	湯元館	新潟県柏崎市大広田770	0257-25-3500	1980	4	17	2017
68	瀬下　真人	瀬下司法書士事務所	新潟県柏崎市関町3-33	0257-41-6020	1981	5	30	2017
69	張　　浩鵬	小栗商事	新潟県柏崎市田中19-4	080-1321-0890	1988	11	12	2017
70	遠藤　大樹	㈱前宏建築板金	新潟県柏崎市田塚1-4-5					
71	中山　将史	ヨネヤマプロダクション	新潟県柏崎市関町12-26	0257-41-6668	1979	1	13	2017

2017年度　会員移動状況

年初引継会員数	５９名
２０１７年度新入会員数	１８名
期中退会会員数	６名
末期退会会員数	０名
卒業会員数	９名
末期在籍会員数	６２名

内容

２０１７年度新入会員（１８名）

尾﨑　直美	小林　拓也	品田　修吾	能澤　尚寛	前澤　佳奈子
三谷　宗寛	宮嶋　早苗	山田　健太	海津　勇太	小俣　拓巳
髙橋　和宏	松田　真之介	入澤　勇太	村山　健太	瀬下　真人
張　　浩鵬	遠藤　大樹	中山　将史		

期中退会会員（６名）

植木　陽祐	川合　雄一	中村　洋史	渡辺　祥大	尾﨑　直美
宮嶋　早苗				

卒業会員（９名）

岩間　一博	小野　和也	久我　篤史	小谷　竜子	杉田　　淳
長谷川　太志	宮崎　智之	宮崎　智之	結城　誠之	

２０１７年

矢　沢　まゆみ

昨年12月に櫻井柏崎市長が誕生し、柏崎市長、刈羽村長、商工会議所会頭が青年会議所を卒業された方々になった。今までもそういう年はあったと思うが私には特別な事に感じていた。その為毎年来賓としてお迎えする新年祝賀会を楽しみにしていた。当日は、普通の生活ではお会いすることはないであろう方々に今も今迄もお会いできていた事を今更ながら実感した。そして8月の60周年記念式典では祝辞で市長、村長、会頭とも「JCOBとして・・・」とご挨拶の中でおっしゃった時、嬉しさと誇らしさでいっぱいだった。私が誇りに思う事ではないことは分かっているがとても誇らしかった。その場にいなかった柏崎のメンバーにも聞いて欲しかった。何回も経験している新年祝賀会と周年式典ではあるが今回は特別な年となった。

毎年つどいの言葉を聞くと1年の終わりを感じる。それは自分がつどいとともに年を重ねているという事だろう。今年もお世話になりました。ありがとうございました。

あ と が き

皆様、１年間ありがとうございました。つどいの発行にて当委員会最後の事業となりました。「新生柏崎」のスローガンのもと、１年間様々な活動を行ってきましたが、「つどい」の取りまとめをしていますと、その光景が思い起こされます。皆様の２０１７年度はいかがでしたでしょうか。この「つどい」により２０１７年度のJC活動を思い起こしていただけたら幸いです。

最後につどい編集にあたり、ご協力いただいたメンバーの皆様に感謝申し上げます。

２０１７年度１２月８日　発行

一般社団法人柏崎青年会議所
総務発信委員会

事務局長	水戸部　智
総務発信委員長	坂本　　啓
副委員長	木村　正隆
幹　　事	中村　貴広
委　　員	品田　　剛
	長沢　　博
	松野　颯太

題字　　中村　昭三（初代理事長）

60周年スローガン

一般社団法人 柏崎青年会議所

〒945−0051 新潟県柏崎市東本町1丁目2番16号 モーリエ2 5F
TEL (0257)21-4412　FAX (0257)21-4348
http://www.kashiwazaki-jc.or.jp
E-mail：info@kashiwazaki-jc.or.jp